

印西市教育振興基本計画に係るアンケート調査 報告書

平成 28 年 10 月

印 西 市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. 調査項目	2
4. 報告書の読み方	2
II 調査結果／幼稚園児、小学生、中学生の保護者	3
II-1. ご本人について	3
II-2. 幼稚園や学校とのかかわりについて	5
II-3. 印西市の教育について	9
II-4. 外遊びや運動について	25
II-5. 家庭教育について	27
II-6. 子どもたちの文化芸術活動について	33
III 調査結果／20歳以上の市民	40
III-1. ご本人について	40
III-2. 子どもたちへの教育について	43
III-3. 生涯学習について	45
III-4. 体力・スポーツについて	67
III-5. 文化振興について	98

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、来年度に策定する「印西市教育振興基本計画」の基礎資料として、保護者及び市民の市教育行政に対する意見・提案を把握することを目的に実施しました。

2. 調査の実施概要

①市立の幼稚園、小・中学生に通学する児童生徒の保護者

項目	内容
調査数	1,503人（園・学校の人数比率、地区を考慮した上で抽出） 《小学校4年生の保護者 763人》 木下 64、大森 34、内野 57、高花 56、小林北 31 小倉台 146、西の原 49、 原 122、六合 19、宗像 5、平賀 21、いには野 87、本埜第一 6、本埜第二 7、 滝野 59 《中学校2年生の保護者 602人》 印西 125、船穂 52、木刈 137、小林 80、印旛 138、滝野 70 《幼稚園年中の保護者 138人》 大森 16、瀬戸 38、もとの 84
調査方法	園・学校で配付・回収
調査時期	平成28年7月7日～7月15日
回答数	1,158票（回答率77.0%）
結果の見方 ／理論値	調査結果は、対象集団（約7,000人）に対する統計上の一般的な要件（信頼度95%等）を備えている。 全体結果の理論上の最大誤差範囲（構成比率50%の場合）は2.6% （50%の場合には48.7%～51.3%の範囲（±1.3%）にある）。

②20歳以上の市民

項目	内容
調査数	1,500人 （年齢、性別、地区を考慮した上で、住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送による配付・回収
調査時期	平成28年7月20日～8月5日
回答数	660票（回答率44.0%）
結果の見方 と理論値	調査結果は、対象集団（約76,000人）に対する統計上の一般的な要件（信頼度95%等）を備えている。 全体結果の理論上の最大誤差範囲（構成比率50%の場合）は3.8% （50%の場合には48.1%～51.9%の範囲（±1.9%）にある）。

3. 調査項目

調査種別		調査項目
1	市立の幼稚園、小・中学校に通学する児童生徒の保護者	1. ご本人について 2. 幼稚園や学校とのかかわりについて 3. 印西市の教育について 4. 外遊びや運動について 5. 家庭教育について 6. 子どもたちの文化芸術活動について 7. 自由回答（※報告書別冊「自由意見」）
2	20歳以上の市民	1. ご本人について 2. 子どもたちへの教育について 3. 生涯学習について 4. 体力・スポーツについて 5. 文化振興について 6. 自由回答（※報告書別冊「自由意見」）

4. 報告書の読み方

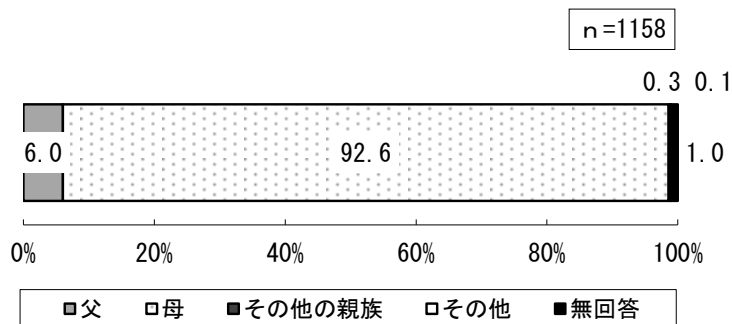
- 「調査結果」の図表は、回答者の構成比（百分率＝％）で示しています。
- 図表右上の「n値」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数（回答者数）を示しています。
- 百分比による集計では、母数（回答者数または回答限定設問は該当者数）を100％として算出し、本文及び図表の数字は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位で示しています。また、複数回答の設問では、選択肢の比率の合計が100％を超える場合があります。
- 回答者を限定する設問（前問に答えた人のみが回答するなど）は、当該設問の「n値（回答者数）」が回答者全数と異なる場合があります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果または回答がないことを示しています。
- クロス集計表などでは「無回答」を表示していないため、回答者数（n値）と内訳の合計が異なる場合があります。
- 母数の少ないデータ（クロス集計結果など）は統計的誤差の大きい場合があり、数値の取扱いに留意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表では省略している場合があります。
- 「その他」「自由回答」は、別冊「自由意見」に原文を掲載しています。

II 調査結果／幼稚園児、小学生、中学生の保護者

II-1. ご本人について

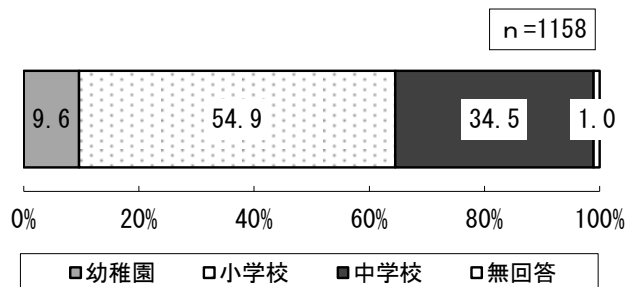
問1 ご回答者（あなた）はどなたですか。（ひとつだけ○）

○ 回答者（保護者）は、「母」92.6%が最も多く、次いで「父」6.0%、「その他の親族」0.3%と続いています。



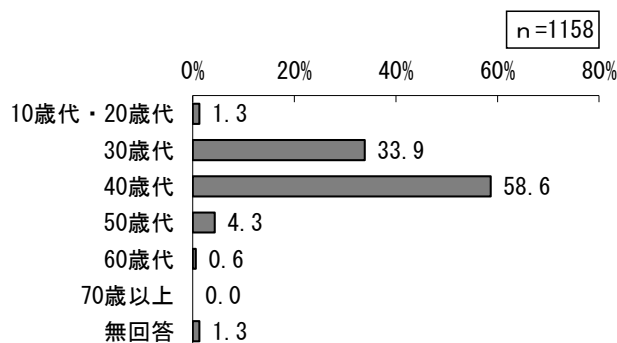
問2 このアンケートをどこから受け取りましたか。（ひとつだけ○）

○ 保護者がアンケートを受け取ったところ（子どもの通園・通学場所）について、「小学校」54.9%が最も多く、次いで「中学校」34.5%、「幼稚園」9.6%となっています。



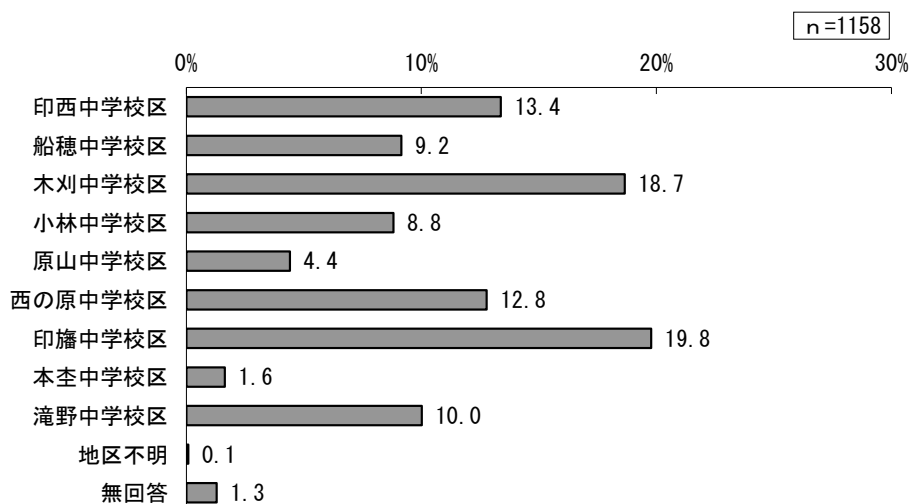
問3 あなたは何歳ですか。（ひとつだけ○）

- 回答者（保護者）の年齢について、「40歳代」58.6%が最も多く、次いで「30歳代」33.9%、「50歳代」4.3%と続いています。



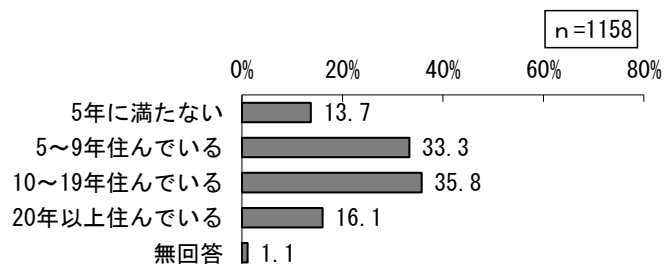
問4 あなたが住んでいる小学校区はどこですか。（ひとつだけ○）

- 回答者（保護者）の居住地区（中学校区）について、「印旛中学校区」19.8%が最も多く、次いで「木刈中学校区」18.7%、「印西中学校区」13.4%と続いています。
（※小学校区を中学校区に集計）



問5 あなたは印西市に何年住んでいますか。（ひとつだけ○）

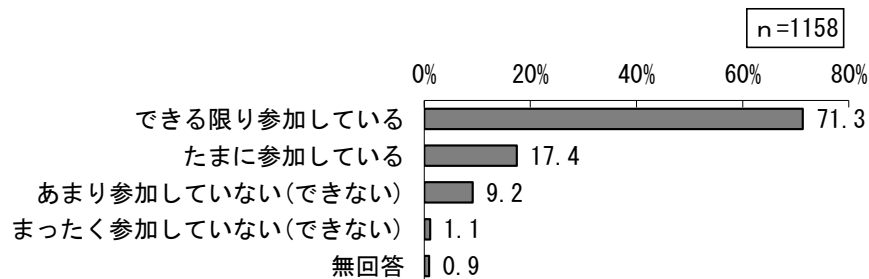
- 回答者（保護者）の居住年数について「10～19年住んでいる」35.8%が最も多く、次いで「5～9年住んでいる」33.3%、「20年以上住んでいる」16.1%と続いています。



Ⅱ-2. 幼稚園や学校とのかかわりについて

問6 現在、ご家庭では幼稚園や学校への活動に参加していますか。（ひとつだけ○）

- 幼稚園や小・中学校の活動への保護者の参加状況について、『参加』88.7%（できる限り参加している+たまに参加している）、『不参加』10.3%（まったく参加していない（できない）+あまり参加していない（できない））となっています。



▶▶クロス集計でみる特徴

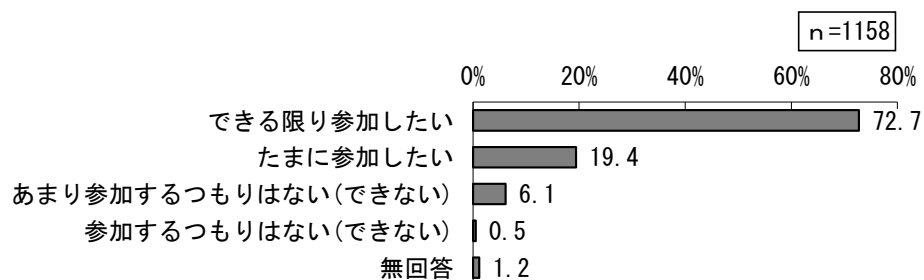
- 通園・通学別にみると、『参加している』は幼稚園 96.4%、小学校 90.3%、中学校 87.0%となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『参加』		『不参加』	
		できる限り参加している	たまに参加している	あまり参加していない(できない)	まったく参加していない(できない)
幼稚園	111 100.0%	100 90.1%	7 6.3%	4 3.6%	0 0.0%
小学校	636 100.0%	466 73.3%	108 17.0%	58 9.1%	4 0.6%
中学校	399 100.0%	260 65.2%	87 21.8%	43 10.8%	9 2.3%

問7 今後、ご家庭で幼稚園や学校の活動に参加する意向はありますか。

(ひとつだけ○)

- 幼稚園や小・中学校の活動への保護者の参加意欲について、『参加意欲あり』92.1%（できる限り参加したい+たまに参加したい）、『参加意欲なし』6.6%（参加するつもりはない（できない）+あまり参加するつもりはない（できない））となっています。



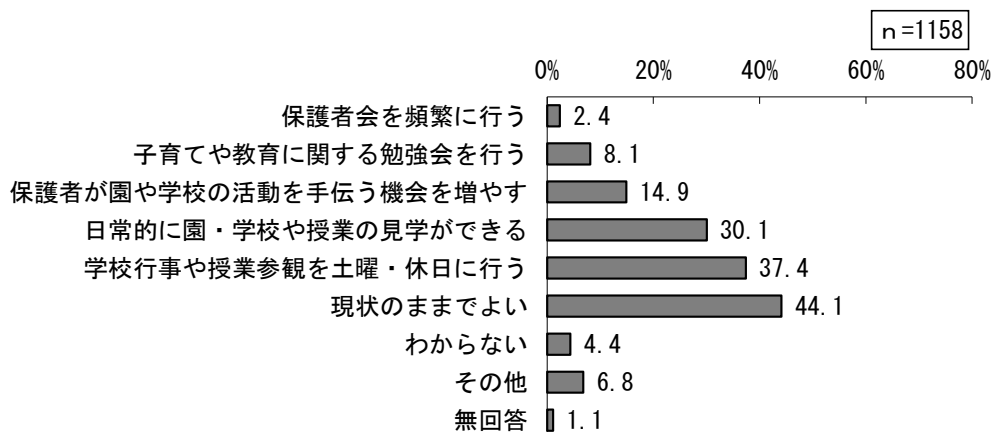
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、『参加意欲あり』は幼稚園 96.4%、小学校 94.0%、中学校 90.5%となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『参加意欲あり』		『参加意欲なし』	
		できる限り参加したい	たまに参加したい	あまり参加するつもりはない(できない)	参加するつもりはない(できない)
幼稚園	111 100.0%	96 86.5%	11 9.9%	3 2.7%	0 0.0%
小学校	636 100.0%	477 75.0%	121 19.0%	34 5.3%	3 0.5%
中学校	399 100.0%	269 67.4%	92 23.1%	34 8.5%	3 0.8%

問8 園や学校の活動に保護者が参加しやすくなるためには、どのような方法が効果的だと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 幼稚園や小・中学校の活動に保護者の参加を促す取り組みについて、「現状のままでよい」44.1%が最も多く、次いで「学校行事や授業参観を土曜・休日に行う」37.4%、「日常的に園・学校や授業の見学ができる」30.1%と続いています。



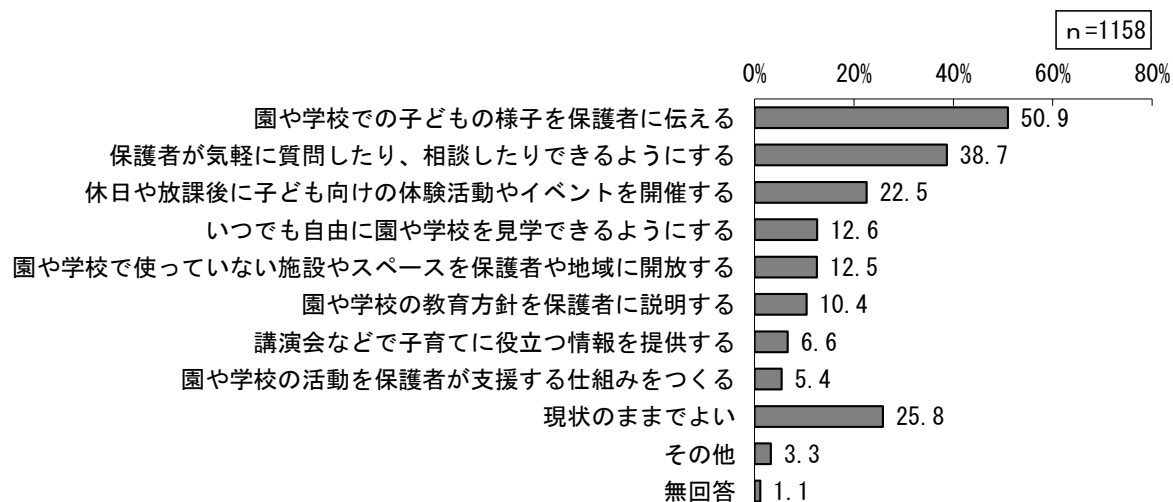
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「現状のままでよい」「学校行事や授業参観を土曜・休日に行う」「日常的に園・学校や授業の見学ができる」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	日常的に園・学校や授業の見学ができる	学校行事や授業参観を土曜・休日に行う	保護者会を頻繁に行う	子育てや教育に関する勉強会を行う	保護者が園や学校の活動を手伝う機会を増やす	現状のままでよい	わからない	その他
幼稚園	111 100.0%	43 38.7%	35 31.5%	3 2.7%	6 5.4%	16 14.4%	58 52.3%	5 4.5%	7 6.3%
小学校	636 100.0%	201 31.6%	247 38.8%	13 2.0%	54 8.5%	89 14.0%	276 43.4%	26 4.1%	49 7.7%
中学校	399 100.0%	104 26.1%	151 37.8%	12 3.0%	34 8.5%	67 16.8%	177 44.4%	20 5.0%	23 5.8%

問9 お子さんが通っている幼稚園や学校の運営にどのようなことを望みますか。
(主なもの3つまで○)

- 幼稚園や小・中学校運営への保護者の希望について、「園や学校での子どもの様子を保護者に伝える」50.9%が最も多く、次いで「保護者が気軽に質問したり、相談したりできるようにする」38.7%、「現状のままでよい」25.8%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

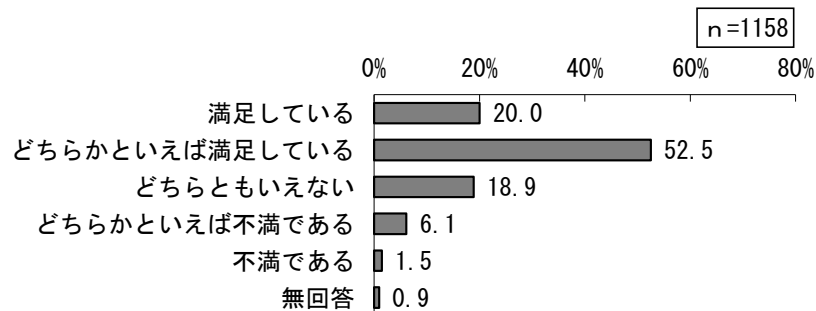
- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「園や学校での子どもの様子を保護者に伝える」「保護者が気軽に質問したり、相談したりできるようにする」「現状のままでよい」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	保護者や学校の教育方針を説明する	園や学校での子どもの様子を保護者に伝える	いつでも自由に園や学校を見学できるようにする	園や学校で使っていない施設やスペースを保護者や地域に開放する	講演会などで子育てに役立つ情報を提供する	休日や放課後に子ども向けの体験活動やイベントを開催する	保護者が気軽に質問したり、相談したりできるようにする	園や学校での子どもの様子を保護者に伝える
幼稚園	111 100.0%	10 9.0%	72 64.9%	23 20.7%	16 14.4%	4 3.6%	30 27.0%	41 36.9%	2 1.8%
小学校	636 100.0%	66 10.4%	310 48.7%	87 13.7%	79 12.4%	42 6.6%	168 26.4%	245 38.5%	38 6.0%
中学校	399 100.0%	45 11.3%	207 51.9%	36 9.0%	50 12.5%	31 7.8%	63 15.8%	162 40.6%	23 5.8%
	合計	よま現 いま状 での	その他						
幼稚園	111 100.0%	31 27.9%	2 1.8%						
小学校	636 100.0%	158 24.8%	27 4.2%						
中学校	399 100.0%	110 27.6%	9 2.3%						

Ⅱ-3. 印西市の教育について

問10 お子さんが通っている幼稚園や小・中学校の教育について、全体としては満足していますか。（ひとつだけ○）

- 幼稚園や小・中学校教育の保護者の満足度について、『満足』72.5%（満足している+どちらかといえば満足している）、『不満』7.6%（不満である+どちらかといえば不満である）となっています。



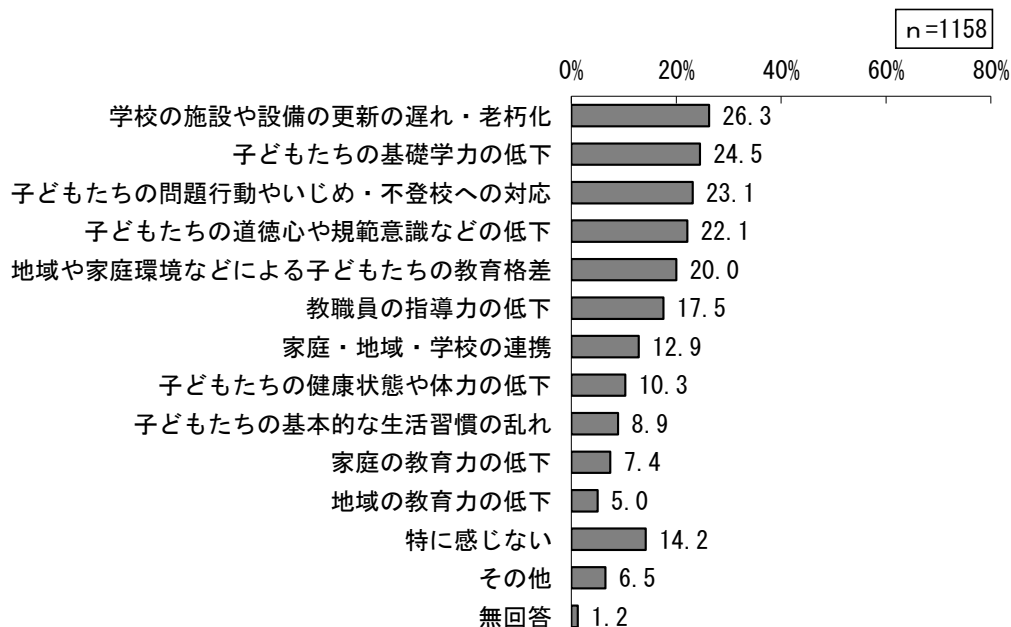
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、『満足』は幼稚園 94.6%、小学校 75.5%、中学校 62.1%となっています。また、『満足』と「どちらともいえない」を合わせると、幼稚園 100.0%、小学校 92.3%、中学校 88.7%となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『満足』			『不満』	
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
幼稚園	111 100.0%	51 45.9%	54 48.7%	6 5.4%	0 0.0%	0 0.0%
小学校	636 100.0%	125 19.7%	355 55.8%	107 16.8%	32 5.0%	12 1.9%
中学校	399 100.0%	54 13.5%	194 48.6%	106 26.6%	38 9.5%	5 1.3%

問11 子どもたちのことや教育の環境について、印西市の課題として感じることはありますか。（主なもの3つまで○）

○ 保護者が感じる市の子どもたちや教育環境の課題について、「学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化」26.3%が最も多く、次いで「子どもたちの基礎学力の低下」24.5%、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応」23.1%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別の上位項目は、幼稚園では「特に感じない」「学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化」「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応」です。
- 小学校では「学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化」「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応」「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」です。
- 中学校では「子どもたちの基礎学力の低下」「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応」「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」「学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化」です。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	学 子 力 の 低 下	の 心 子 低 や ど 下 規 も 範 た 意 ち 識 の な 道 と 徳	状 子 態 ど や も 体 た 力 ち の 低 健 下 康	れ 的 子 な ど 生 も 活 た 習 ち 慣 の 基 乱 本	登 行 子 校 動 ど へ や も の いた ち 対 じ ち め の ・ 問 不 題	ち ど 地 の に 域 の 教 育 格 差 ど も 境 た な	下 家 庭 の 教 育 力 の 低	下 地 域 の 教 育 力 の 低
幼稚園	111 100.0%	7 6.3%	13 11.7%	16 14.4%	5 4.5%	25 22.5%	18 16.2%	3 2.7%	6 5.4%
小学校	636 100.0%	130 20.4%	140 22.0%	71 11.2%	42 6.6%	142 22.3%	133 20.9%	47 7.4%	32 5.0%
中学校	399 100.0%	144 36.1%	99 24.8%	31 7.8%	56 14.0%	100 25.1%	80 20.1%	36 9.0%	19 4.8%

	合計	家庭・地域・学校の連携	学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	教職員の指導力の低下	特に感じない	その他
幼稚園	111 100.0%	14 12.6%	28 25.2%	4 3.6%	43 38.7%	8 7.2%
小学校	636 100.0%	92 14.5%	174 27.4%	117 18.4%	84 13.2%	48 7.5%
中学校	399 100.0%	43 10.8%	99 24.8%	79 19.8%	37 9.3%	18 4.5%

- 最も多い項目を地区別にみると、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応」は印西中学校区、西の原中学校区、滝野中学校区です。
- 「子どもたちの基礎学力の低下」は船穂中学校区、小林中学校区、印旛中学校区です。
- 「学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化」は木刈中学校区、本柵中学校区です。
- 「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」は原山中学校区です。

(上位3項目)

印西中学校区		船穂中学校区		木刈中学校区	
子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応	33.5%	子どもたちの基礎学力の低下	47.2%	学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	29.2%
学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	32.9%	地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差	34.9%	地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差	23.6%
子どもたちの基礎学力の低下	29.7%	学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	34.9%	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	21.3%
小林中学校区		原山中学校区		西の原中学校区	
子どもたちの基礎学力の低下	42.2%	地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差	33.3%	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応	32.4%
学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	25.5%	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応	29.4%	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	28.4%
子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応	20.6%	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	27.5%	教職員の指導力の低下	21.6%
印旛中学校区		本柵中学校区		滝野中学校区	
子どもたちの基礎学力の低下	24.5%	学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	36.8%	子どもたちの問題行動やいじめ・不登校への対応	26.7%
教職員の指導力の低下	22.3%	特に感じない	31.6%	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	23.3%
学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	21.4%	地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差	26.3%	学校の施設や設備の更新の遅れ・老朽化	23.3%

問12 【小学生または中学生の保護者の方にかがいます】

お子さんが通っている小・中学校の教育において、児童生徒にどのような力の養成を期待しますか。また、実際に身につけていると思いますか。

(ア、イそれぞれにひとつずつ○)

[1] 知の養成（確かな学力の定着）

- 知の養成（確かな学力の定着）に資するすべての項目で『期待する』（高い＋どちらかといえば高い）が、小・中学校ともに60%～80%台となっています。
- その中で『期待する』の上位項目は、小学校、中学校ともに「教科の基礎的な学力」「自ら学ぼうとする意欲」「ものごとを計画的に行う力」です。

『期待する』上位3項目		期待する
小学校	教科の基礎的な学力	87.5%
	自ら学ぼうとする意欲	85.4%
	ものごとを計画的に行う力	82.6%
中学校	教科の基礎的な学力	76.9%
	ものごとを計画的に行う力	76.7%
	自ら学ぼうとする意欲	76.2%

- 『実際に身に付いた』（身につけている＋どちらかといえば身につけている）が50%を超える項目は小学校では「教科の基礎的な学力」「自ら学ぼうとする意欲」「音楽・美術など芸術面の能力や情操」です。
- 中学校では『実際に身に付いた』が50%を超える項目はありません。

『実際に身に付いた』が50%を超える項目	小学校
教科の基礎的な学力	75.1%
自ら学ぼうとする意欲	54.2%
音楽・美術など芸術面の能力や情操	50.6%

- 『実際に身に付いた』が『期待する』を大きく下回る項目（40ポイント以上）は、小学校では「実際の場面で使える英語力」「ものごとを計画的に行う力」「論理的にものを考える力」「コンピュータを活用する力」です。
- 中学校では「実際の場面で使える英語力」「ものごとを計画的に行う力」です。

『期待する』と『実際に身に付いた』の差が大きい項目（40ポイント以上の差）		期待する A	実際に身に 付いた B	A - B
小学校	実際の場面で使える英語力	66.4%	13.3%	52.9pt
	ものごとを計画的に行う力	82.6%	35.8%	46.6pt
	論理的にものを考える力	78.6%	34.4%	44.2pt
	コンピュータを活用する力	69.1%	28.0%	41.1pt
中学校	実際の場面で使える英語力	64.1%	13.8%	50.3pt
	ものごとを計画的に行う力	76.7%	33.6%	43.1pt

※注
第1位のみ網掛

		小学校 n=636	ア 期待				イ 実際			
			高い	えど ばち 高い	えど ばち 低い	低い	る身 につ いて い	てえど いばち る身 にか つと いい	てえど いばち ない 身 にか つと いい	な身 につ いて い
1	教科の基礎的な学力	小学校	38.4%	49.1%	10.8%	0.8%	10.2%	64.9%	21.9%	2.0%
		中学校	39.8%	37.1%	17.5%	3.8%	5.3%	44.4%	36.1%	13.3%
2	自ら学ぼうとする意欲	小学校	40.7%	44.7%	11.6%	2.2%	7.5%	46.7%	37.3%	7.5%
		中学校	40.4%	35.8%	16.8%	5.0%	5.3%	34.6%	40.4%	19.3%
3	実際の場面で使える英語力	小学校	30.2%	36.2%	20.0%	12.3%	1.7%	11.6%	34.9%	50.9%
		中学校	31.3%	32.8%	21.1%	13.0%	1.0%	12.8%	39.3%	46.1%
4	コンピュータを活用する力	小学校	25.2%	43.9%	21.1%	9.0%	2.4%	25.6%	41.2%	29.2%
		中学校	22.6%	43.6%	21.8%	9.0%	3.8%	31.3%	44.1%	19.5%
5	音楽・美術など芸術面の能力や情操	小学校	20.8%	56.3%	18.2%	3.3%	5.2%	45.4%	40.7%	7.7%
		中学校	17.5%	49.6%	28.8%	2.3%	5.0%	38.8%	44.9%	10.3%
6	論理的にものを考える力	小学校	32.1%	46.5%	16.2%	4.1%	3.3%	31.1%	51.6%	13.4%
		中学校	27.3%	41.9%	27.1%	2.5%	1.8%	31.8%	53.6%	12.3%
7	ものごとを計画的に行う力	小学校	36.5%	46.1%	13.5%	3.1%	3.6%	32.2%	50.3%	13.1%
		中学校	32.6%	44.1%	18.8%	3.0%	2.8%	30.8%	49.4%	16.8%
8	新しいものを生み出す創造的な力	小学校	29.2%	49.7%	17.0%	2.8%	3.5%	38.1%	46.1%	11.8%
		中学校	25.3%	41.9%	28.1%	2.5%	2.0%	27.8%	54.4%	15.0%

[2] 徳育（豊かな人間性の養成）

2.1 社会性の養成

- 社会性の養成に資するすべての項目で『期待する』（高い＋どちらかといえば高い）が、小学校では70%～90%台、中学校では60%～80%台となっています。
- その中で『期待する』の上位項目は、小学校、中学校ともに「善悪を判断する力」「人間関係を築く力」「社会生活に必要な常識」です。

『期待する』上位3項目		期待する
小学校	善悪を判断する力	91.0%
	人間関係を築く力	90.0%
	社会生活に必要な常識	89.5%
中学校	善悪を判断する力	85.0%
	人間関係を築く力	84.0%
	社会生活に必要な常識	82.7%

- 『実際に身に付いた』（身につけている＋どちらかといえば身につけている）が50%を超える項目は、小学校では「善悪を判断する力」「人間関係を築く力」「社会生活に必要な常識」「社会で役立つとしようとする心や公共心」「ものごとをやりとげるねばり強さ」「自立心や自主性、積極性」の6項目です。
- 中学校では「善悪を判断する力」「人間関係を築く力」「社会生活に必要な常識」「社会で役立つとしようとする心や公共心」「ものごとをやりとげるねばり強さ」の5項目です。
- 特に「善悪を判断する力」の『実際に身に付いた』の比率は、小・中学校ともに『期待する』にほぼ近い値となっています。

『実際に身に付いた』が50%を超える項目	小学校	中学校
善悪を判断する力	83.2%	81.4%
人間関係を築く力	75.0%	69.9%
社会生活に必要な常識	73.3%	66.9%
社会で役立つとしようとする心や公共心	56.2%	54.9%
ものごとをやりとげるねばり強さ	52.4%	51.1%
自立心や自主性、積極性	51.8%	

- 『実際に身に付いた』が『期待する』を大きく下回る項目（40ポイント以上）は小・中学校ともに「生き方や進路について考える力」「幅広い知識と教養」です。

『期待する』と『実際に身に付いた』の差が大きい項目（40ポイント以上の差）		期待する A	実際に身に付いた B	A - B
小学校	生き方や進路について考える力	80.2%	32.1%	48.1pt
	幅広い知識と教養	81.6%	39.9%	41.7pt
中学校	生き方や進路について考える力	78.7%	31.1%	47.6pt
	幅広い知識と教養	73.7%	28.8%	44.9pt

2.1 社会性の養成

※注
第1位のみ網掛

		小学校 n=636	ア 期待				イ 実際			
			高い	えど ばち 高い	えど ばち 低い	低い	る身 につ いて	てえど いばち る身ら にか つと いい	てえど いばち ない身ら にか つと いい	な身 につ いて
9	社会生活に必要な常識	小学校	47.0%	42.5%	8.2%	1.4%	8.2%	65.1%	21.5%	4.1%
		中学校	45.4%	37.3%	13.8%	1.5%	11.0%	55.9%	27.8%	4.8%
10	幅広い知識と教養	小学校	29.4%	52.2%	14.8%	2.2%	2.8%	37.1%	49.4%	9.6%
		中学校	28.8%	44.9%	21.8%	2.8%	1.5%	27.3%	60.2%	10.8%
11	自立心や自主性、積極性	小学校	40.9%	45.8%	10.5%	1.7%	5.3%	46.5%	41.2%	6.1%
		中学校	37.6%	41.9%	15.8%	2.8%	5.8%	41.1%	43.4%	9.3%
12	生き方や進路について考える力	小学校	34.3%	45.9%	15.9%	2.8%	1.9%	30.2%	54.1%	13.1%
		中学校	36.3%	42.4%	15.8%	3.8%	3.5%	27.6%	52.4%	16.3%
13	自分の考えを表現する力	小学校	43.9%	42.5%	10.5%	2.0%	3.8%	43.2%	44.5%	7.9%
		中学校	36.3%	40.6%	18.8%	2.8%	2.5%	37.8%	47.6%	11.8%
14	善悪を判断する力	小学校	53.1%	37.9%	7.5%	0.6%	18.9%	64.3%	14.9%	1.1%
		中学校	48.9%	36.1%	12.3%	1.3%	24.3%	57.1%	16.3%	2.0%
15	人間関係を築く力	小学校	51.3%	38.7%	7.9%	1.3%	9.7%	65.3%	21.7%	2.4%
		中学校	44.4%	39.6%	12.8%	1.8%	16.5%	53.4%	23.8%	6.0%
16	社会で役立つとうとする心や公共心	小学校	37.7%	50.5%	9.7%	1.1%	4.9%	51.3%	38.2%	4.9%
		中学校	36.3%	43.4%	16.0%	2.0%	7.5%	47.4%	38.6%	5.8%
17	郷土や国を愛する心	小学校	21.7%	49.5%	23.9%	3.9%	3.9%	39.5%	46.2%	9.6%
		中学校	19.3%	43.9%	29.3%	5.5%	4.3%	38.3%	44.1%	13.0%
18	ものごとをやりとげるねばり強さ	小学校	44.8%	40.3%	12.1%	2.0%	6.3%	46.1%	40.6%	6.4%
		中学校	43.9%	35.6%	15.3%	3.5%	10.0%	41.1%	39.6%	9.0%

2.2 豊かな心の養成

- 豊かな心の養成に資するすべての項目で『期待する』（高い＋どちらかといえば高い）が、小学校では70%～90%台、中学校では60%～80%台となっています。
- その中で『期待する』の上位項目は、小学校では「他人に対する思いやりや優しさ」「生命や自然、環境を大切に作る心」「言葉づかい、礼節、マナー」です。
- 中学校では、「他人に対する思いやりや優しさ」「生命や自然、環境を大切に作る心」「障がいの有無にかかわらず、共に生きようとする意識・態度」です。

『期待する』上位3項目		期待する
小学校	他人に対する思いやりや優しさ	91.8%
	生命や自然、環境を大切に作る心	90.9%
	言葉づかい、礼節、マナー	89.5%
中学校	他人に対する思いやりや優しさ	85.2%
	生命や自然、環境を大切に作る心	83.9%
	障がいの有無にかかわらず、共に生きようとする意識・態度	83.5%

- 『実際に身に付いた』（身につけている＋どちらかといえば身につけている）が50%を超える項目は、小・中学校ともに「他人に対する思いやりや優しさ」「他者や異質なものに対する理解や寛容さ」「障がいの有無にかかわらず、共に生きようとする意識・態度」「生命や自然、環境を大切に作る心」「言葉づかい、礼節、マナー」です。
- 特に「他人に対する思いやりや優しさ」の『実際に身に付いた』の比率は、小・中学校ともに『期待する』にほぼ近い値となっています。

『実際に身に付いた』が50%を超える項目	小学校	中学校
他人に対する思いやりや優しさ	86.2%	83.0%
他者や異質なものに対する理解や寛容さ	66.0%	64.7%
障がいの有無にかかわらず、共に生きようとする意識・態度	71.5%	67.9%
生命や自然、環境を大切に作る心	79.7%	75.0%
言葉づかい、礼節、マナー	66.8%	68.9%

- 『期待する』と『実際に身に付いた』の差が大きい項目（40ポイント以上）は、小・中学校ともにありません。

2.2 豊かな心の養成

※注
第1位のみ網掛

		小学校 n=636 中学校 n=399	ア 期待				イ 実際			
			高い	えど ばち 高い	えど ばち 低い	低い	る身 につ いて い	てえど いばち る身 にか つと いい	てえど いばち ない 身 にか つと いい	な身 につ いて い
19	他人に対する思いやりや 優しさ	小学校	56.4%	35.4%	7.1%	0.3%	19.5%	66.7%	12.1%	1.1%
		中学校	50.1%	35.1%	12.5%	0.8%	24.6%	58.4%	14.3%	2.3%
20	他者や異質なものに対す る理解や寛容さ	小学校	34.1%	51.6%	12.6%	0.5%	5.8%	60.2%	30.0%	2.8%
		中学校	28.6%	53.9%	15.5%	0.5%	8.8%	55.9%	30.3%	3.5%
21	障がいの有無にかかわら ず、共に生きようとする意 識・態度	小学校	37.7%	51.3%	9.3%	0.3%	10.5%	61.0%	25.3%	1.9%
		中学校	30.8%	52.6%	13.8%	1.3%	9.8%	58.1%	28.8%	1.8%
22	生命や自然、環境を大切に する心	小学校	40.6%	50.3%	7.4%	0.5%	15.4%	64.3%	18.1%	0.9%
		中学校	33.8%	50.1%	14.0%	0.0%	12.3%	62.7%	21.8%	1.3%
23	言葉づかい、礼節、マナー	小学校	47.5%	42.0%	8.5%	0.8%	8.2%	58.6%	28.8%	3.5%
		中学校	45.4%	37.1%	14.5%	1.5%	9.0%	59.9%	25.8%	3.8%
24	郷土の歴史や文化につい ての理解	小学校	18.9%	53.6%	23.1%	2.8%	2.5%	35.8%	51.3%	8.6%
		中学校	16.0%	50.6%	28.1%	3.5%	3.0%	27.3%	57.6%	10.3%

[3] 体の養成（健康・体力の養成）

- 体（健康・体力の養成）に資するすべての項目で『期待する』（高い＋どちらかといえば高い）が、小・中学校ともに 80% 台となっています。

『期待する』順		期待する
小学校	基本的な生活習慣	89.2%
	体力や運動能力	87.4%
	自分の健康を管理する力	83.7%
中学校	体力や運動能力	82.7%
	基本的な生活習慣	82.2%
	自分の健康を管理する力	81.0%

- 『実際に身に付いた』（身につけている＋どちらかといえば身につけている）は、すべての項目で小・中学校ともに 50% を超えています。

『実際に身に付いた』が 50% を超える項目	小学校	中学校
基本的な生活習慣	78.8%	60.9%
体力や運動能力	70.3%	66.4%
自分の健康を管理する力	60.2%	57.4%

- 『期待する』と『実際に身に付いた』の差が大きい項目（40 ポイント以上）は、小・中学校ともにありません。

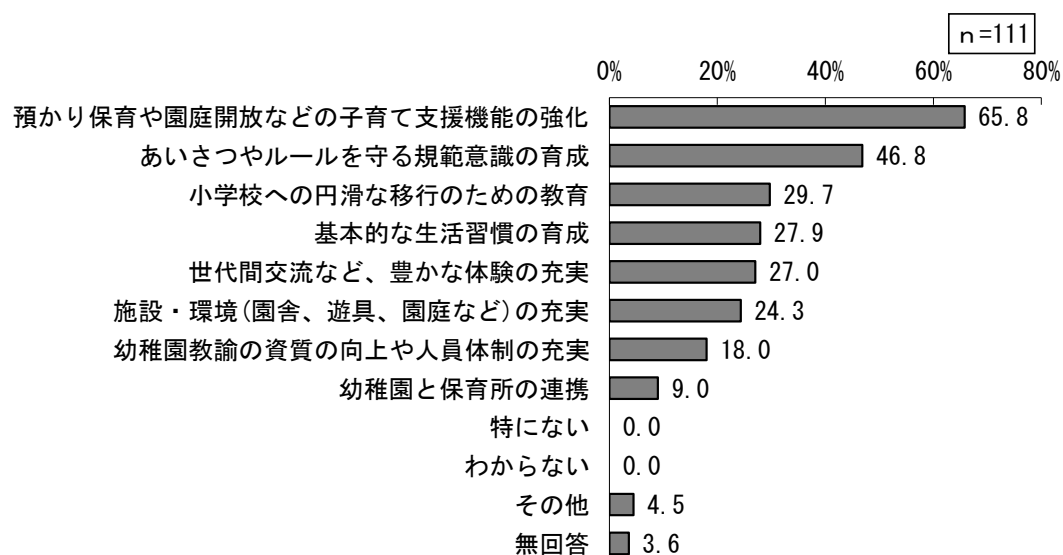
※注
第 1 位のみ網掛

		小学校 n=636	ア 期待				イ 実際			
			高い	えど ばち 高い か とい	えど ばち 低い か とい	低い	る身 につ いて い	てえど いばち る身ら にか つと いい	てえど いばち な身ら にか つと いい	な身 につ いて い
25	体力や運動能力	小学校	36.5%	50.9%	10.4%	1.1%	13.7%	56.6%	25.6%	3.1%
		中学校	32.6%	50.1%	13.0%	2.3%	19.8%	46.6%	25.8%	6.0%
26	自分の健康を管理する力	小学校	31.8%	51.9%	13.2%	2.0%	7.9%	52.4%	34.6%	4.2%
		中学校	33.1%	47.9%	14.8%	1.8%	10.0%	47.4%	35.3%	5.5%
27	基本的な生活習慣	小学校	42.3%	46.9%	8.5%	1.1%	17.0%	61.8%	18.6%	1.7%
		中学校	40.1%	42.1%	13.3%	2.3%	13.5%	47.4%	32.3%	5.0%

問13 【幼稚園の保護者の方にかがいます】

印西市の幼稚園教育の充実に向けて、市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 市の幼稚園教育の充実に向けた幼稚園児保護者の期待について、「預かり保育や園庭開放などの子育て支援機能の強化」65.8%が最も多く、次いで「あいさつやルールを守る規範意識の育成」46.8%、「小学校への円滑な移行のための教育」29.7%と続いています。



問14 幼稚園や学校の先生にどのようなことを望みますか。

(それぞれにひとつずつ○)

- 幼稚園、小・中学校の先生への保護者の期待について、すべての項目で『思う』(そう思う+どちらかといえばそう思う)が80%を超えています。
- その中で、「そう思う」が多い項目は、「悪いことをしたときは、きちんと叱ること」「問題が起きた時にきちんと解決すること」「約束を守る・信頼できること」「困った時に頼りになること」「授業がわかりやすいこと」となっています。

(n=1158)

※第1位のみ網掛

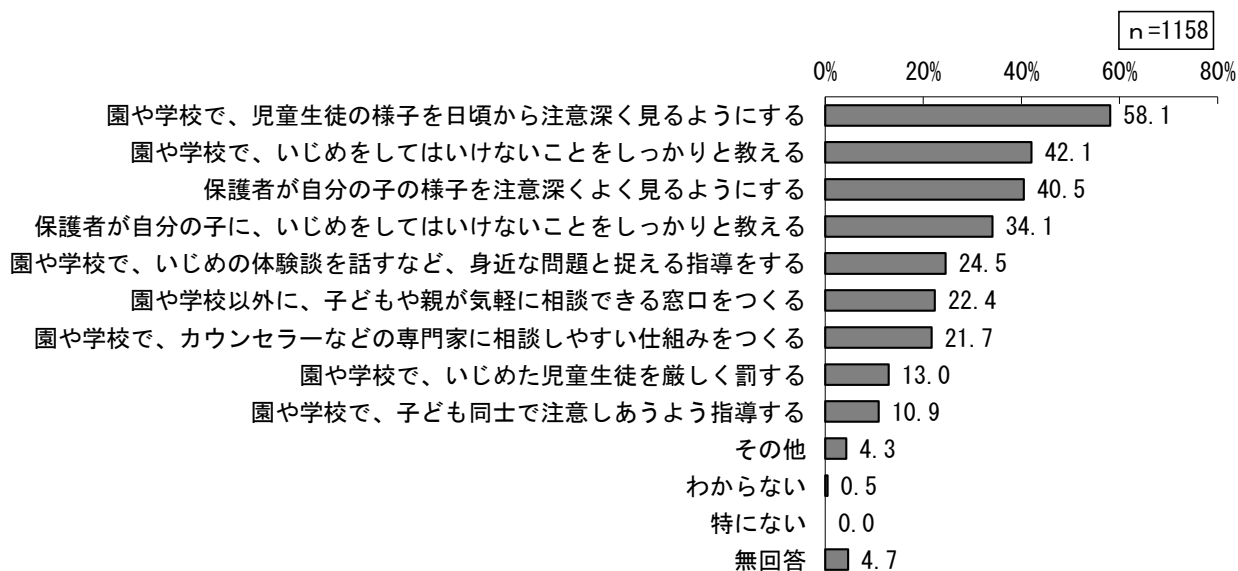
		『思う』		『思わない』		わからない	無回答
		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば 思わない	そう思わない		
1	授業がわかりやすいこと	69.9%	13.8%	1.9%	0.2%	0.3%	13.9%
2	気軽に話ができること	51.6%	29.8%	3.5%	0.9%	0.2%	14.0%
3	約束を守る・信頼できること	71.8%	12.6%	1.4%	0.3%	0.1%	13.9%
4	困った時に頼りになること	71.2%	12.7%	1.6%	0.4%	0.1%	13.9%
5	一生懸命にやること	61.7%	21.2%	2.2%	0.3%	0.5%	14.1%
6	問題が起きた時にきちんと解決すること	72.8%	10.8%	2.2%	0.3%	0.2%	13.8%
7	悪いことをしたときは、きちんと叱ること	73.8%	10.4%	1.4%	0.3%	0.3%	13.9%
8	いつも気持ちが落ち着いていること	59.3%	22.9%	2.6%	0.7%	0.6%	13.9%

▶▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園では、すべての項目で『思う』が90%を超えています(96.4~98.2%)。
- 小学校では、すべての項目で『思う』が80%を超えています(81.4%~83.8%)。
- 中学校では、すべての項目で『思う』が70%を超えています(77.7%~82.0%)。

問15 子どもたちのいじめをなくすために、印西市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- いじめをなくすために市で力を入れるべき取り組みについて、「園や学校で、児童生徒の様子を日頃から注意深く見るようにする」58.1%が最も多く、次いで「園や学校で、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」42.1%、「保護者が自分の子の様子を注意深くよく見るようにする」40.5%と続いています。



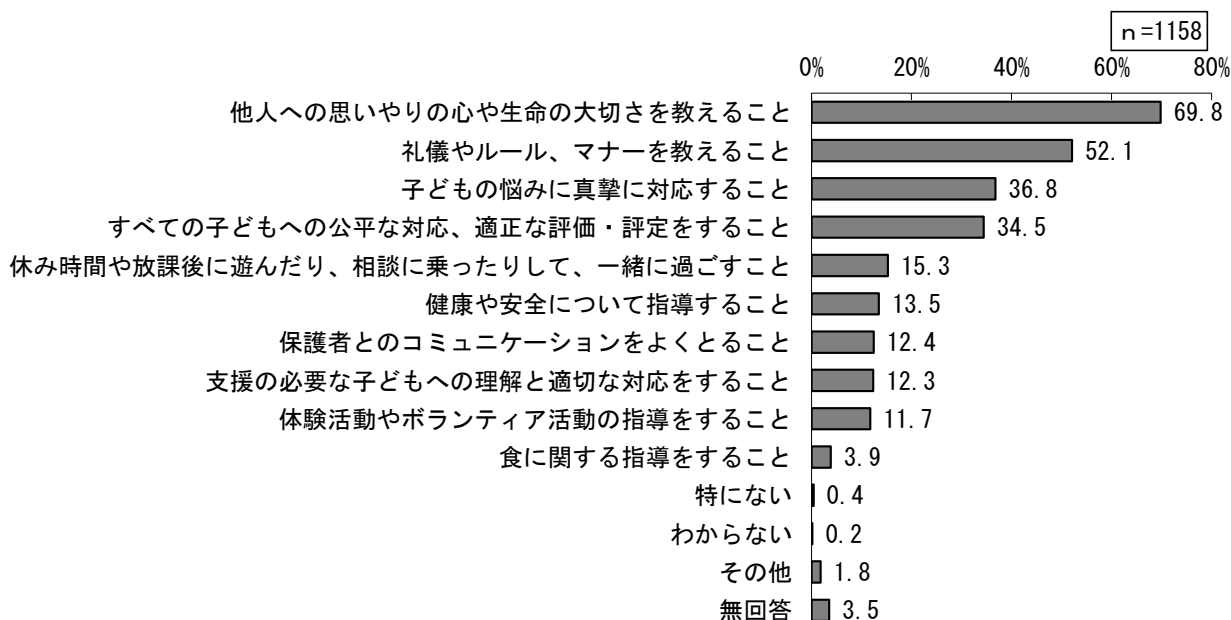
▶▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「園や学校で、児童生徒の様子を日頃から注意深く見るようにする」「保護者が自分の子の様子を注意深くよく見るようにする」「園や学校で、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」「保護者が自分の子に、いじめをしてはいけないことをしっかりと教える」を上位に挙げています。
- その他の項目では、幼稚園の「園や学校以外に、子どもや親が気軽に相談できる窓口をつくる」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	園や学校で、いじめをかりと教える	園や学校で、児童生徒の様子を日頃から注意深く見るようにする	園や学校で、いじめの問題と捉え、話をするなど、身近な問題と捉える指導をする	園や学校で、子ども同士で注意しあうよう指導する	園や学校で、カウンセラーなどの専門家に相談しやすい仕組みをつくる	園や学校で、いじめた児童生徒を厳しく罰する	園や学校以外に、子どもや親が気軽に相談できる窓口をつくる	保護者が自分の子に、いじめをかりと教える
幼稚園	111 100.0%	44 39.6%	67 60.4%	30 27.0%	16 14.4%	20 18.0%	11 9.9%	42 37.8%	40 36.0%
小学校	636 100.0%	284 44.7%	365 57.4%	174 27.4%	76 11.9%	138 21.7%	88 13.8%	132 20.8%	220 34.6%
中学校	399 100.0%	156 39.1%	235 58.9%	77 19.3%	34 8.5%	92 23.1%	51 12.8%	81 20.3%	133 33.3%
	合計	保護者が自分の子のように見るようにする	特にない	わからない	その他				
幼稚園	111 100.0%	45 40.5%	0 0.0%	1 0.9%	4 3.6%				
小学校	636 100.0%	258 40.6%	0 0.0%	1 0.2%	25 3.9%				
中学校	399 100.0%	162 40.6%	0 0.0%	4 1.0%	20 5.0%				

問16 お子さんの通園・通学する園や学校について、学力定着以外で特に期待すること
はありますか。（主なもの3つまで○）

○ 幼稚園や小・中学校に保護者が特に期待すること（学力定着以外）について、「他人への思いやりの心や生命の大切さを教えること」69.8%が最も多く、次いで「礼儀やルール、マナーを教えること」52.1%、「子どもの悩みに真摯に対応すること」36.8%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

○ 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「他人への思いやりの心や生命の大切さを教えること」「礼儀やルール、マナーを教えること」「子どもの悩みに真摯に対応すること」「すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定をすること」を上位に挙げています。

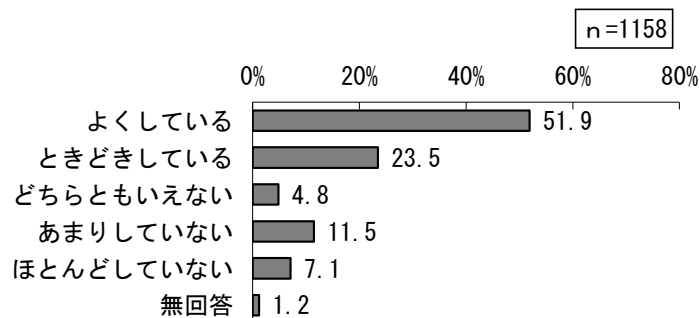
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	礼儀やルール、マナーを教えること	他人への思いやりの心や生命の大切さを教えること	健康や安全について指導すること	食に関する指導をすること	体験活動やボランティア活動の指導をすること	休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと	子どもの悩みに真摯に対応すること	支援の必要な子どもへの理解と適切な対応をすること
幼稚園	111 100.0%	57 51.4%	87 78.4%	19 17.1%	7 6.3%	10 9.0%	16 14.4%	36 32.4%	13 11.7%
小学校	636 100.0%	333 52.4%	450 70.8%	89 14.0%	26 4.1%	84 13.2%	128 20.1%	238 37.4%	82 12.9%
中学校	399 100.0%	210 52.6%	267 66.9%	45 11.3%	12 3.0%	41 10.3%	31 7.8%	149 37.3%	48 12.0%

	合計	すべての子どもへの公平な対応、適正な評価・評定をすること	保護者とのコミュニケーションをよくとること	特にない	わからない	その他
幼稚園	111 100.0%	35 31.5%	27 24.3%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%
小学校	636 100.0%	202 31.8%	63 9.9%	3 0.5%	1 0.2%	13 2.0%
中学校	399 100.0%	159 39.8%	54 13.5%	1 0.3%	1 0.3%	7 1.8%

Ⅱ-4. 外遊びや運動について

問17 お子さんは、ふだんから外遊びや運動をしていますか。（ひとつだけ○）

- 保護者からみて、お子さんが外遊びや運動をしているかについて、『している』75.4%（よくしている+ときどきしている）、『していない』18.6%（ほとんどしていない+あまりしていない）となっています。



外遊びや運動の内容 (自由意見) (多い項目を要約掲載)	内容
	<ul style="list-style-type: none"> サッカー 遊び 鬼ごっこ 自転車 野球 部活動 ドッジボール なわとび ボール遊び 水泳 テニス バドミントン 虫捕り スイミング など

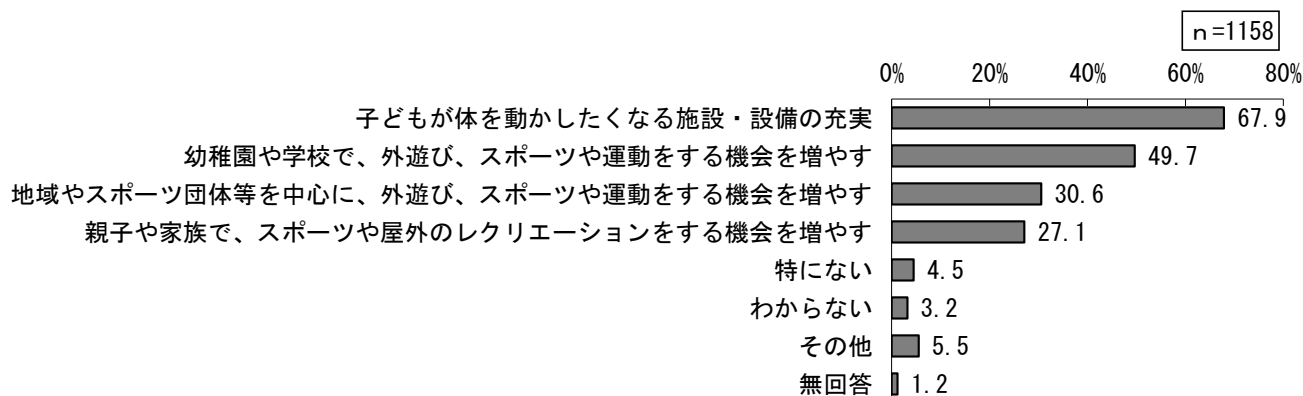
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、『している』は幼稚園 85.6%、小学校 81.6%、中学校 63.9%となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	『している』			『していない』	
		よくしている	ときどきしている	どちらともいえない	あまりしていない	ほとんどしていない
幼稚園	111 100.0%	65 58.6%	30 27.0%	5 4.5%	8 7.2%	2 1.8%
小学校	636 100.0%	339 53.3%	180 28.3%	27 4.2%	59 9.3%	27 4.2%
中学校	399 100.0%	195 48.9%	60 15.0%	22 5.5%	65 16.3%	53 13.3%

問18 子どもたちの体力向上に向けて、印西市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

○ 子どもたちの体力向上のために市で力を入れるべき取り組みについて、「子どもが体を動かしたくなる施設・設備の充実」67.9%が最も多く、次いで「幼稚園や学校で、外遊び、スポーツや運動をする機会を増やす」49.7%、「地域やスポーツ団体等を中心に、外遊び、スポーツや運動をする機会を増やす」30.6%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

○ 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「子どもが体を動かしたくなる施設・設備の充実」「幼稚園や学校で、外遊び、スポーツや運動をする機会を増やす」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	親子や家族で、スポーツや屋外のレクリエーションをする機会を増やす	地域やスポーツ団体等を中心に、外遊び、スポーツや運動をする機会を増やす	幼稚園や学校で、外遊び、スポーツや運動をする機会を増やす	子どもが体を動かしたくなる施設・設備の充実	特にない	わからない	その他
幼稚園	111 100.0%	33 29.7%	19 17.1%	68 61.3%	82 73.9%	2 1.8%	1 0.9%	6 5.4%
小学校	636 100.0%	189 29.7%	217 34.1%	331 52.0%	437 68.7%	27 4.2%	12 1.9%	42 6.6%
中学校	399 100.0%	89 22.3%	116 29.1%	173 43.4%	263 65.9%	23 5.8%	24 6.0%	16 4.0%

問18付問 前問で「1~4」に回答した方にうかがいます。市内に充実するべき機会や施設・設備の具体的な提案を記入してください。（自由意見）

（多い意見を要約掲載）

- 公園の整備、充実
- 子どもの遊び場の拡充
- アスレチック施設、遊具の整備
- 遊具・設備の改修・更新、安全性向上
- 学校、校庭の開放
- 各種スポーツのフィールド整備
- 屋内施設、体育館の整備 など

Ⅱ-5. 家庭教育について

問19 あなたのご家庭ではお子さんとの関わりとして、次のことをどのくらいしていますか。（それぞれにひとつずつ○）

- 家庭での親子の関わりについて、『心がけている』（心がけている＋どちらかといえば心がけている）が90%を超える項目は「悪いことはきちんと叱る」「規則正しい生活習慣を身につける」です。
- 『心がけている』が70%～80%台の項目は「自分でできることは自分でさせる」「家族みんなで食事をする」です。
- 『心がけている』が50%～60%台の項目は「将来や進路についての話をする」「学校や塾のノートに目を通す」「子どもが手伝う家事の分担を決める」です。
- 『心がけている』が40%台の項目は「ものづくりや自然体験の機会をつくる」です。

(n=1158)

※第1位のみ網掛

		『心がけている』				
		心がけている	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえない	心がけていない
1	規則正しい生活習慣を身につける	49.9%	41.5%	6.6%	0.9%	0.3%
2	子どもが手伝う家事の分担を決める	19.9%	31.2%	29.4%	14.3%	4.2%
3	悪いことはきちんと叱る	80.6%	17.2%	1.2%	0.2%	0.1%
4	自分でできることは自分でさせる	45.4%	42.7%	9.4%	1.6%	0.1%
5	家族みんなで食事をする	37.6%	42.3%	15.6%	2.7%	0.9%
6	将来や進路についての話をする	27.1%	40.7%	25.0%	4.6%	1.8%
7	学校や塾のノートに目を通す	22.7%	35.9%	23.5%	12.0%	5.1%
8	ものづくりや自然体験の機会をつくる	15.1%	33.4%	32.8%	14.4%	3.4%

▶▶クロス集計でみる特徴

○ 幼稚園から小・中学校にかけて『心がけている』の比率の変化をA～Dに分類します。

【A】子どもの年齢に関わらず、多くの家庭で常に心がけていること（幼稚園、小・中学校ともに70%以上）は、「悪いことはきちんと叱る」「規則正しい生活習慣を身につける」「自分でできることは自分でさせる」「家族みんなで食事をする」。

【B】子どもの年齢が上がるのに従い、心がけている家庭が増えていくことは、「将来や進路についての話をする」。

【C】子どもの年齢が上がるのに従い、心がけている家庭が少なくなっていくことは、「学校や塾のノートに目を通す」「ものづくりや自然体験の機会をつくる」。

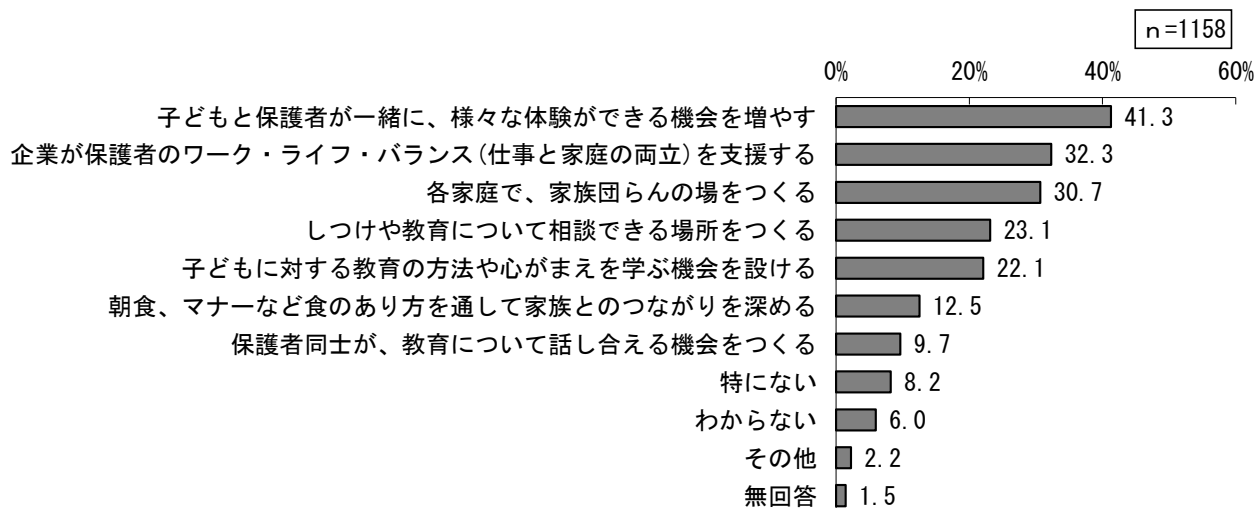
【D】子どもの年齢に関わらず、半数程度の家庭で心がけていること（幼稚園、小・中学校ともに40%～50%台）は、「子どもが手伝う家事の分担を決める」。

■ 『心がけている』の比率

		幼稚園 (n=111)	小学校 (n=636)	中学校 (n=399)
A	規則正しい生活習慣を身につける	92.8%	92.8%	89.7%
D	子どもが手伝う家事の分担を決める	47.7%	52.0%	51.4%
A	悪いことはきちんと叱る	99.1%	98.3%	97.7%
A	自分でできることは自分でさせる	92.8%	89.6%	85.7%
A	家族みんなで食事をする	87.4%	81.9%	75.4%
B	将来や進路についての話をする	35.1%	67.1%	79.2%
C	学校や塾のノートに目を通す	70.3%	64.0%	47.6%
C	ものづくりや自然体験の機会をつくる	62.2%	56.3%	32.8%

問20 あなたは、家庭教育の充実に向けて、印西市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 家庭教育の充実に向けて市で力を入れるべき取り組みについて、「子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」41.3%が最も多く、次いで「企業が保護者のワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）を支援する」32.3%、「各家庭で、家族団らんの場をつくる」30.7%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」「企業が保護者のワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）を支援する」「各家庭で、家族団らんの場をつくる」を上位に挙げています。
- その中で、幼稚園の「子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が特に多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ機会を設ける	保護者同士が、教育について話し合える機会をつくる	しつけや教育について相談できる場所をつくる	子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす	各家庭で、家族団らんの場をつくる	朝食、マナーなど食のあり方を通して家族とのつながりを深める	企業が保護者のワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)を支援する	特にない	わからない
幼稚園	111 100.0%	20 18.0%	18 16.2%	24 21.6%	62 55.9%	36 32.4%	20 18.0%	31 27.9%	8 7.2%	6 5.4%
小学校	636 100.0%	142 22.3%	57 9.0%	150 23.6%	281 44.2%	194 30.5%	77 12.1%	236 37.1%	42 6.6%	37 5.8%
中学校	399 100.0%	92 23.1%	36 9.0%	92 23.1%	131 32.8%	124 31.1%	48 12.0%	104 26.1%	45 11.3%	26 6.5%

問21 印西市の子どもが健やかに成長するために、次のことを家庭や地域のどちらが中心となって取り組んだらよいと思いますか。（それぞれにひとつずつ○）

- 子どもの健やかな成長のための家庭と地域の役割について、「自分の健康を管理する力を養う」は「主に家庭」で担う、その他の項目は「家庭と地域の両方で担う」が多くなっています。

(n=1158)

※第1位のみ網掛

		主に家庭	主に地域	両方で担う
1	言葉づかい、礼儀、社会のルール、マナーを教える	41.5%	0.4%	56.9%
2	他人への思いやりの心、生命の大切さを教える	35.3%	1.1%	62.5%
3	他人や異質なものを認めあう心を養う	17.4%	6.0%	75.3%
4	体力や運動能力を養う	17.0%	13.6%	68.2%
5	自分の健康を管理する力を養う	73.7%	0.8%	24.4%
6	自然や環境を大切にする心を養う	10.8%	10.7%	77.3%
7	郷土や国を愛する心を養う	4.3%	27.7%	66.3%
8	人間関係を築く力を養う	11.5%	5.7%	81.6%

▶▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「自分の健康を管理する力を養う」は「主に家庭」で担う、その他の項目は「家庭と地域の両方で担う」が多くなっています。

■幼稚園 (n=111)

※第1位のみ網掛

		主に家庭	主に地域	両方で担う
1	言葉づかい、礼儀、社会のルール、マナーを教える	42.3%	0.9%	55.9%
2	他人への思いやりの心、生命の大切さを教える	36.0%	0.0%	63.1%
3	他人や異質なものを認めあう心を養う	19.8%	6.3%	72.1%
4	体力や運動能力を養う	16.2%	9.0%	73.9%
5	自分の健康を管理する力を養う	81.1%	0.0%	18.0%
6	自然や環境を大切にする心を養う	4.5%	11.7%	82.9%
7	郷土や国を愛する心を養う	2.7%	30.6%	65.8%
8	人間関係を築く力を養う	15.3%	4.5%	79.3%

■ 小学校 (n=636)

※第1位のみ網掛

		主に家庭	主に地域	両方で担う
1	言葉づかい、礼儀、社会のルール、マナーを教える	41.7%	0.5%	57.4%
2	他人への思いやりの心、生命の大切さを教える	34.4%	1.6%	63.7%
3	他人や異質なものを認めあう心を養う	17.8%	6.0%	75.8%
4	体力や運動能力を養う	18.6%	12.1%	69.0%
5	自分の健康を管理する力を養う	74.5%	0.9%	24.1%
6	自然や環境を大切にする心を養う	11.6%	9.6%	78.3%
7	郷土や国を愛する心を養う	4.7%	27.7%	66.8%
8	人間関係を築く力を養う	11.3%	6.3%	81.8%

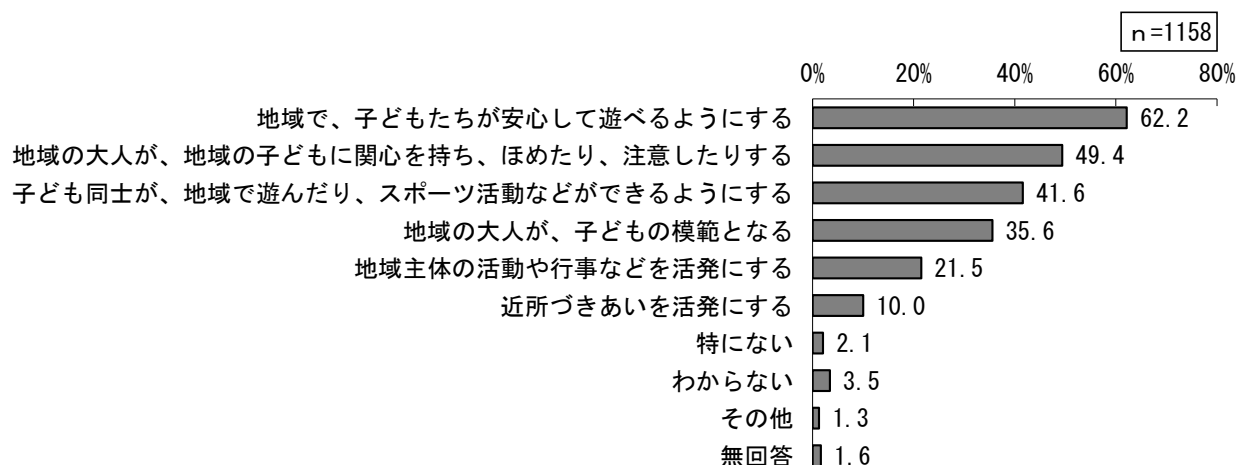
■ 中学校 (n=399)

※第1位のみ網掛

		主に家庭	主に地域	両方で担う
1	言葉づかい、礼儀、社会のルール、マナーを教える	41.1%	0.3%	57.4%
2	他人への思いやりの心、生命の大切さを教える	36.8%	0.5%	61.4%
3	他人や異質なものを認めあう心を養う	16.3%	5.8%	76.4%
4	体力や運動能力を養う	15.0%	17.3%	66.2%
5	自分の健康を管理する力を養う	71.4%	0.5%	26.8%
6	自然や環境を大切にする心を養う	11.5%	12.0%	74.9%
7	郷土や国を愛する心を養う	4.3%	27.1%	66.7%
8	人間関係を築く力を養う	10.5%	5.0%	83.2%

問22 印西市の「地域の教育力」を高めるために、市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 地域の教育力を高めるために市で力を入れるべき取り組みについて、「地域で、子どもたちが安心して遊べるようにする」62.2%が最も多く、次いで「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」49.4%、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」41.6%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

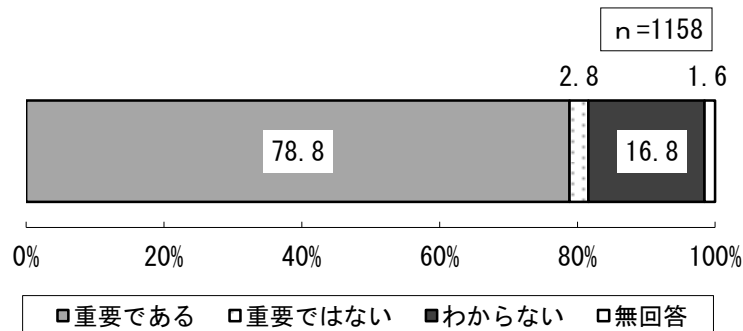
- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「地域で、子どもたちが安心して遊べるようにする」「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」「地域の大人が、子どもの模範となる」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	地域の大人が、子どもの模範となる	地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	近所づきあいを活発にする	地域主体の活動や行事などを活発にする	地域で、子どもたちが安心して遊べるようにする	特にない	わからない	その他
幼稚園	111 100.0%	45 40.5%	62 55.9%	45 40.5%	19 17.1%	22 19.8%	80 72.1%	2 1.8%	2 1.8%	1 0.9%
小学校	636 100.0%	216 34.0%	314 49.4%	291 45.8%	65 10.2%	147 23.1%	427 67.1%	11 1.7%	20 3.1%	10 1.6%
中学校	399 100.0%	148 37.1%	190 47.6%	141 35.3%	32 8.0%	79 19.8%	210 52.6%	11 2.8%	18 4.5%	4 1.0%

Ⅱ-6. 子どもたちの文化芸術活動について

問23 幼稚園や学校以外で、子どもたちが様々な活動することは重要だと思いますか。（ひとつだけ○）

- 幼稚園や小・中学校以外での子どもの活動の重要度について、「重要である」78.8%が最も多く、次いで「わからない」16.8%、「重要ではない」2.8%と続いています。



▶▶クロス集計でみる特徴

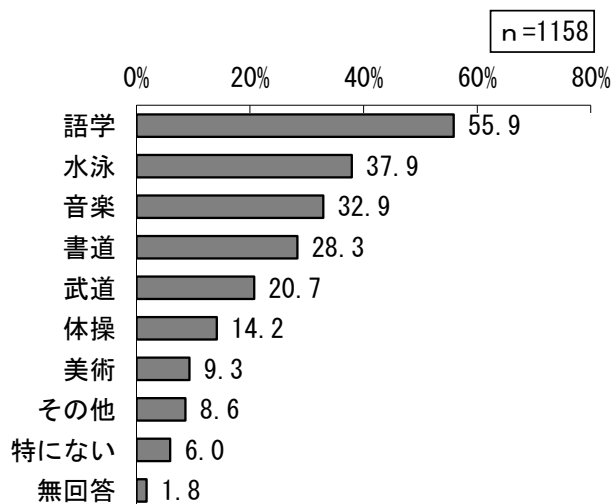
- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「重要である」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	重要である	重要ではない	わからない
幼稚園	111 100.0%	90 81.1%	2 1.8%	19 17.1%
小学校	636 100.0%	516 81.1%	15 2.4%	99 15.6%
中学校	399 100.0%	299 74.9%	15 3.8%	77 19.3%

問24 幼稚園や学校以外で、お子さんに特にさせたい活動はありますか。

(主なもの3つまで○)

- 幼稚園や小・中学校以外で子どもにさせたい活動について、「語学」55.9%が最も多く、次いで「水泳」37.9%、「音楽」32.9%と続いています。



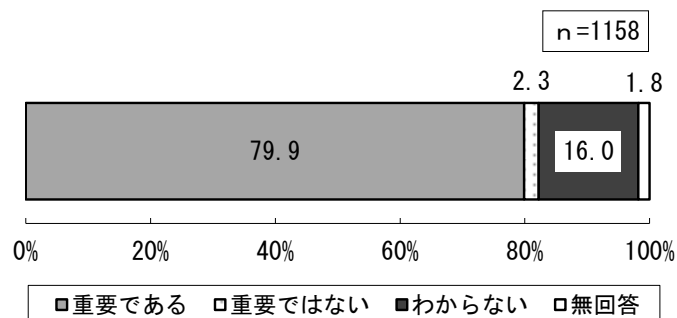
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「語学」「水泳」「音楽」を上位に挙げています。
- その中で、幼稚園では「水泳」と「語学」が多く、小学校、中学校では「語学」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	音楽	語学	美術	書道	水泳	体操	武道	その他	特にない
幼稚園	111 100.0%	45 40.5%	54 48.6%	10 9.0%	35 31.5%	55 49.5%	32 28.8%	21 18.9%	7 6.3%	4 3.6%
小学校	636 100.0%	213 33.5%	365 57.4%	63 9.9%	185 29.1%	271 42.6%	91 14.3%	136 21.4%	62 9.7%	27 4.2%
中学校	399 100.0%	120 30.1%	222 55.6%	35 8.8%	107 26.8%	111 27.8%	40 10.0%	82 20.6%	30 7.5%	38 9.5%

問25 子どもたちの文化芸術体験について重要だと思いますか。（ひとつだけ○）

- 子どもの時の文化芸術体験の重要性について、「重要である」79.9%が最も多く、次いで「わからない」16.0%、「重要ではない」2.3%と続いています。



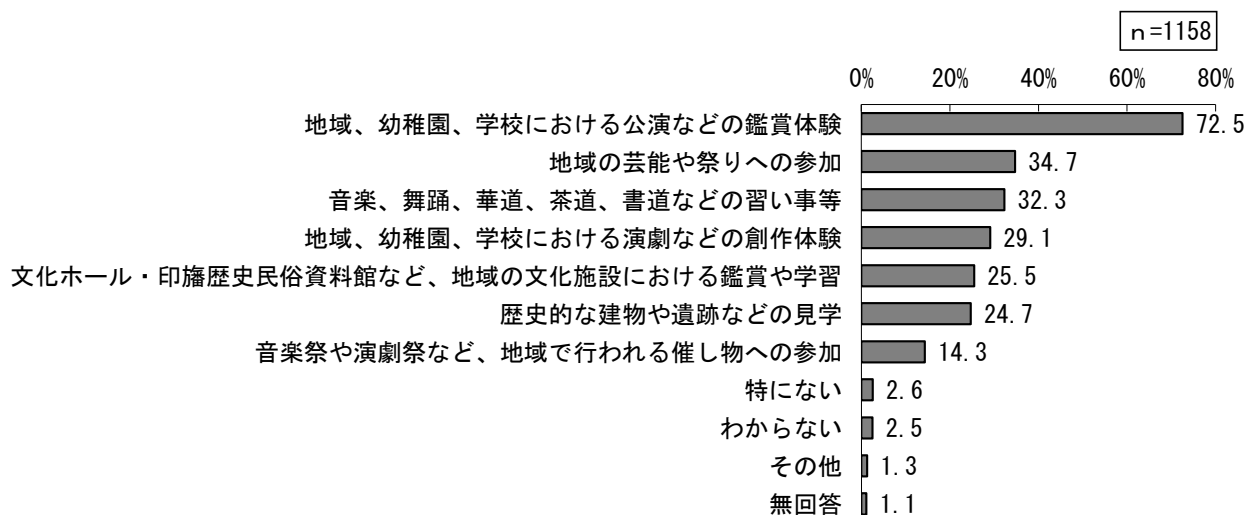
▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「重要である」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	重要である	重要ではない	わからない
幼稚園	111 100.0%	87 78.4%	2 1.8%	22 19.8%
小学校	636 100.0%	530 83.3%	13 2.0%	87 13.7%
中学校	399 100.0%	301 75.4%	12 3.0%	75 18.8%

問26 お子さんは、今までにどのような文化芸術に親しむ機会（文化芸術体験）がありましたか。（主なもの3つまで○）

- 子どもの文化芸術に親しむ体験（文化芸術体験）について、「地域、幼稚園、学校における公演などの鑑賞体験」72.5%が最も多く、次いで「地域の芸能や祭りへの参加」34.7%、「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等」32.3%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

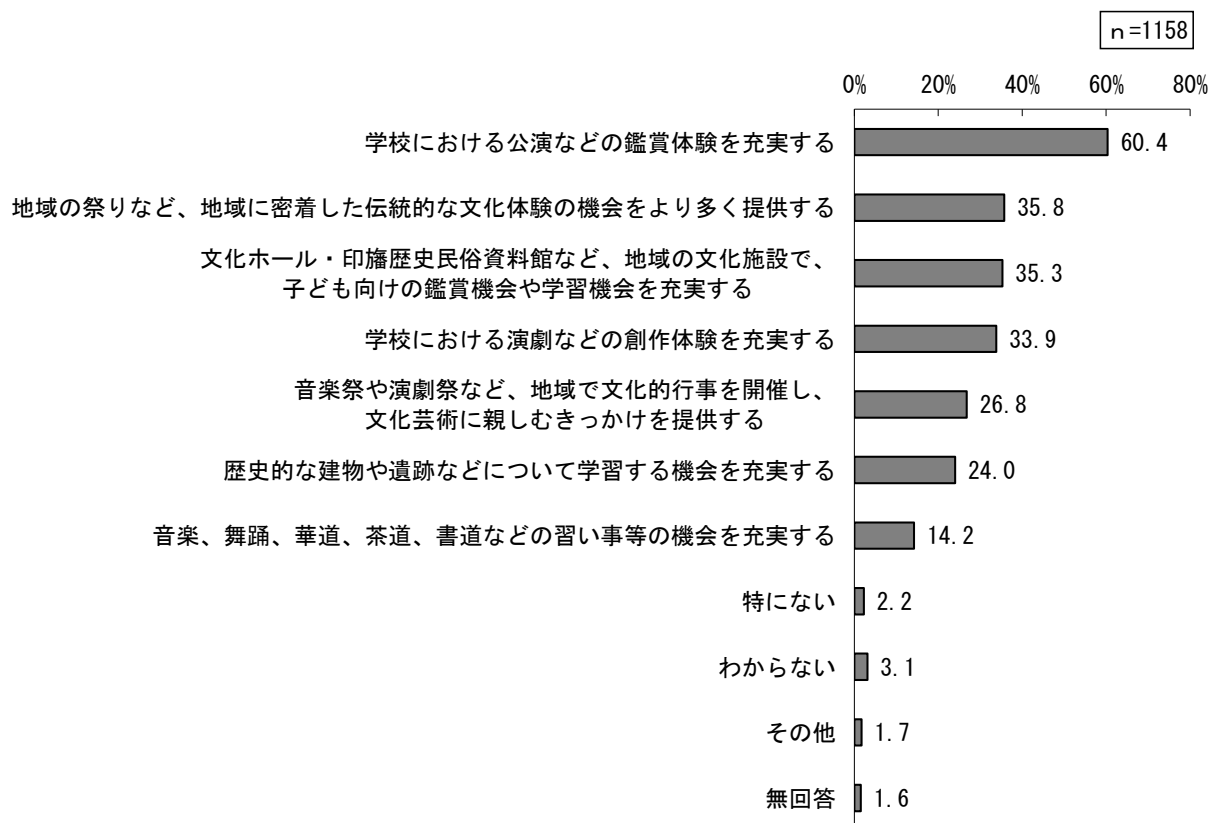
- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「地域、幼稚園、学校における公演などの鑑賞体験」「地域の芸能や祭りへの参加」「地域、幼稚園、学校における演劇などの創作体験」を上位に挙げています。
- その中で、「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等」は小学校、中学校で多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	地域、幼稚園、学校における公演などの鑑賞体験	地域、幼稚園、学校における演劇などの創作体験	音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等	文化ホール・印旛歴史民俗資料館など、地域の文化施設における鑑賞や学習	音楽祭や演劇祭など、地域で行われる催し物への参加	地域の芸能や祭りへの参加	歴史的な建物や遺跡などの見学	特にない
幼稚園	111 100.0%	60 54.1%	39 35.1%	16 14.4%	13 11.7%	17 15.3%	46 41.4%	18 16.2%	13 11.7%
小学校	636 100.0%	479 75.3%	186 29.2%	235 36.9%	167 26.3%	88 13.8%	205 32.2%	151 23.7%	10 1.6%
中学校	399 100.0%	298 74.7%	109 27.3%	120 30.1%	114 28.6%	59 14.8%	149 37.3%	114 28.6%	7 1.8%

	合計	なわ いから	そ の 他
幼稚園	111 100.0%	5 4.5%	2 1.8%
小学校	636 100.0%	12 1.9%	4 0.6%
中学校	399 100.0%	12 3.0%	8 2.0%

問27 子どもの頃からの豊かな文化芸術体験について、印西市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 子どもの文化芸術体験のために市で力を入れるべき取り組みについて、「学校における公演などの鑑賞体験を充実する」60.4%が最も多く、次いで「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する」35.8%、「文化ホール・印旛歴史民俗資料館など、地域の文化施設で、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実する」35.3%と続いています。



▶▶クロス集計でみる特徴

- 通園・通学別にみると、幼稚園、小学校、中学校ともに「学校における公演などの鑑賞体験を充実する」「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する」「文化ホール・印旛歴史民俗資料館など、地域の文化施設で、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実する」「学校における演劇などの創作体験を充実する」を上位に挙げています。

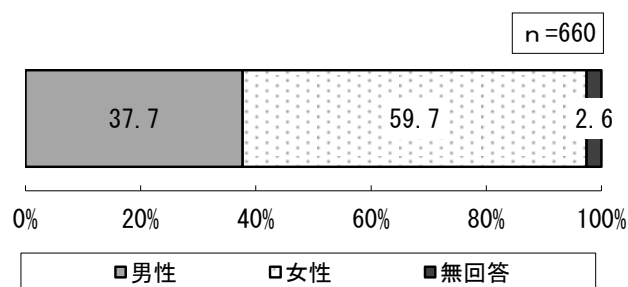
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	学校における公演などの鑑賞体験を充実する	学校における演劇などの創作体験を充実する	音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等の機会を充実する	文化ホール・印旛歴史民俗資料館など、地域の文化施設で、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実する	音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する	地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	特になし
幼稚園	111 100.0%	71 64.0%	46 41.4%	26 23.4%	43 38.7%	14 12.6%	43 38.7%	20 18.0%	0 0.0%
小学校	636 100.0%	385 60.5%	231 36.3%	88 13.8%	232 36.5%	168 26.4%	229 36.0%	154 24.2%	13 2.0%
中学校	399 100.0%	239 59.9%	113 28.3%	49 12.3%	131 32.8%	126 31.6%	138 34.6%	101 25.3%	13 3.3%
	合計	わからない	その他						
幼稚園	111 100.0%	4 3.6%	0 0.0%						
小学校	636 100.0%	19 3.0%	14 2.2%						
中学校	399 100.0%	13 3.3%	6 1.5%						

Ⅲ 調査結果／20歳以上の市民

Ⅲ-1. ご本人について

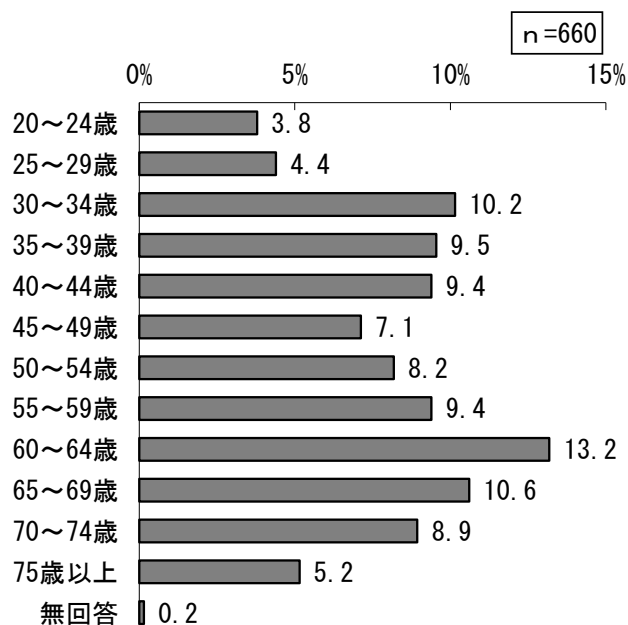
問1 あなたの性別はどちらですか。（どちらかに○）

- 回答者（市民）の性別について、「男性」が37.7%、「女性」が59.7%となっています。



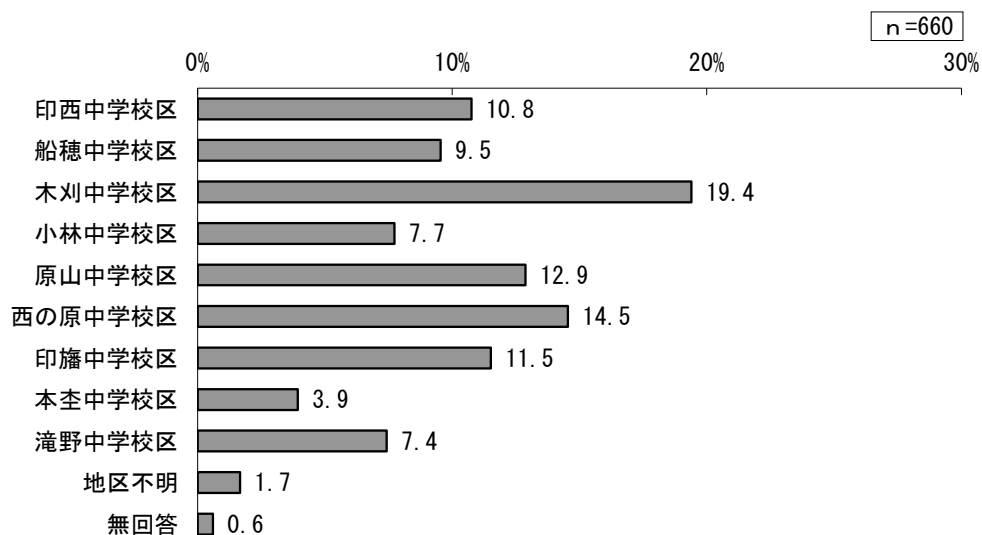
問2 あなたは何歳ですか。（ひとつだけ○）

- 回答者（市民）の年齢について、「60～64歳」13.2%が最も多く、次いで「65～69歳」10.6%、「30～34歳」10.2%、「35～39歳」9.5%と続いています。



問3 あなたが住んでいる小学校区はどこですか。（ひとつだけ○）

- 回答者（市民）の居住地区（中学校区）について、「木刈中学校区」19.4%が最も多く、次いで「西の原中学校区」14.5%、「原山中学校区」12.9%と続いています。（※小学校区を中学校区に集計）

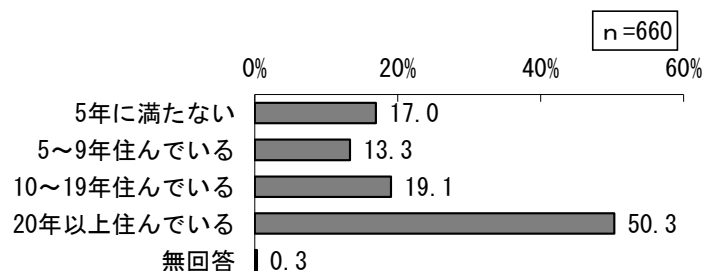


- 居住地区（中学校区）別の回答者の年齢構成をみると、若い世代（20歳代～30歳代）が多い（30%台）のは「木刈中学校区」「西の原中学校区」「滝野中学校区」です。
- 中堅世代（40歳代～50歳代）が多い（40%台）のは「西の原中学校区」「原山中学校区」です。
- シニア世代（60歳以上）が多い（50%以上）のは「印西中学校区」「本柰中学校区」です。

中学校区	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上
全体	8.2%	19.7%	16.5%	17.6%	13.2%	24.7%
印西中学校区	5.6%	18.3%	12.7%	9.9%	19.7%	33.8%
船穂中学校区	15.9%	12.7%	4.8%	20.6%	17.5%	28.6%
木刈中学校区	5.5%	32.0%	13.3%	18.0%	9.4%	21.9%
小林中学校区	11.8%	7.8%	13.7%	17.6%	15.7%	33.3%
原山中学校区	5.9%	18.8%	20.0%	21.2%	9.4%	24.7%
西の原中学校区	6.3%	24.0%	28.1%	18.8%	10.4%	11.5%
印旛中学校区	10.5%	13.2%	15.8%	19.7%	10.5%	30.3%
本柰中学校区	3.8%	7.7%	15.4%	11.5%	30.8%	30.8%
滝野中学校区	12.2%	18.4%	20.4%	16.3%	14.3%	18.4%

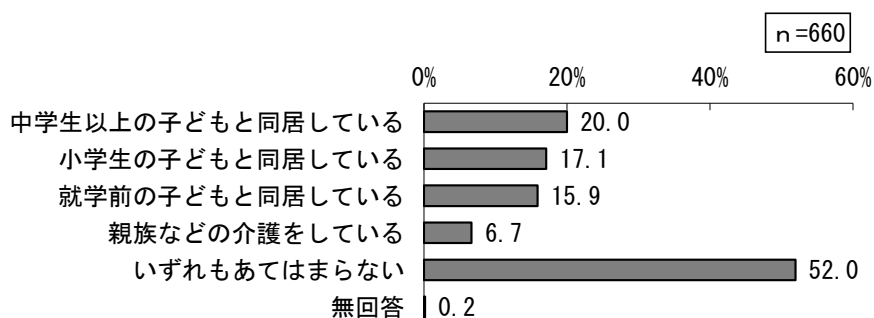
問4 あなたは印西市に何年住んでいますか。（ひとつだけ○）

- 回答者（市民）の居住年数について、「20年以上住んでいる」50.3%が最も多く、次いで「10～19年住んでいる」19.1%、「5年に満たない」17.0%と続いています。



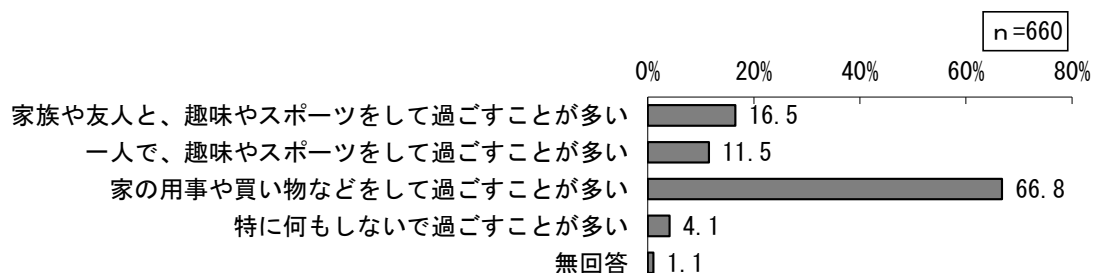
問5 世帯の状況をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 回答者（市民）の世帯状況（同居状況）について、「いずれもあてはまらない」52.0%が最も多く、次いで「中学生以上の子どもと同居している」20.0%、「小学生の子どもと同居している」17.1%と続いています。



問6 あなたは、休みの日をどのように過ごしていますか。（ひとつだけ○）

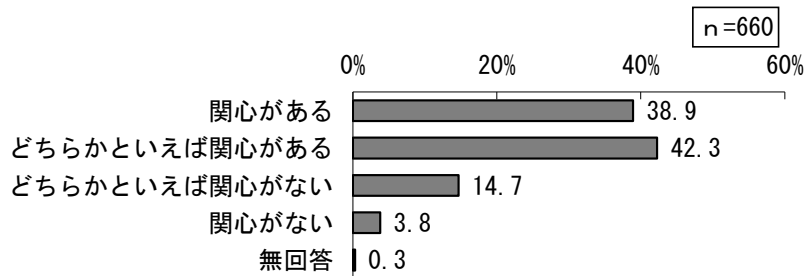
- 回答者（市民）の休日の過ごし方について、「家の用事や買い物などをして過ごすことが多い」66.8%が最も多く、次いで「家族や友人と、趣味やスポーツをして過ごすことが多い」16.5%、「一人で、趣味やスポーツをして過ごすことが多い」11.5%と続いています。



Ⅲ-2. 子どもたちへの教育について

問7 あなたは、教育のニュースや話題に関心がありますか。（ひとつだけ○）

- 教育のニュースや話題への市民の関心度について、『関心ある』81.2%（関心がある+どちらかといえば関心がある）、『関心ない』18.5%（関心がない+どちらかといえば関心がない）となっています。



▶クロス集計でみる特徴

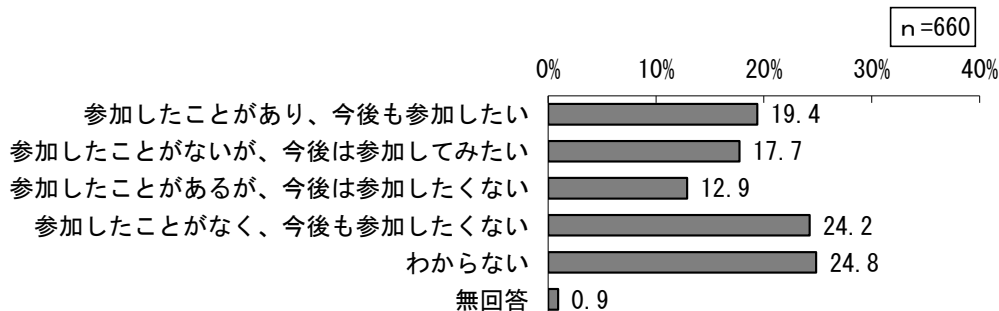
- 年齢層別、世帯状況別にみると、すべての年齢層、世帯状況で『関心ある』が『関心ない』を大きく上回っています。
- その中でも、就学前の子どもと同居、小学生の子どもと同居では『関心ある』が95%を超えています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『関心ある』		『関心ない』	
		関心がある	どちらかといえ ば関心がある	どちらかとい えば関心がない	関心がない
20歳代	54 100.0%	17 31.5%	27 50.0%	7 13.0%	3 5.6%
30歳代	130 100.0%	65 50.0%	47 36.2%	10 7.7%	7 5.4%
40歳代	109 100.0%	49 45.0%	45 41.3%	13 11.9%	2 1.8%
50歳代	116 100.0%	39 33.6%	55 47.4%	20 17.2%	2 1.7%
60~64歳	87 100.0%	23 26.4%	34 39.1%	27 31.0%	3 3.4%
65歳以上	163 100.0%	64 39.3%	70 42.9%	20 12.3%	8 4.9%
就学前の子どもと同居	105 100.0%	63 60.0%	40 38.1%	1 1.0%	0 0.0%
小学生の子どもと同居	113 100.0%	70 61.9%	39 34.5%	3 2.7%	0 0.0%
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	54 40.9%	63 47.7%	15 11.4%	0 0.0%
親族などの介護をしている	44 100.0%	14 31.8%	19 43.2%	10 22.7%	1 2.3%
いずれもあてはまらない	343 100.0%	106 30.9%	140 40.8%	72 21.0%	24 7.0%

問8 あなたは、地域の小・中学校に関わる活動に参加する意向をお持ちですか。

(ひとつだけ○)

- 市民の小・中学校に関わる活動への参加意向について、『参加意向あり』37.1% (参加したこともあり、今後も参加したい+参加したことがないが、今後は参加してみたい)、『参加意向なし』37.1% (参加したことがあるが、今後は参加したくない+参加したことがなく、今後も参加したくない)、「わからない」24.8%となっています。



▶クロス集計でみる特徴

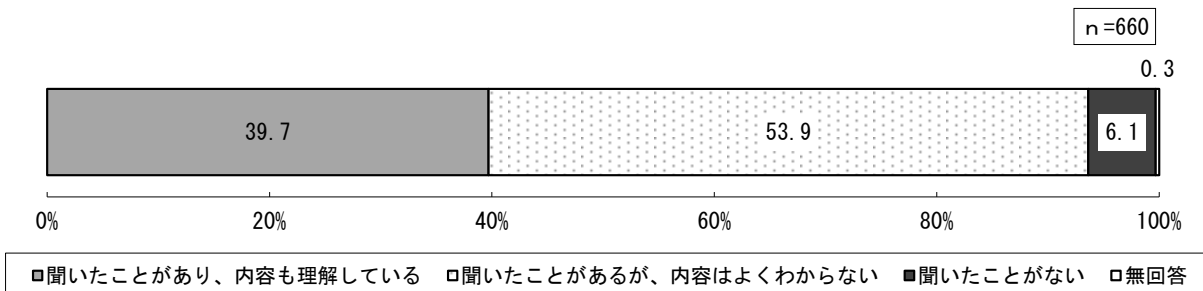
- 年齢層別にみると、30歳代～40歳代は『参加意向あり』が50%前後であり、『参加意向なし』を上回っています。50歳代以降は『参加意向なし』が『参加意向あり』を上回っています。
- 世帯状況別にみると、就学前の子どもと同居、小学生の子どもと同居は『参加意向あり』が60%～70%台であり、『参加意向なし』を大きく上回っています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『参加意向あり』		『参加意向なし』		わからない
		参加した ことがあり、 今後も参加 したい	参加した ことがない が、今後は 参加してみ たい	参加した ことがある が、今後は 参加したく ない	参加した ことがなく、 今後も参加 したくない	
20歳代	54 100.0%	4 7.4%	14 25.9%	1 1.9%	17 31.5%	18 33.3%
30歳代	130 100.0%	30 23.1%	42 32.3%	7 5.4%	19 14.6%	31 23.8%
40歳代	109 100.0%	37 33.9%	17 15.6%	18 16.5%	19 17.4%	18 16.5%
50歳代	116 100.0%	28 24.1%	11 9.5%	22 19.0%	29 25.0%	24 20.7%
60～64歳	87 100.0%	10 11.5%	10 11.5%	13 14.9%	25 28.7%	27 31.0%
65歳以上	163 100.0%	19 11.7%	23 14.1%	24 14.7%	51 31.3%	45 27.6%
就学前の子どもと同居	105 100.0%	23 21.9%	46 43.8%	6 5.7%	11 10.5%	19 18.1%
小学生の子どもと同居	113 100.0%	67 59.3%	17 15.0%	11 9.7%	6 5.3%	12 10.6%
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	48 36.4%	7 5.3%	33 25.0%	21 15.9%	22 16.7%
親族などの介護をしている	44 100.0%	8 18.2%	6 13.6%	4 9.1%	15 34.1%	10 22.7%
いずれもあてはまらない	343 100.0%	29 8.5%	55 16.0%	40 11.7%	111 32.4%	104 30.3%

Ⅲ-3. 生涯学習について

問9 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。（ひとつだけ○）

- 市民の「生涯学習」の認知度について、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」53.9%、「聞いたことがあり、内容も理解している」39.7%、「聞いたことがない」6.1%となっています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が最も多くなっています。
- その中で、40歳代以上の「聞いたことがあり、内容も理解している」が40%台、20歳代の「聞いたことがない」が20%台であり、他の年齢層に比べてそれぞれ多くなっています。

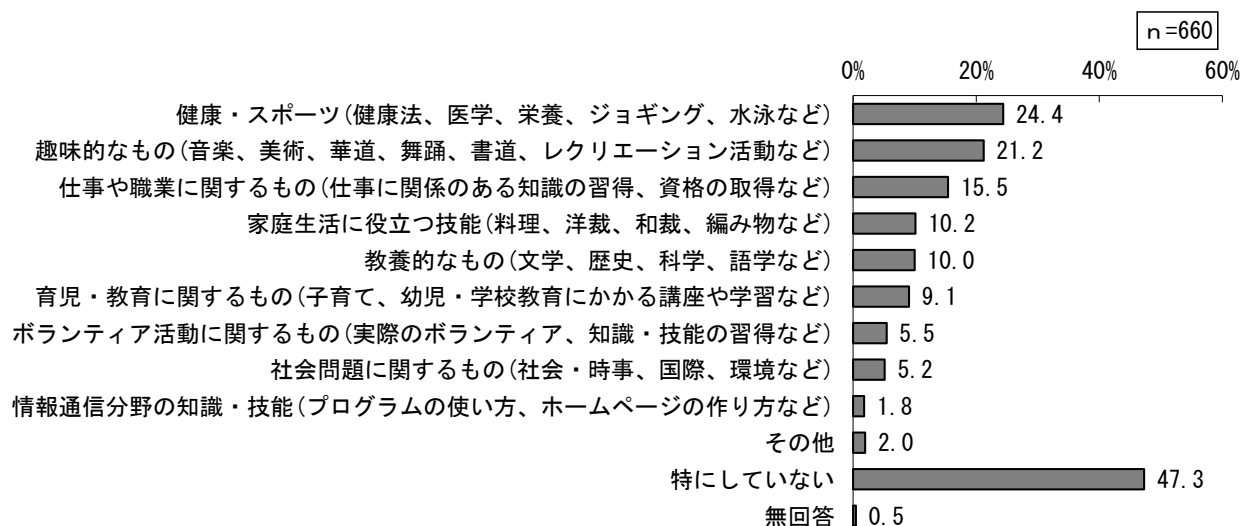
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	聞いたことがあり、 内容も理解している	聞いたことがある が、内容はよくわか らない	聞いたことがない
20歳代	54 100.0%	17 31.5%	26 48.1%	11 20.4%
30歳代	130 100.0%	32 24.6%	83 63.8%	15 11.5%
40歳代	109 100.0%	48 44.0%	55 50.5%	6 5.5%
50歳代	116 100.0%	57 49.1%	58 50.0%	1 0.9%
60~64歳	87 100.0%	38 43.7%	46 52.9%	3 3.4%
65歳以上	163 100.0%	70 42.9%	87 53.4%	4 2.5%

- 今後の生涯学習意欲別にみると、生涯学習をしたい人では「聞いたことがあり、内容も理解している」が58.7%であり、他に比べて多くなっています。
- 生涯学習をどちらかといえばしたい人では、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が60.1%となっています。

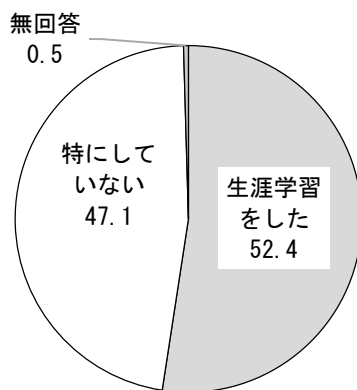
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	聞いたことがあり、 内容も理解している	聞いたことがあるが、 内容はよくわからない	聞いたことがない
生涯学習をしたい	235 100.0%	138 58.7%	87 37.0%	10 4.3%
どちらかといえば、 したい	253 100.0%	89 35.2%	152 60.1%	11 4.3%
どちらともいえな い	113 100.0%	24 21.2%	80 70.8%	9 8.0%
どちらかといえば、 したいと思わない	25 100.0%	2 8.0%	20 80.0%	3 12.0%
生涯学習をしたい と思わない	32 100.0%	8 25.0%	17 53.1%	7 21.9%

問10 あなたは、この1年の間に、市の講座や民間の講座にかかわらず、次のような生涯学習をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

- この1年間の市民の生涯学習の活動状況について、「特にしていない」47.3%が最も多く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」24.4%、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」21.2%と続いています。



- 上記の結果から、この1年間に何らかの生涯学習活動を行った市民の比率（実人数で集計）は52.4%となっています。



▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「特にしていない」が最も多くなっています。
- その中で、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」は60歳以上で、「仕事や職業に関するもの（仕事に関係のある知識の習得、資格の取得など）」は20歳代で、他の年齢層に比べてそれぞれ多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	趣味的なもの	教養的なもの	社会問題に関するもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育に関するもの	仕事や職業に関するもの	情報通信分野の知識・技能
20歳代	54 100.0%	12 22.2%	9 16.7%	9 16.7%	12 22.2%	8 14.8%	7 13.0%	20 37.0%	5 9.3%
30歳代	130 100.0%	19 14.6%	6 4.6%	2 1.5%	24 18.5%	9 6.9%	27 20.8%	25 19.2%	1 0.8%
40歳代	109 100.0%	15 13.8%	6 5.5%	6 5.5%	27 24.8%	13 11.9%	17 15.6%	25 22.9%	0 0.0%
50歳代	116 100.0%	22 19.0%	17 14.7%	6 5.2%	25 21.6%	12 10.3%	4 3.4%	12 10.3%	2 1.7%
60～64歳	87 100.0%	24 27.6%	11 12.6%	3 3.4%	24 27.6%	10 11.5%	3 3.4%	10 11.5%	2 2.3%
65歳以上	163 100.0%	48 29.4%	17 10.4%	8 4.9%	49 30.1%	15 9.2%	2 1.2%	10 6.1%	2 1.2%
	合計	動ボランテニア活 に関するもの	その他	特にしていない					
20歳代	54 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	21 38.9%					
30歳代	130 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	64 49.2%					
40歳代	109 100.0%	4 3.7%	3 2.8%	50 45.9%					
50歳代	116 100.0%	6 5.2%	2 1.7%	58 50.0%					
60～64歳	87 100.0%	4 4.6%	2 2.3%	44 50.6%					
65歳以上	163 100.0%	20 12.3%	5 3.1%	74 45.4%					

- 今後の生涯学習意欲別にみると、生涯学習をしたい人では、生涯学習活動をした比率が84.3%となっています。
- 生涯学習をどちらかといえば、したい人では、何らかの生涯学習活動をした比率と、特にしていない比率が同程度となっています。

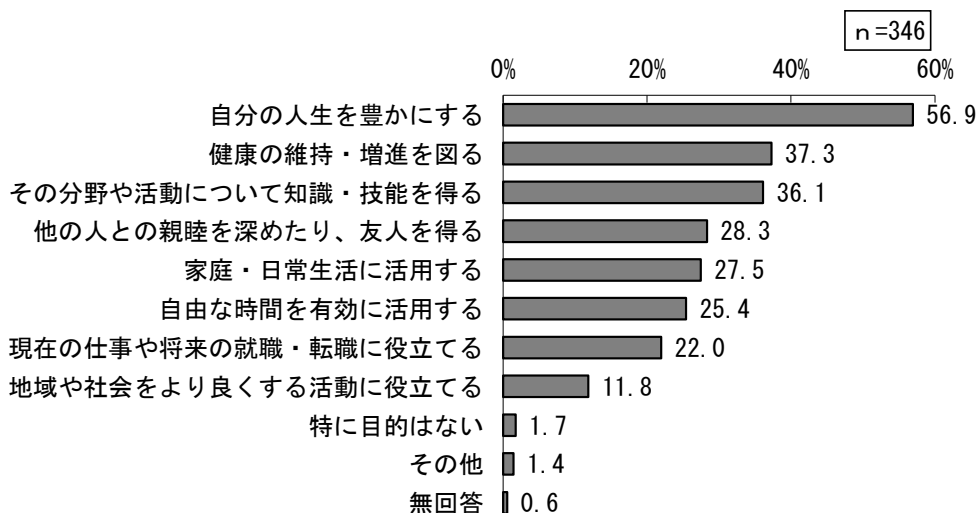
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	生涯学習をした	特にしていない
生涯学習をしたい	235 100.0%	198 84.3%	36 15.3%
どちらかといえば、 したい	253 100.0%	118 46.6%	133 52.6%
どちらともいえない	113 100.0%	20 17.7%	93 82.3%
どちらかといえば、 したいと思わない	25 100.0%	6 24.0%	19 76.0%
生涯学習をしたい と思わない	32 100.0%	2 6.3%	30 93.8%

- 地域貢献意欲別にみると、貢献意欲のある人（役立てたい、どちらかというと役立てたい）では生涯学習活動をした比率が60～70%台となっています。
- 貢献意欲のない人（役立てようとは思わない、どちらかというと役立てようとは思わない）では、特にしていない比率が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	生涯学習をした	特にしていない
自身の知識・技能等 を役立てたい	78 100.0%	62 79.5%	16 20.5%
どちらかという と役立てたい	94 100.0%	58 61.7%	36 38.3%
どちらともいえない	295 100.0%	146 49.5%	146 49.5%
どちらかという と役立てようとは思 わない	82 100.0%	36 43.9%	46 56.1%
自身の知識・技能等 を役立てようとは思 わない	86 100.0%	32 37.2%	54 62.8%

問 10-1 問 10 で「1~10」に回答された方にうかがいます。あなたが生涯学習を行う主な目的は何ですか。（主なもの3つまで○）

- 生涯学習をしている市民の活動目的について、「自分の人生を豊かにする」56.9%が最も多く、次いで「健康の維持・増進を図る」37.3%、「その分野や活動について知識・技能を得る」36.1%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

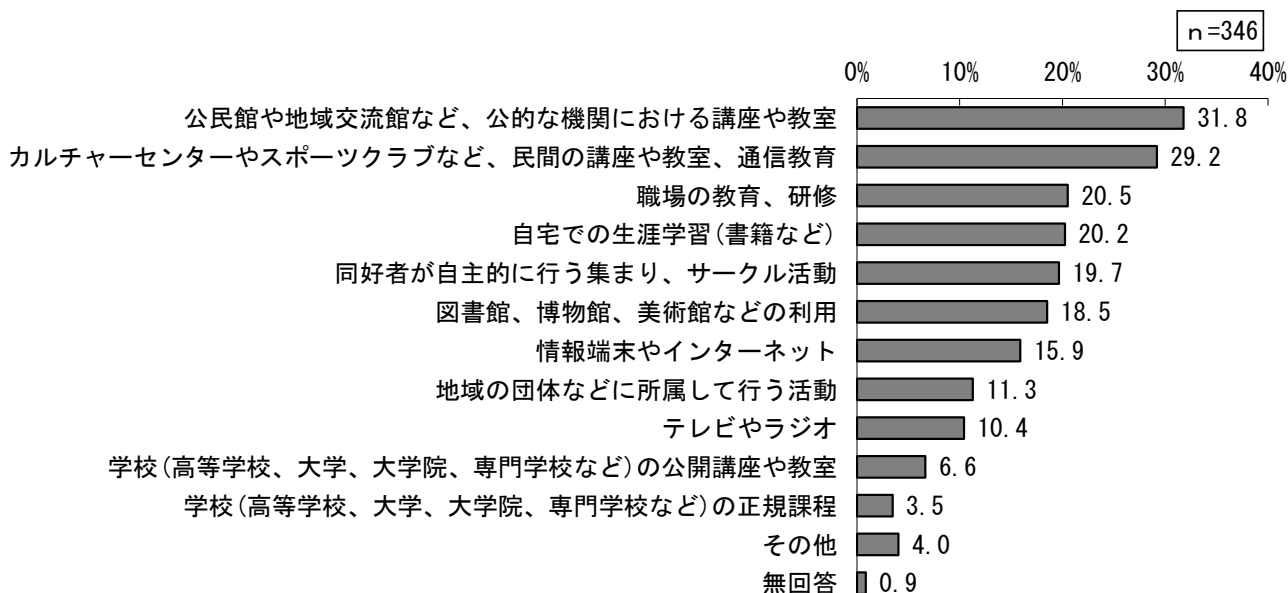
- 年齢層別にみると、20歳代～64歳は「自分の人生を豊かにする」と「その分野や活動について知識・技能を得る」を上位に挙げています。
- 65歳以上は「自分の人生を豊かにする」と「健康の維持・増進を図る」を上位に挙げています。

※注 第1位の網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	その分野や活動について知識・技能を得る	家庭・日常生活に活用する	自由な時間を有効に活用する	健康の維持・増進を図る	他の人との親睦を深めたり、友人を得る	現在の仕事や将来の就職・転職に役立てる	地域や社会をより良くする活動に役立てる	自分の人生を豊かにする
20歳代	54 100.0%	14 43.8%	13 40.6%	6 18.8%	7 21.9%	4 12.5%	14 43.8%	1 3.1%	18 56.3%
30歳代	130 100.0%	30 46.2%	28 43.1%	9 13.8%	21 32.3%	18 27.7%	18 27.7%	4 6.2%	28 43.1%
40歳代	109 100.0%	27 45.8%	21 35.6%	8 13.6%	18 30.5%	8 13.6%	24 40.7%	7 11.9%	32 54.2%
50歳代	116 100.0%	22 38.6%	8 14.0%	14 24.6%	20 35.1%	14 24.6%	14 24.6%	9 15.8%	34 59.6%
60~64歳	87 100.0%	15 34.9%	8 18.6%	19 44.2%	18 41.9%	13 30.2%	4 9.3%	3 7.0%	30 69.8%
65歳以上	163 100.0%	17 18.9%	17 18.9%	32 35.6%	45 50.0%	41 45.6%	2 2.2%	17 18.9%	55 61.1%

	合計	特に目的はない	その他
20 歳代	54 100.0%	2 6.3%	1 3.1%
30 歳代	130 100.0%	1 1.5%	0 0.0%
40 歳代	109 100.0%	1 1.7%	0 0.0%
50 歳代	116 100.0%	1 1.8%	1 1.8%
60～64 歳	87 100.0%	0 0.0%	1 2.3%
65 歳以上	163 100.0%	1 1.1%	2 2.2%

問 10-2 問 10 で「1~10」に回答された方にうかがいます。この1年の間の生涯学習は、どのような場所や形態で行いましたか。（主なもの3つまで○）

- 生涯学習をしている市民の活動の場所や形態について、「公民館や地域交流館など、公的な機関における講座や教室」31.8%が最も多く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育」29.2%、「職場の教育、研修」20.5%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると「公民館や地域交流館など、公的な機関における講座や教室」と「同好者が自主的に行う集まり、サークル活動」は60歳以上で多くなっています。
- 「カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育」は30歳代~64歳で多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	公民館や地域交流館など、公的な機関における講座や教室	カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育	学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程	職場の教育、研修	地域の団体などに所属して行う活動	同好者が自主的に行う集まり、サークル活動	図書館、博物館、美術館などの利用
20歳代	54 100.0%	7 21.9%	7 21.9%	5 15.6%	8 25.0%	9 28.1%	1 3.1%	2 6.3%	4 12.5%
30歳代	130 100.0%	19 29.2%	21 32.3%	6 9.2%	1 1.5%	12 18.5%	1 1.5%	6 9.2%	8 12.3%
40歳代	109 100.0%	16 27.1%	19 32.2%	6 10.2%	1 1.7%	20 33.9%	5 8.5%	7 11.9%	10 16.9%
50歳代	116 100.0%	11 19.3%	22 38.6%	3 5.3%	1 1.8%	17 29.8%	8 14.0%	8 14.0%	11 19.3%
60~64歳	87 100.0%	16 37.2%	14 32.6%	1 2.3%	0 0.0%	7 16.3%	4 9.3%	12 27.9%	13 30.2%
65歳以上	163 100.0%	41 45.6%	18 20.0%	2 2.2%	1 1.1%	6 6.7%	20 22.2%	33 36.7%	18 20.0%

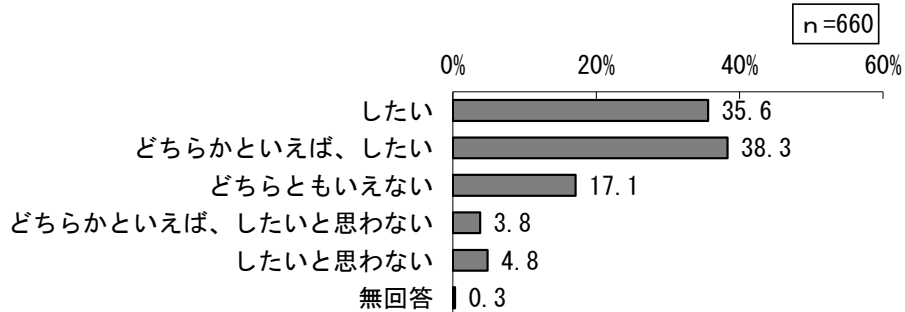
	合計	テレビやラジオ	情報端末やインターネット	自宅での生涯学習 (書籍など)	その他
20歳代	54 100.0%	3 9.4%	6 18.8%	7 21.9%	2 6.3%
30歳代	130 100.0%	5 7.7%	12 18.5%	13 20.0%	1 1.5%
40歳代	109 100.0%	8 13.6%	11 18.6%	14 23.7%	2 3.4%
50歳代	116 100.0%	4 7.0%	11 19.3%	9 15.8%	2 3.5%
60～64歳	87 100.0%	3 7.0%	6 14.0%	11 25.6%	3 7.0%
65歳以上	163 100.0%	13 14.4%	9 10.0%	16 17.8%	4 4.4%

- 回答者の性別でみると、男性では「自宅での生涯学習（書籍など）」「情報端末やインターネット」、女性では「カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育」「公民館や地域交流館など、公的な機関における講座や教室」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	公民館や地域交流館など、公的な機関における講座や教室	カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室、通信教育	学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の公開講座や教室	学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の正規課程	職場の教育、研修	地域の団体などに所属して行う活動	同好者が自主的に行う集まり、サークル活動	図書館、博物館、美術館などの利用
男性	249 100.0%	31 26.1%	22 18.5%	9 7.6%	4 3.4%	31 26.1%	17 14.3%	18 15.1%	26 21.8%
女性	394 100.0%	78 35.5%	76 34.5%	14 6.4%	7 3.2%	40 18.2%	21 9.5%	48 21.8%	37 16.8%
	合計	テレビやラジオ	情報端末やインターネット	自宅での生涯学習 (書籍など)	その他				
男性	249 100.0%	15 12.6%	32 26.9%	33 27.7%	4 3.4%				
女性	394 100.0%	20 9.1%	23 10.5%	36 16.4%	9 4.1%				

問11 今後、「生涯学習」をしたいと思いますか。（ひとつだけ○）

- 市民の生涯学習の活動意欲について、『学習意欲あり』73.9%（したい+どちらかといえば、したい）、『学習意欲なし』8.6%（したいと思わない+どちらかといえば、したいと思わない）となっています。



- 年齢層別にみると、『学習意欲あり』は20歳代～64歳で70%～80%台、65歳以上では60%台となっています。

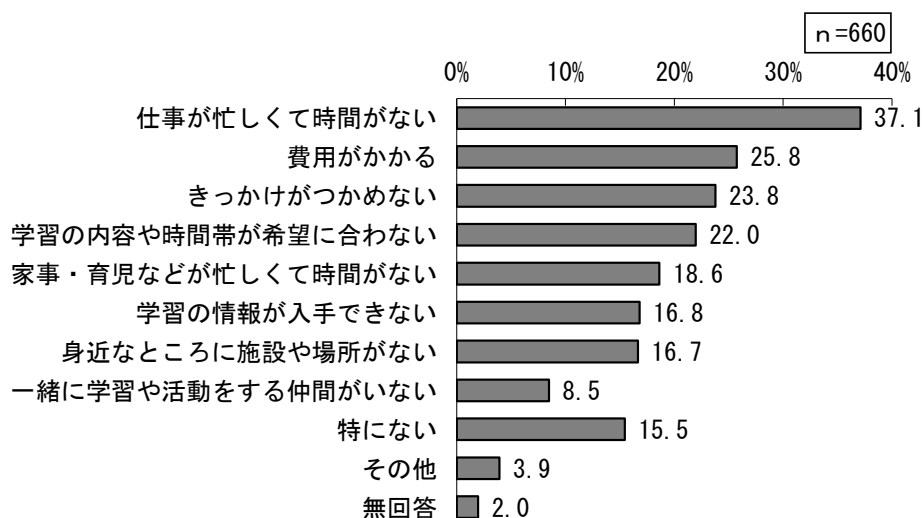
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『学習意欲あり』			『学習意欲なし』	
		したい	どちらかとい えば、し たい	どちらとも いえない	どちらかとい えば、し たいと思わ ない	したいと思 わない
20歳代	54 100.0%	27 50.0%	11 20.4%	8 14.8%	4 7.4%	4 7.4%
30歳代	130 100.0%	47 36.2%	55 42.3%	24 18.5%	2 1.5%	2 1.5%
40歳代	109 100.0%	48 44.0%	43 39.4%	14 12.8%	2 1.8%	2 1.8%
50歳代	116 100.0%	44 37.9%	44 37.9%	18 15.5%	2 1.7%	8 6.9%
60～64歳	87 100.0%	25 28.7%	38 43.7%	16 18.4%	4 4.6%	4 4.6%
65歳以上	163 100.0%	44 27.0%	61 37.4%	33 20.2%	11 6.7%	12 7.4%

- 今後の生涯学習意欲を地域貢献意欲別にみると、自身の知識・技能等を役立てたい人では「したい」が76.9%と、他を大きく上回っています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	『学習意欲あり』			『学習意欲なし』	
		したい	どちらか といえ ば、した い	どちらと もいえな い	どちらか といえ ば、した いと思わ ない	したいと 思わない
自身の知識・技能等を役立てたい	78 100.0%	60 76.9%	13 16.7%	5 6.4%	0 0.0%	0 0.0%
どちらかという役立てたい	94 100.0%	42 44.7%	46 48.9%	4 4.3%	0 0.0%	1 1.1%
どちらともいえない	295 100.0%	88 29.8%	126 42.7%	65 22.0%	9 3.1%	6 2.0%
どちらかという役立てようとは思わない	82 100.0%	19 23.2%	33 40.2%	17 20.7%	6 7.3%	7 8.5%
自身の知識・技能等を役立てようとは思わない	86 100.0%	20 23.3%	23 26.7%	18 20.9%	8 9.3%	17 19.8%

問12 あなたが生涯学習を行う際に困っていることや、生涯学習をしていない理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

○ 生涯学習活動で困っていることや、していない理由について、「仕事が忙しくて時間がない」37.1%が最も多く、次いで「費用がかかる」25.8%、「きっかけがつかめない」23.8%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は20歳代～50歳代で多くなっています。
- 30歳代は「家事・育児などが忙しくて時間がない」と「仕事が忙しくて時間がない」が多くなっています。
- 60歳以上は「きっかけがつかめない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児などが忙しくて時間がない	身近なところに施設や場所がない	学習の内容や時間帯が希望に合わない	学習の情報が入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	費用がかかる	きっかけがつかめない
20歳代	54 100.0%	23 42.6%	7 13.0%	14 25.9%	13 24.1%	8 14.8%	4 7.4%	23 42.6%	9 16.7%
30歳代	130 100.0%	59 45.4%	66 50.8%	20 15.4%	21 16.2%	14 10.8%	12 9.2%	49 37.7%	26 20.0%
40歳代	109 100.0%	56 51.4%	30 27.5%	13 11.9%	29 26.6%	23 21.1%	3 2.8%	33 30.3%	20 18.3%
50歳代	116 100.0%	57 49.1%	11 9.5%	23 19.8%	32 27.6%	20 17.2%	10 8.6%	31 26.7%	26 22.4%
60～64歳	87 100.0%	22 25.3%	1 1.1%	17 19.5%	21 24.1%	18 20.7%	5 5.7%	13 14.9%	28 32.2%
65歳以上	163 100.0%	28 17.2%	8 4.9%	23 14.1%	29 17.8%	28 17.2%	21 12.9%	21 12.9%	47 28.8%

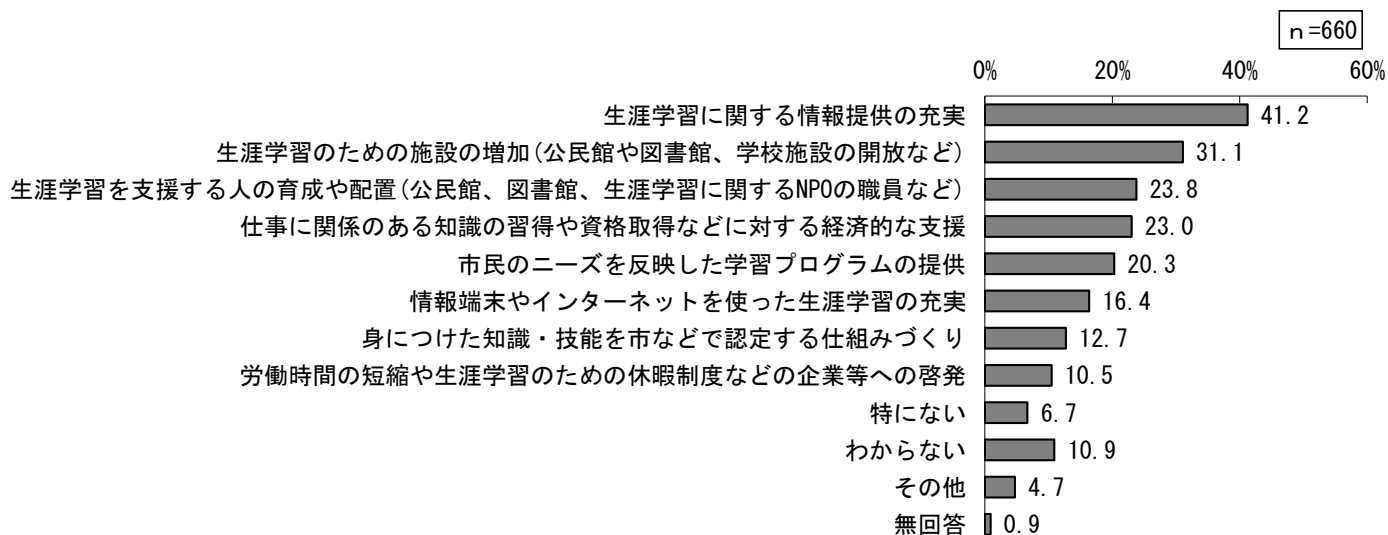
	合計	特 に ない	そ の 他
20 歳代	54 100.0%	10 18.5%	0 0.0%
30 歳代	130 100.0%	7 5.4%	2 1.5%
40 歳代	109 100.0%	13 11.9%	3 2.8%
50 歳代	116 100.0%	14 12.1%	5 4.3%
60～64 歳	87 100.0%	17 19.5%	7 8.0%
65 歳以上	163 100.0%	41 25.2%	9 5.5%

○ 今後の生涯学習意欲別にみると、生涯学習をしたい人では「仕事が忙しくて時間がな
い」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	が 仕事 が 忙 し く て 時 間 が な い	し 家 事 ・ 育 児 な ど が 忙 し く て 時 間 が な い	身 近 な と こ ろ に 施 設 や 場 所 が な い	が 学 習 の 内 容 や 時 間 帯 が 希 望 に 合 わ な い	学 習 の 情 報 が 入 手 で き な い	一 緒 に 学 習 や 活 動 を す る 仲 間 が い な い	費 用 が か か る	い き っ か け が つ か め な い
生涯学習をしたい	235 100.0%	87 37.0	49 20.9	52 22.1	64 27.2	45 19.1	13 5.5	80 34.0	29 12.3
どちらかといえば、したい	253 100.0%	89 35.2	56 22.1	42 16.6	59 23.3	50 19.8	26 10.3	63 24.9	78 30.8
どちらともいえない	113 100.0%	47 41.6	13 11.5	13 11.5	17 15.0	10 8.8	12 10.6	21 18.6	37 32.7
どちらかといえば、したいと思わない	25 100.0%	12 48.0	3 12.0	0 0.0	4 16.0	3 12.0	2 8.0	4 16.0	7 28.0
生涯学習をしたいと思わない	32 100.0%	10 31.3	2 6.3	3 9.4	1 3.1	3 9.4	3 9.4	2 6.3	6 18.8
	合計	特 に ない	そ の 他						
生涯学習をしたい	235 100.0%	34 14.5	4 1.7						
どちらかといえば、したい	253 100.0%	21 8.3	11 4.3						
どちらともいえない	113 100.0%	27 23.9	5 4.4						
どちらかといえば、したいと思わない	25 100.0%	6 24.0	0 0.0						
生涯学習をしたいと思わない	32 100.0%	13 40.6	5 15.6						

問13 あなたは、市民の生涯学習をさらに盛んにするため、市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 生涯学習の振興のために市が力を入れるべきことについて、「生涯学習に関する情報提供の充実」41.2%が最も多く、次いで「生涯学習のための施設の増加（公民館や図書館、学校施設の開放など）」31.1%、「生涯学習を支援する人の育成や配置（公民館、図書館、生涯学習に関するNPOの職員など）」23.8%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、「仕事に関係のある知識の習得や資格取得などに対する経済的な支援」は20歳代～40歳代で30～40%台であり、他の年齢層に比べて多くなっています。
- 40歳代以上では「生涯学習に関する情報提供の充実」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	の生涯 学習を 支援する 人	の生涯 学習の ための 施設	の情報 提供 の充実	の情報 提供 の充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実	市民 の生涯 学習の 充実
20歳代	54 100.0%	6 11.1%	11 20.4%	12 22.2%	14 25.9%	7 13.0%	10 18.5%	16 29.6%	23 42.6%				
30歳代	130 100.0%	26 20.0%	47 36.2%	31 23.8%	44 33.8%	21 16.2%	14 10.8%	24 18.5%	46 35.4%				
40歳代	109 100.0%	18 16.5%	33 30.3%	23 21.1%	45 41.3%	27 24.8%	15 13.8%	15 13.8%	39 35.8%				
50歳代	116 100.0%	36 31.0%	37 31.9%	20 17.2%	56 48.3%	32 27.6%	16 13.8%	11 9.5%	26 22.4%				
60～64歳	87 100.0%	26 29.9%	28 32.2%	9 10.3%	44 50.6%	17 19.5%	11 12.6%	3 3.4%	6 6.9%				
65歳以上	163 100.0%	45 27.6%	49 30.1%	12 7.4%	68 41.7%	30 18.4%	18 11.0%	0 0.0%	12 7.4%				

	合計	特 に ない	わ か ら ない	そ の 他
20 歳代	54 100.0%	0 0.0%	10 18.5%	2 3.7%
30 歳代	130 100.0%	4 3.1%	11 8.5%	6 4.6%
40 歳代	109 100.0%	0 0.0%	5 4.6%	9 8.3%
50 歳代	116 100.0%	9 7.8%	9 7.8%	3 2.6%
60～64 歳	87 100.0%	5 5.7%	9 10.3%	5 5.7%
65 歳以上	163 100.0%	26 16.0%	28 17.2%	6 3.7%

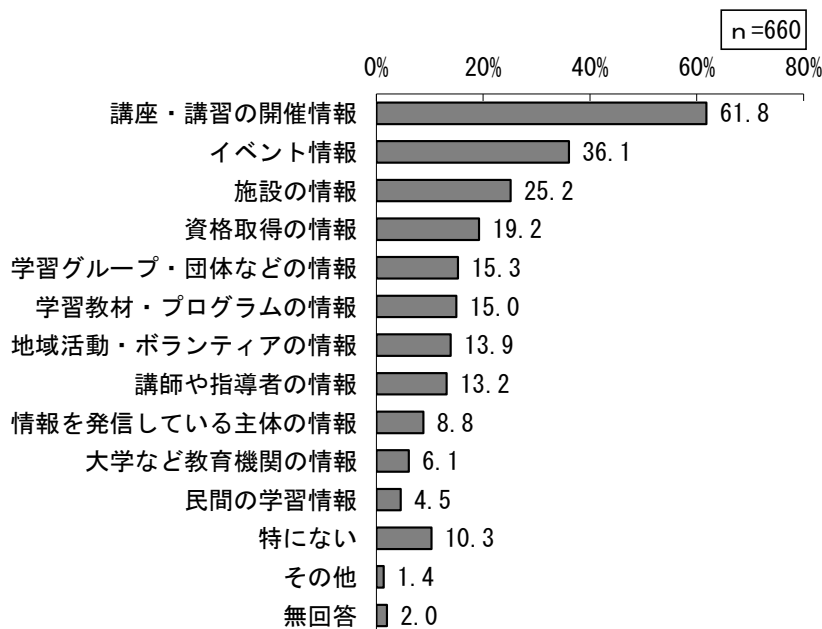
- 地区別にみると、印旛中学校区、滝野中学校区では「生涯学習のための施設の増加（公民館や図書館、学校施設の開放など）」が40%台であり、他の地区に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	の生 育 成 学 習 を 支 援 す る 人	の生 増 加 学 習 の た め の 施 設	のツ情 充ト報 実を端 末つた や生ン 涯タ学 習ネ	提生 供の学 充習に 実関 する 情 報	供た市 学民の 習プニ のグ ラを反 ムの映 提し	み市身 ぶなにつ くどけた りで認知 定識・技 する能 仕組を	な学労 どの働 の時間 企業た 等め へのの 啓短 発縮 や生 涯	にの仕 対習事 する得 るに 経資 済格 的取 な得 な知 支援識
印西中学校区	71 100.0%	10 14.1%	17 23.9%	6 8.5%	34 47.9%	12 16.9%	9 12.7%	5 7.0%	14 19.7%
船穂中学校区	63 100.0%	13 20.6%	14 22.2%	15 23.8%	27 42.9%	11 17.5%	8 12.7%	6 9.5%	14 22.2%
木刈中学校区	128 100.0%	35 27.3%	48 37.5%	20 15.6%	56 43.8%	27 21.1%	13 10.2%	17 13.3%	24 18.8%
小林中学校区	51 100.0%	14 27.5%	15 29.4%	5 9.8%	19 37.3%	17 33.3%	7 13.7%	6 11.8%	10 19.6%
原山中学校区	85 100.0%	23 27.1%	28 32.9%	14 16.5%	35 41.2%	19 22.4%	13 15.3%	10 11.8%	28 32.9%
西の原中学校区	96 100.0%	22 22.9%	24 25.0%	15 15.6%	43 44.8%	20 20.8%	14 14.6%	14 14.6%	24 25.0%
印旛中学校区	76 100.0%	22 28.9%	31 40.8%	16 21.1%	20 26.3%	14 18.4%	7 9.2%	8 10.5%	17 22.4%
本柵中学校区	26 100.0%	8 30.8%	4 15.4%	4 15.4%	10 38.5%	1 3.8%	5 19.2%	0 0.0%	9 34.6%
滝野中学校区	49 100.0%	8 16.3%	21 42.9%	8 16.3%	24 49.0%	12 24.5%	7 14.3%	2 4.1%	10 20.4%

	合計	特 に ない	わ か ら ない	そ の 他
印西中学校区	71 100.0%	8 11.3%	13 18.3%	4 5.6%
船穂中学校区	63 100.0%	8 12.7%	9 14.3%	4 6.3%
木刈中学校区	128 100.0%	7 5.5%	18 14.1%	6 4.7%
小林中学校区	51 100.0%	5 9.8%	4 7.8%	4 7.8%
原山中学校区	85 100.0%	6 7.1%	4 4.7%	3 3.5%
西の原中学校区	96 100.0%	2 2.1%	4 4.2%	6 6.3%
印旛中学校区	76 100.0%	6 7.9%	10 13.2%	0 0.0%
本柰中学校区	26 100.0%	1 3.8%	4 15.4%	0 0.0%
滝野中学校区	49 100.0%	1 2.0%	3 6.1%	3 6.1%

問14 あなたが生涯学習を行う場合、印西市からどのような情報提供を望みますか。
(主なもの3つまで○)

- 市民が希望する市からの生涯学習情報の提供内容について、「講座・講習の開催情報」61.8%が最も多く、次いで「イベント情報」36.1%、「施設の情報」25.2%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「講座・講習の開催情報」が最も多くなっています。
- その中で、「資格取得の情報」は20歳代～30歳代で30%～40%台、「イベント情報」は30歳代～40歳代で40%～50%台であり、他の年齢層に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	講座・講習の開催情報	イベント情報	施設の情報	学習教材・プログラムの情報	講師や指導者の情報	地域活動・ボランティアの情報	大学など教育機関の情報	学習グループ・団体などの情報
20歳代	54 100.0%	28 51.9%	19 35.2%	11 20.4%	8 14.8%	2 3.7%	6 11.1%	5 9.3%	7 13.0%
30歳代	130 100.0%	80 61.5%	65 50.0%	33 25.4%	21 16.2%	12 9.2%	11 8.5%	5 3.8%	13 10.0%
40歳代	109 100.0%	74 67.9%	50 45.9%	31 28.4%	19 17.4%	18 16.5%	15 13.8%	7 6.4%	12 11.0%
50歳代	116 100.0%	82 70.7%	45 38.8%	25 21.6%	22 19.0%	17 14.7%	14 12.1%	8 6.9%	23 19.8%
60～64歳	87 100.0%	59 67.8%	25 28.7%	20 23.0%	12 13.8%	9 10.3%	15 17.2%	6 6.9%	15 17.2%
65歳以上	163 100.0%	84 51.5%	34 20.9%	46 28.2%	16 9.8%	29 17.8%	31 19.0%	9 5.5%	31 19.0%

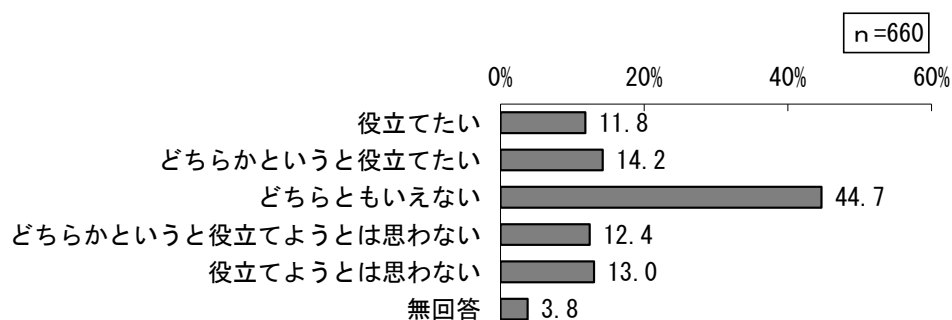
	合計	体し情 のて報 情いを 報を 発主 信	情資 報格 取 得の	情民 間の 学 習	特 に な い	そ の 他
20歳代	54 100.0%	4 7.4%	22 40.7%	4 7.4%	9 16.7%	0 0.0%
30歳代	130 100.0%	13 10.0%	43 33.1%	8 6.2%	6 4.6%	2 1.5%
40歳代	109 100.0%	10 9.2%	27 24.8%	4 3.7%	4 3.7%	1 0.9%
50歳代	116 100.0%	9 7.8%	24 20.7%	4 3.4%	7 6.0%	1 0.9%
60～64歳	87 100.0%	5 5.7%	6 6.9%	3 3.4%	11 12.6%	2 2.3%
65歳以上	163 100.0%	16 9.8%	5 3.1%	7 4.3%	31 19.0%	3 1.8%

- 世帯状況別にみると、すべての世帯状況で「講座・講習の開催情報」が最も多くなっています。
- その中で、「イベント情報」は子どもと同居世帯（就学前、小学生、中学生以上）で40～50%台であり、他の世帯状況に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	催講 情報・ 講習の 開	イ ベン ト 情 報	施 設 の 情 報	グ ラ ム の 情 報 学 習 教 材 ・ プ ロ	情 報 講 師 や 指 導 者 の	ン テ ィ ア の 情 報 地 域 活 動 ・ ボ ラ	関 の 情 報 大 学 な ど 教 育 機	団 体 な ど の 情 報 学 習 グ ル ー プ ・
就学前の子どもと同居	105 100.0%	72 68.6%	56 53.3%	28 26.7%	18 17.1%	11 10.5%	8 7.6%	5 4.8%	11 10.5%
小学生の子どもと同居	113 100.0%	69 61.1%	51 45.1%	27 23.9%	22 19.5%	15 13.3%	8 7.1%	3 2.7%	17 15.0%
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	85 64.4%	56 42.4%	30 22.7%	24 18.2%	27 20.5%	18 13.6%	6 4.5%	25 18.9%
親族などの介護をしている	44 100.0%	27 61.4%	12 27.3%	13 29.5%	7 15.9%	7 15.9%	7 15.9%	4 9.1%	5 11.4%
いずれもあてはまらない	343 100.0%	201 58.6%	97 28.3%	88 25.7%	45 13.1%	44 12.8%	55 16.0%	25 7.3%	57 16.6%
	合計	体し情 のて報 情いを 報を 発主 信	情資 報格 取 得の	情民 間の 学 習	特 に な い	そ の 他			
就学前の子どもと同居	105 100.0%	6 5.7%	31 29.5%	7 6.7%	6 5.7%	0 0.0%			
小学生の子どもと同居	113 100.0%	13 11.5%	33 29.2%	4 3.5%	6 5.3%	1 0.9%			
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	12 9.1%	17 12.9%	6 4.5%	9 6.8%	2 1.5%			
親族などの介護をしている	44 100.0%	3 6.8%	8 18.2%	2 4.5%	5 11.4%	0 0.0%			
いずれもあてはまらない	343 100.0%	34 9.9%	60 17.5%	16 4.7%	43 12.5%	7 2.0%			

問15 今後、地域における活動への参加や指導などで、あなたの知識・技能・経験を役立てたいと思いますか。（ひとつだけ○）

- 地域活動に市民自身の知識・技能・経験を役立てたいかについて、「どちらともいえない」44.7%が最も多く、『貢献意欲あり』26.0%（役立てたい+どちらかというと役立てたい）、『貢献意欲なし』25.4%（役立てようとは思わない+どちらかというと役立てようとは思わない）となっています。



役立てたい分野や活動 (自由意見) (多い項目を要約掲載)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護、福祉分野 ・ 子育て支援 ・ 幼児教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康支援、指導 ・ 文化芸術分野の指導 ・ 仕事上の技能 など
-------------------------------------	--	---

▶▶クロス集計でみる特徴

- 回答者属性で見ると、『貢献意欲あり』が『貢献意欲なし』を大きく上回る属性（10ポイント以上）は、子どもと同居している世帯（就学前、小学生、中学生以上）、40歳代、滝野中学校区となっています。

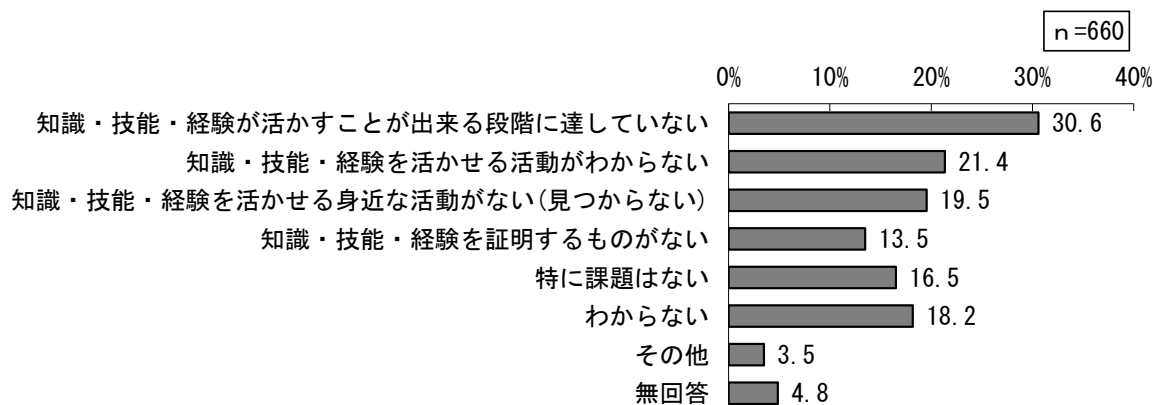
項目	A 貢献意欲あり	B 貢献意欲なし	A-B
就学前の子どもと同居している	38.1%	17.1%	21.0pt
小学生の子どもと同居している	34.5%	12.4%	22.1pt
中学生以上の子どもと同居している	32.6%	22.0%	10.6pt
40歳代	37.6%	17.4%	20.2pt
滝野中学校区	34.6%	24.4%	10.2pt

- 今後の生涯学習意欲別にみると、生涯学習をしたい人では『貢献意欲あり』43.4%、生涯学習をどちらかといえばしたい人の『貢献意欲あり』23.3%となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	『貢献意欲あり』		ない どちらともいえ	『貢献意欲なし』	
		役立 てたい	ど ち ら か と い え と 役 立 て た い		ど ち ら か と い え と 役 立 て よ う と	思 わ な い 役 立 て よ う と は
生涯学習をしたい	235 100.0%	60 25.5%	42 17.9%	88 37.4%	19 8.1%	20 8.5%
どちらかといえば、 したい	253 100.0%	13 5.1%	46 18.2%	126 49.8%	33 13.0%	23 9.1%
どちらともいえな い	113 100.0%	5 4.4%	4 3.5%	65 57.5%	17 15.0%	18 15.9%
どちらかといえば、 したいと思わない	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 36.0%	6 24.0%	8 32.0%
生涯学習をしたい と思わない	32 100.0%	0 0.0%	1 3.1%	6 18.8%	7 21.9%	17 53.1%

問16 地域の活動にあなたの知識・技能・経験を活かす際の課題はありますか。（主なもの3つまで○）

- 地域活動に市民自身の知識・技能・経験を活かす際の課題について、「知識・技能・経験を活かすことが出来る段階に達していない」30.6%が最も多く、次いで「知識・技能・経験を活かせる活動がわからない」21.4%、「知識・技能・経験を活かせる身近な活動がない（見つからない）」19.5%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、20歳代～30歳代及び50歳代～64歳では「知識・技能・経験を活かすことが出来る段階に達していない」が最も多くなっています。
- 40歳代では「知識・技能・経験を活かせる活動がわからない」が最も多くなっています。
- 65歳以上では「特に課題はない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	知識・技能・経験を活かすことが出来る段階に達していない	知識・技能・経験を証明するものがない	知識・技能・経験を活かせる身近な活動がない(見つからない)	知識・技能・経験を証明するものがない	特に課題はない	わからない	その他
20歳代	54 100.0%	23 42.6%	11 20.4%	11 20.4%	12 22.2%	3 5.6%	12 22.2%	3 5.6%
30歳代	130 100.0%	50 38.5%	20 15.4%	20 15.4%	31 23.8%	7 5.4%	29 22.3%	3 2.3%
40歳代	109 100.0%	30 27.5%	17 15.6%	34 31.2%	27 24.8%	12 11.0%	15 13.8%	5 4.6%
50歳代	116 100.0%	38 32.8%	12 10.3%	26 22.4%	29 25.0%	17 14.7%	23 19.8%	0 0.0%
60～64歳	87 100.0%	22 25.3%	10 11.5%	12 13.8%	19 21.8%	18 20.7%	11 12.6%	5 5.7%
65歳以上	163 100.0%	39 23.9%	19 11.7%	26 16.0%	23 14.1%	52 31.9%	29 17.8%	7 4.3%

- 生涯学習意欲別にみると、意欲がある人（生涯学習をしたい、どちらかといえほしい）では「知識・技能・経験が活かすことが出来る段階に達していない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数（n） 下段=構成比	合計	知識・技能・経験が活かすことが出来る段階に達していない	知識・技能・経験を証明するものがない	知識・技能・経験を活かせる身近な活動がない（見つからない）	知識・技能・経験を活かせる活動がわからない	特に課題はない	わからない	その他
生涯学習をしたい	235 100.0%	82 34.9%	39 16.6%	60 25.5%	57 24.3%	34 14.5%	16 6.8%	14 6.0%
どちらかといえ ば、したい	253 100.0%	85 33.6%	34 13.4%	54 21.3%	61 24.1%	31 12.3%	35 13.8%	5 2.0%
どちらともいえない	113 100.0%	26 23.0%	13 11.5%	5 4.4%	16 14.2%	31 27.4%	43 38.1%	1 0.9%
どちらかといえ ば、したいと思わ ない	25 100.0%	5 20.0%	2 8.0%	5 20.0%	3 12.0%	5 20.0%	12 48.0%	2 8.0%
生涯学習をしたい と思わない	32 100.0%	4 12.5%	1 3.1%	5 15.6%	4 12.5%	8 25.0%	13 40.6%	1 3.1%

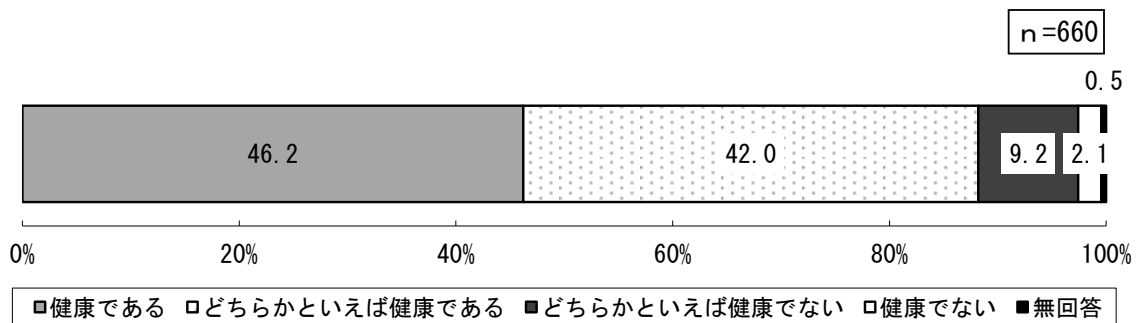
- 地域貢献意欲別にみると、自身の知識・技能等を役立てたい人では「知識・技能・経験を活かせる身近な活動がない（見つからない）」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数（n） 下段=構成比	合計	知識・技能・経験が活かすことが出来る段階に達していない	知識・技能・経験を証明するものがない	知識・技能・経験を活かせる身近な活動がない（見つからない）	知識・技能・経験を活かせる活動がわからない	特に課題はない	わからない	その他
自身の知識・技能 等を役立てたい	78 100.0%	14 17.9%	19 24.4%	37 47.4%	26 33.3%	8 10.3%	4 5.1%	4 5.1%
どちらかという と役立てたい	94 100.0%	29 30.9%	17 18.1%	26 27.7%	28 29.8%	10 10.6%	5 5.3%	4 4.3%
どちらともいえない	295 100.0%	92 31.2%	43 14.6%	47 15.9%	65 22.0%	47 15.9%	70 23.7%	8 2.7%
どちらかという と役立てようと思 わない	82 100.0%	40 48.8%	7 8.5%	11 13.4%	13 15.9%	16 19.5%	15 18.3%	1 1.2%
自身の知識・技能 等を役立てよう と思わない	86 100.0%	25 29.1%	3 3.5%	8 9.3%	9 10.5%	23 26.7%	24 27.9%	4 4.7%

Ⅲ-4. 体力・スポーツについて

問17 あなたは現在、健康ですか。（ひとつだけ○）

- 市民の健康状態について、『健康である』88.2%（健康である+どちらかといえば健康である）、『健康ではない』11.3%（健康でない+どちらかといえば健康でない）となっています。



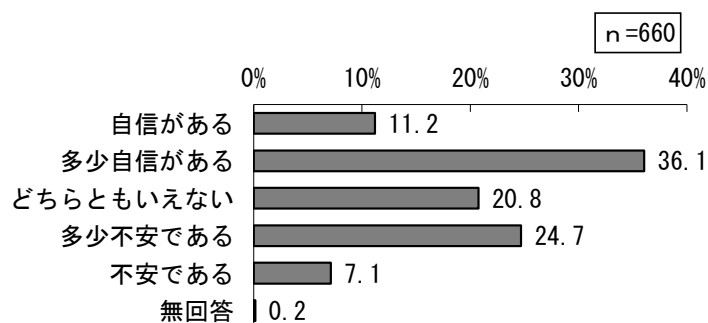
▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別では、すべての年齢層で『健康である』が80%以上となっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『健康である』		『健康ではない』	
		健康である	どちらかとい えば健康であ る	どちらかとい えば健康でな い	健康でない
20歳代	54 100.0%	32 59.3%	17 31.5%	5 9.3%	0 0.0%
30歳代	130 100.0%	73 56.2%	50 38.5%	6 4.6%	1 0.8%
40歳代	109 100.0%	49 45.0%	47 43.1%	10 9.2%	3 2.8%
50歳代	116 100.0%	56 48.3%	48 41.4%	10 8.6%	2 1.7%
60~64歳	87 100.0%	38 43.7%	32 36.8%	13 14.9%	2 2.3%
65歳以上	163 100.0%	56 34.4%	83 50.9%	17 10.4%	6 3.7%

問18 あなたは、体力に自信がありますか。（ひとつだけ○）

- 市民の体力への自信について、『体力に自信』47.3%（自信ある+多少自信がある）、『体力に不安』31.8%（不安である+多少不安である）となっています。



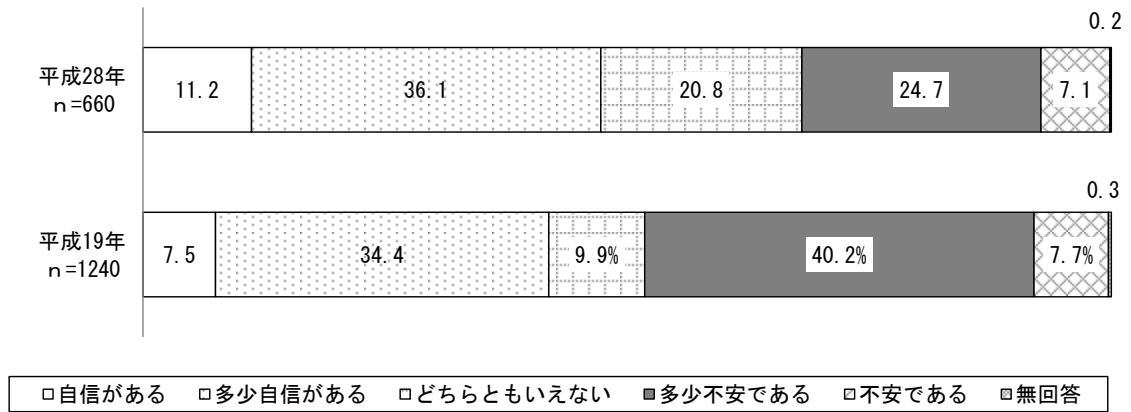
▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別では、すべての年齢層で『体力に自信』が40~50%台であり、『体力に不安』を上回っています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『体力に自信』			『体力に不安』	
		自信がある	多少自信がある	どちらともいえない	多少不安である	不安である
20歳代	54 100.0%	12 22.2%	14 25.9%	14 25.9%	8 14.8%	6 11.1%
30歳代	130 100.0%	9 6.9%	45 34.6%	32 24.6%	37 28.5%	7 5.4%
40歳代	109 100.0%	12 11.0%	42 38.5%	23 21.1%	25 22.9%	7 6.4%
50歳代	116 100.0%	11 9.5%	40 34.5%	27 23.3%	28 24.1%	10 8.6%
60~64歳	87 100.0%	15 17.2%	27 31.0%	11 12.6%	24 27.6%	9 10.3%
65歳以上	163 100.0%	15 9.2%	70 42.9%	29 17.8%	41 25.2%	8 4.9%

▶▶前回調査（平成19年）との比較

- 全体結果を平成19年と平成28年で比較してみると、『体力に自信』は平成19年の41.9%から5ポイント増加し、『体力に不安』は同47.9%から16ポイント減少しています。



問19 あなたは健康・体力についてどのように感じていますか。（それぞれひとつずつ○）

- 市民の健康・体力に関する状態について、『ある』（感じる＋どちらかといえば感じる）の多い順でみると、「体力の衰え」75.0%、「運動不足」72.9%、「肉体的な疲労」65.0%、「精神的な疲労・ストレス」56.0%となっています。
- 「肥満（太りすぎ）」については、『ある』が39.2%、『ない』（感じない＋どちらかといえば感じない）が40.2%であり、同程度となっています。

	(n=660)	『ある』			『ない』		無回答
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない	
※第1位のみ網掛							
1	肉体的な疲労	24.1%	40.9%	15.9%	12.7%	5.6%	0.8%
2	精神的な疲労・ストレス	22.7%	33.3%	19.4%	16.7%	7.7%	0.2%
3	体力の衰え	32.0%	43.0%	15.0%	6.1%	3.2%	0.8%
4	運動不足	38.8%	34.1%	10.5%	9.8%	6.1%	0.8%
5	肥満（太りすぎ）	16.8%	22.4%	20.3%	12.6%	27.6%	0.3%

▶クロス集計でみる特徴

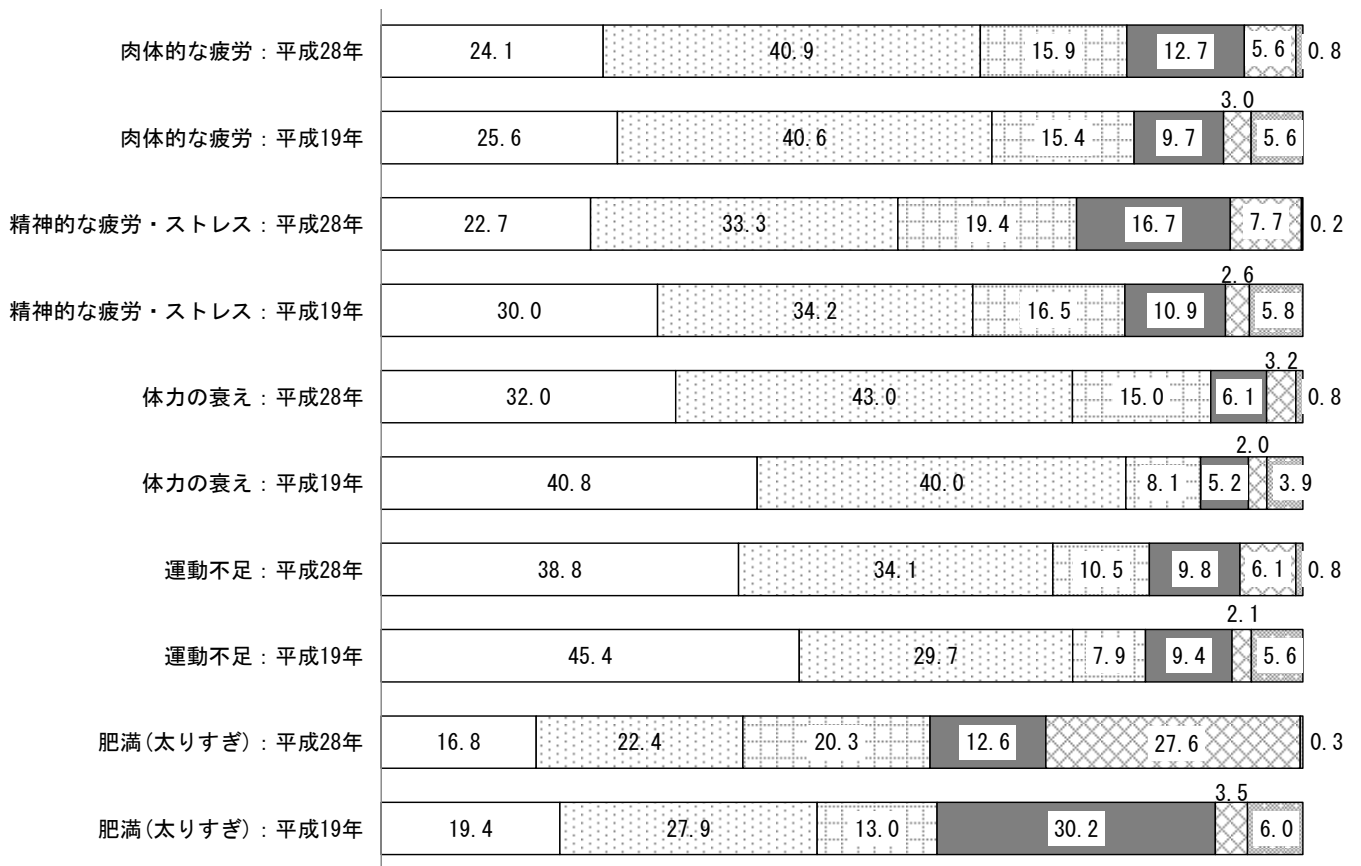
- 年齢層別にみると、「体力の衰え」、「運動不足」、「肉体的な疲労」について、すべての年齢層で『ある』が『ない』を上回っています。
- 「精神的な疲労・ストレス」について、20歳代～64歳では『ある』が『ない』を上回っていますが、65歳以上では『ある』と『ない』が同程度となっています。
- 「肥満（太りすぎ）」について、20歳代～64歳では『ある』と『ない』が同程度となっていますが、65歳以上では『ない』が『ある』を上回っています。

■肥満（太りすぎ）		『ある』			『ない』	
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない
20歳代	54 100.0%	8 14.8%	14 25.9%	14 25.9%	5 9.3%	13 24.1%
30歳代	130 100.0%	15 11.5%	35 26.9%	27 20.8%	16 12.3%	37 28.5%
40歳代	109 100.0%	25 22.9%	24 22.0%	21 19.3%	13 11.9%	26 23.9%
50歳代	116 100.0%	25 21.6%	26 22.4%	23 19.8%	13 11.2%	29 25.0%
60～64歳	87 100.0%	10 11.5%	21 24.1%	25 28.7%	9 10.3%	21 24.1%
65歳以上	163 100.0%	28 17.2%	28 17.2%	24 14.7%	26 16.0%	56 34.4%

▶▶前回調査（平成19年）との比較

- 全体結果を平成19年と平成28年で比較すると、「肉体的な疲労」「体力の衰え」「運動不足」「精神的な疲労・ストレス」に関しては、両調査ともに『ある』が50%を超えています。
- 『ある』の比率をみると、「肉体的な疲労」と「運動不足」では平成19年から大きな変化はみられませんが、「精神的な疲労・ストレス」は平成19年の64.2%から8ポイント減少、「体力の衰え」は同80.8%から6ポイント減少しています。
- 「肥満（太りすぎ）」に関しては、『ある』が平成19年の47.3%から8ポイント減少し、『ない』が同33.7%から7ポイント増加しています。

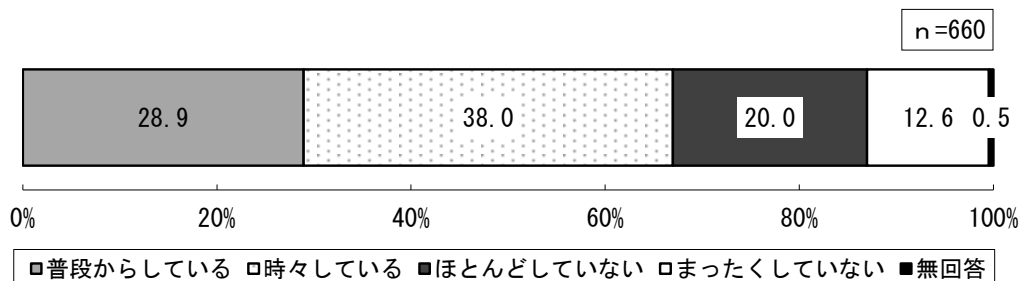
平成28年：n=660 平成19年：n=1240



□感じる □どちらかといえば感じる □どちらともいえない ■どちらかといえば感じない □感じない □無回答

問20 あなたは、この1年間、運動やスポーツをしましたか。（散歩、ジョギング、ラジ体操など比較的軽い運動を含む）（ひとつだけ○）

- この1年間の市民の運動やスポーツ活動の状況について、『運動している』66.9%（普段からしている+時々している）、『運動していない』32.6%（まったくしていない+ほとんどしていない）となっています。



▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別の『運動している』をみると、20歳代～30歳代は50%台、40歳代～50歳代は60%台、60歳以上は70%台であり、年齢の上昇に従い、『運動している』の比率も増加しています。
- 特に、60歳以上の「普段からしている」が40%台であり、50歳代以下の10～20%台を大きく上回っています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『運動している』		『運動していない』	
		普段からして いる	時々している	ほとんどして いない	まったくして いない
20歳代	54 100.0%	11 20.4%	21 38.9%	15 27.8%	7 13.0%
30歳代	130 100.0%	15 11.5%	60 46.2%	35 26.9%	20 15.4%
40歳代	109 100.0%	26 23.9%	43 39.4%	26 23.9%	14 12.8%
50歳代	116 100.0%	29 25.0%	46 39.7%	25 21.6%	16 13.8%
60～64歳	87 100.0%	38 43.7%	26 29.9%	10 11.5%	12 13.8%
65歳以上	163 100.0%	71 43.6%	55 33.7%	21 12.9%	14 8.6%

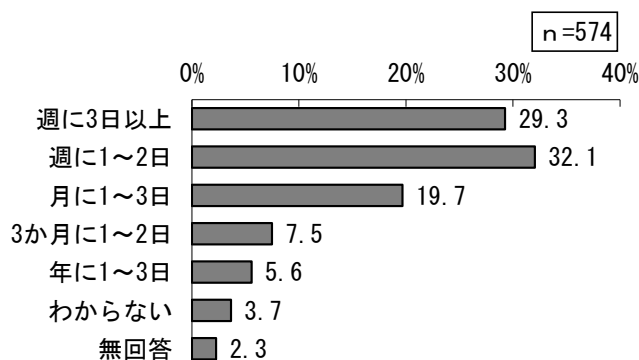
問 20-1 問 20 で「1~3」に回答された方にうかがいます。 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツを記入してください。（学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除く）（自由意見）

（多い意見を要約掲載）

- 散歩、ウォーキング
- ジョギング
- ゴルフ
- ラジオ体操
- 水泳、スイミング、プール
- ストレッチ
- ヨガ
- サイクリング
- 筋トレ
- テニス
- ランニング
- 体操
- スポーツジム
- 登山
- バレーボール
- エアロビクス
- 野球
- 卓球
- 自転車
- バドミントン
- ボウリング
- パークゴルフ など

問 20-2 問 20 で「1~3」に回答された方にうかがいます。 その運動やスポーツを、どのくらいの頻度で行っていますか。（ひとつだけ○）

- この1年間の市民の運動やスポーツ活動の頻度について、「週に1~2日」32.1%が最も多く、次いで「週に3日以上」29.3%、「月に1~3日」19.7%と続いています。



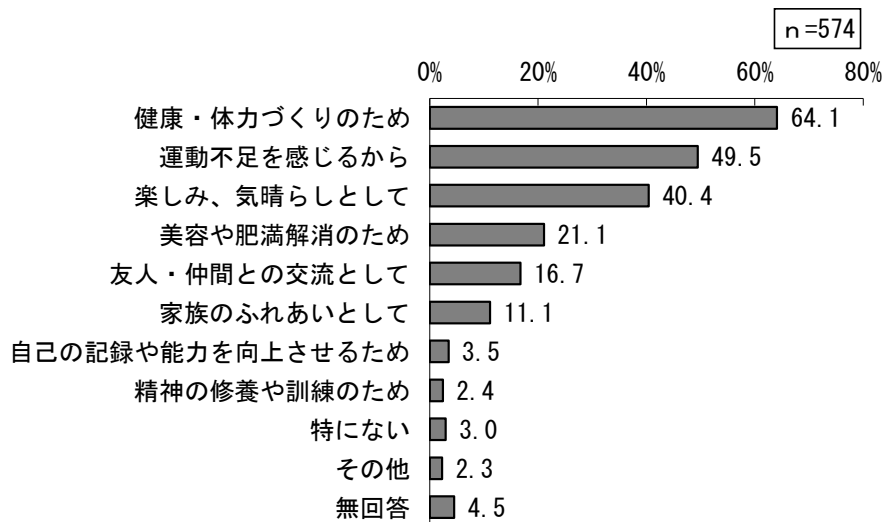
▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別の『週1日以上』（週に3日以上+週に1~2日）をみると、20歳代~30歳代は40%台、40歳代~50歳代は50%台、60歳以上は70%台であり、年齢の上昇に従い、『週1日以上』の比率が増加しています。
- 特に、60歳以上の「週に3日以上」が40%台であり、50歳代以下の10~20%台を大きく上回っています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	『週1日以上』					
		週に3日以上	週に1~2日	月に1~3日	3か月に1~2日	年に1~3日	わからない
20歳代	47 100.0%	10 21.3%	11 23.4%	12 25.5%	7 14.9%	4 8.5%	3 6.4%
30歳代	110 100.0%	15 13.6%	36 32.7%	31 28.2%	17 15.5%	7 6.4%	3 2.7%
40歳代	95 100.0%	21 22.1%	31 32.6%	20 21.1%	5 5.3%	11 11.6%	5 5.3%
50歳代	100 100.0%	28 28.0%	30 30.0%	26 26.0%	6 6.0%	5 5.0%	2 2.0%
60~64歳	74 100.0%	32 43.2%	23 31.1%	8 10.8%	3 4.1%	2 2.7%	2 2.7%
65歳以上	147 100.0%	61 41.5%	53 36.1%	16 10.9%	5 3.4%	3 2.0%	6 4.1%

問 20-3 問 20 で「1~3」に回答された方にうかがいます。あなたが運動やスポーツをする主な理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

- 市民が運動やスポーツをする理由について、「健康・体力づくりのため」64.1%が最も多く、次いで「運動不足を感じるから」49.5%、「楽しみ、気晴らしとして」40.4%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「健康・体力づくりのため」「運動不足を感じるから」「楽しみ、気晴らしとして」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	健康・ 体力づく りの ため	楽し み、 気晴 らし と して	運 動 不 足 を 感 じ る か ら	精 神 の 修 養 や 訓 練 の た め	自 己 の 記 録 や 能 力 を 向 上 さ せ る た め	家 族 の ふ れ あ い と し て	友 人 ・ 仲 間 と の 交 流 と し て	美 容 や 肥 満 解 消 の た め
20 歳代	47 100.0%	18 38.3%	25 53.2%	20 42.6%	0 0.0%	3 6.4%	4 8.5%	9 19.1%	16 34.0%
30 歳代	110 100.0%	64 58.2%	50 45.5%	50 45.5%	2 1.8%	3 2.7%	29 26.4%	13 11.8%	30 27.3%
40 歳代	95 100.0%	55 57.9%	34 35.8%	49 51.6%	3 3.2%	2 2.1%	15 15.8%	10 10.5%	26 27.4%
50 歳代	100 100.0%	70 70.0%	37 37.0%	57 57.0%	2 2.0%	3 3.0%	7 7.0%	15 15.0%	22 22.0%
60~64 歳	74 100.0%	50 67.6%	32 43.2%	34 45.9%	2 2.7%	4 5.4%	5 6.8%	13 17.6%	9 12.2%
65 歳以上	147 100.0%	110 74.8%	53 36.1%	73 49.7%	5 3.4%	5 3.4%	4 2.7%	36 24.5%	18 12.2%

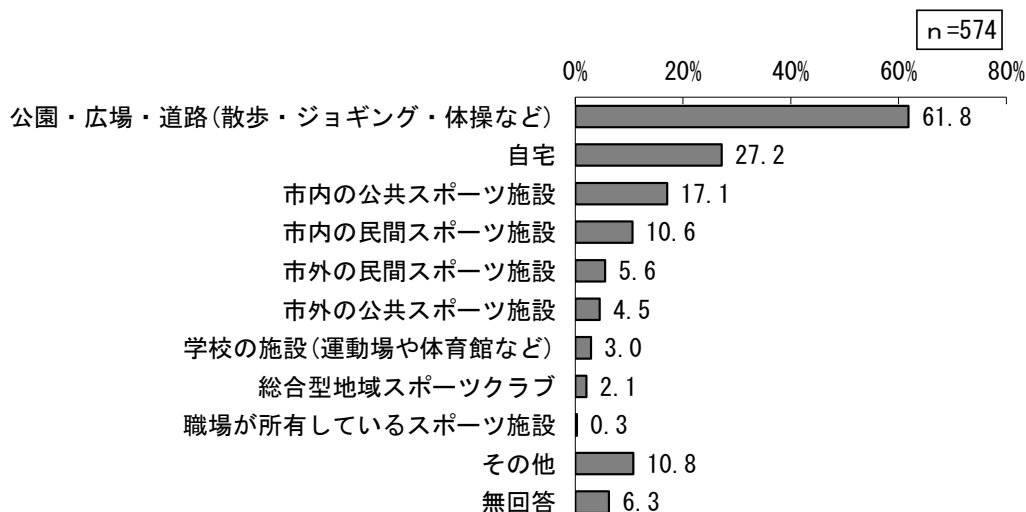
	合計	特 に ない	そ の 他
20 歳代	47 100.0%	3 6.4%	1 2.1%
30 歳代	110 100.0%	0 0.0%	2 1.8%
40 歳代	95 100.0%	4 4.2%	3 3.2%
50 歳代	100 100.0%	0 0.0%	1 1.0%
60～64 歳	74 100.0%	4 5.4%	4 5.4%
65 歳以上	147 100.0%	6 4.1%	2 1.4%

- 世帯状況別にみると、すべての世帯状況で「健康・体力づくりのため」「運動不足を感じるから」「楽しみ、気晴らしとして」を上位に挙げています。
- その中で、就学前の子どもと同居、小学生の子どもと同居の世帯では「家族のふれあいとして」が20%～30%台であり、他の世帯状況に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	た め 健 康 ・ 体 力 づ く り の	し て 楽 し み 、 気 晴 ら し と	か ら 運 動 不 足 を 感 じ る	の 精 神 の 修 養 や 訓 練 の た め	を 自 己 の 記 録 や 能 力 を 向 上 さ せ る た め	し て 家 族 の ふ れ あ い と	と し て 友 人 ・ 仲 間 と の 交 流	た め 美 容 や 肥 満 解 消 の
就学前の子どもと同居	88 100.0%	41 46.6%	39 44.3%	34 38.6%	1 1.1%	4 4.5%	29 33.0%	9 10.2%	16 18.2%
小学生の子どもと同居	100 100.0%	55 55.0%	31 31.0%	49 49.0%	2 2.0%	3 3.0%	26 26.0%	15 15.0%	23 23.0%
中学生以上の子どもと同居	113 100.0%	81 71.7%	42 37.2%	68 60.2%	3 2.7%	4 3.5%	4 3.5%	22 19.5%	23 20.4%
親族などの介護をしている	39 100.0%	28 71.8%	10 25.6%	22 56.4%	2 5.1%	0 0.0%	1 2.6%	5 12.8%	12 30.8%
いずれもあてはまらない	302 100.0%	201 66.6%	130 43.0%	141 46.7%	8 2.6%	11 3.6%	17 5.6%	53 17.5%	62 20.5%
	合計	特 に ない	そ の 他						
就学前の子どもと同居	88 100.0%	2 2.3%	1 1.1%						
小学生の子どもと同居	100 100.0%	6 6.0%	1 1.0%						
中学生以上の子どもと同居	113 100.0%	1 0.9%	1 0.9%						
親族などの介護をしている	39 100.0%	0 0.0%	0 0.0%						
いずれもあてはまらない	302 100.0%	11 3.6%	11 3.6%						

問 20-4 問 20 で「1~3」に回答された方にうかがいます。あなたが運動やスポーツをする場所はどこですか。（主なもの3つまで○）

- 市民が運動やスポーツをする場所について、「公園・広場・道路（散歩・ジョギング・体操など）」61.8%が最も多く、次いで「自宅」27.2%、「市内の公共スポーツ施設」17.1%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

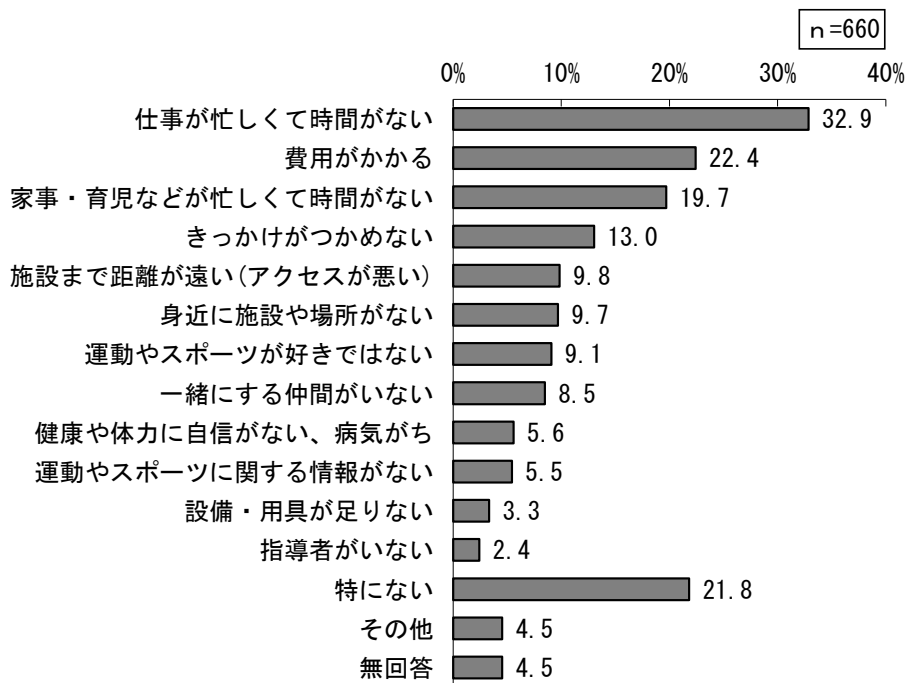
- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「公園・広場・道路（散歩・ジョギング・体操など）」が最も多くなっています。
- その中で、20歳代～30歳代では「市内の公共スポーツ施設」が20%台であり、他の年齢層に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	市内の公共スポーツ施設	学校の施設(運動場や体育館など)	市内の民間スポーツ施設	市外の公共スポーツ施設	市外の民間スポーツ施設	総合型地域スポーツクラブ	職場が所有しているスポーツ施設	自宅
20歳代	47 100.0%	12 25.5%	2 4.3%	6 12.8%	6 12.8%	8 17.0%	2 4.3%	0 0.0%	7 14.9%
30歳代	110 100.0%	22 20.0%	3 2.7%	6 5.5%	6 5.5%	3 2.7%	2 1.8%	0 0.0%	30 27.3%
40歳代	95 100.0%	18 18.9%	5 5.3%	10 10.5%	6 6.3%	3 3.2%	3 3.2%	0 0.0%	23 24.2%
50歳代	100 100.0%	16 16.0%	3 3.0%	12 12.0%	4 4.0%	6 6.0%	1 1.0%	2 2.0%	27 27.0%
60~64歳	74 100.0%	8 10.8%	1 1.4%	9 12.2%	1 1.4%	4 5.4%	1 1.4%	0 0.0%	23 31.1%
65歳以上	147 100.0%	21 14.3%	3 2.0%	18 12.2%	3 2.0%	8 5.4%	3 2.0%	0 0.0%	45 30.6%

	合計	公園・広場・道路（散歩・ジョギング・体操など）	その他
20 歳代	47 100.0%	32 68.1%	2 4.3%
30 歳代	110 100.0%	77 70.0%	7 6.4%
40 歳代	95 100.0%	47 49.5%	13 13.7%
50 歳代	100 100.0%	60 60.0%	12 12.0%
60～64 歳	74 100.0%	47 63.5%	9 12.2%
65 歳以上	147 100.0%	91 61.9%	19 12.9%

問21 あなたが運動やスポーツで困っていることや、運動やスポーツをしていない理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

- 市民が運動やスポーツで困っていることや、していない理由について、「仕事が忙しくて時間がない」32.9%が最も多く、次いで「費用がかかる」22.4%、「特にない」21.8%、「家事・育児などが忙しくて時間がない」19.7%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、20歳代及び40歳代から50歳代では「仕事が忙しくて時間がない」、30歳代では「家事・育児などが忙しくて時間がない」、60歳以上では「特にない」がそれぞれ最も多くなっています。
- その中で、20歳代では「身近に施設や場所がない」と「施設まで距離が遠い（アクセスが悪い）」が20%台であり、他の年齢層に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児などが忙しくて時間がない	健康や体力に自信がない、病気がち	一緒にする仲間がいない	身近に施設や場所がない	施設まで距離が遠い(アクセスが悪い)	設備・用具が足りない	運動やスポーツに関する情報が
20歳代	54 100.0%	27 50.0%	5 9.3%	0 0.0%	8 14.8%	12 22.2%	11 20.4%	3 5.6%	2 3.7%
30歳代	130 100.0%	49 37.7%	64 49.2%	6 4.6%	12 9.2%	16 12.3%	8 6.2%	9 6.9%	6 4.6%
40歳代	109 100.0%	50 45.9%	30 27.5%	5 4.6%	3 2.8%	11 10.1%	12 11.0%	3 2.8%	5 4.6%
50歳代	116 100.0%	48 41.4%	18 15.5%	8 6.9%	14 12.1%	10 8.6%	7 6.0%	5 4.3%	9 7.8%
60~64歳	87 100.0%	20 23.0%	2 2.3%	6 6.9%	4 4.6%	6 6.9%	6 6.9%	0 0.0%	4 4.6%
65歳以上	163 100.0%	23 14.1%	11 6.7%	12 7.4%	15 9.2%	8 4.9%	20 12.3%	2 1.2%	10 6.1%

	合計	費用がかかる	指導者がいない	めきっかけがつかない	運動やスポーツが好きではない	特にない	その他
20歳代	54 100.0%	13 24.1%	1 1.9%	3 5.6%	7 13.0%	9 16.7%	1 1.9%
30歳代	130 100.0%	33 25.4%	2 1.5%	16 12.3%	11 8.5%	10 7.7%	9 6.9%
40歳代	109 100.0%	35 32.1%	1 0.9%	13 11.9%	9 8.3%	14 12.8%	4 3.7%
50歳代	116 100.0%	32 27.6%	7 6.0%	20 17.2%	9 7.8%	22 19.0%	5 4.3%
60～64歳	87 100.0%	14 16.1%	1 1.1%	10 11.5%	15 17.2%	34 39.1%	2 2.3%
65歳以上	163 100.0%	21 12.9%	4 2.5%	24 14.7%	9 5.5%	55 33.7%	9 5.5%

○ 地区別にみると、小林中学校区では「費用がかかる」、その他の地区では「仕事が忙しくて時間がない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児などが忙しくて時間がない	健康や体力に自信がない、病気がち	一緒にする仲間がない	身近に施設や場所がない	施設まで距離が遠い(アクセスが悪い)	設備・用具が足りない	運動やスポーツに関する情報がない
印西中学校区	71 100.0%	20 28.2%	10 14.1%	6 8.5%	9 12.7%	4 5.6%	5 7.0%	2 2.8%	8 11.3%
船穂中学校区	63 100.0%	25 39.7%	9 14.3%	4 6.3%	3 4.8%	4 6.3%	5 7.9%	3 4.8%	3 4.8%
木刈中学校区	128 100.0%	43 33.6%	39 30.5%	8 6.3%	12 9.4%	8 6.3%	7 5.5%	6 4.7%	11 8.6%
小林中学校区	51 100.0%	12 23.5%	8 15.7%	1 2.0%	1 2.0%	11 21.6%	9 17.6%	1 2.0%	4 7.8%
原山中学校区	85 100.0%	26 30.6%	16 18.8%	5 5.9%	8 9.4%	4 4.7%	8 9.4%	1 1.2%	2 2.4%
西の原中学校区	96 100.0%	40 41.7%	22 22.9%	7 7.3%	8 8.3%	9 9.4%	10 10.4%	5 5.2%	5 5.2%
印旛中学校区	76 100.0%	22 28.9%	12 15.8%	5 6.6%	8 10.5%	11 14.5%	10 13.2%	3 3.9%	0 0.0%
本柵中学校区	26 100.0%	8 30.8%	4 15.4%	0 0.0%	4 15.4%	5 19.2%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%
滝野中学校区	49 100.0%	17 34.7%	7 14.3%	0 0.0%	3 6.1%	7 14.3%	9 18.4%	1 2.0%	2 4.1%

	合計	費用がかかる	指導者がいない	めきかけがつかめない	運動やスポーツが好きではない	特にない	その他
印西中学校区	71 100.0%	13 18.3%	1 1.4%	12 16.9%	8 11.3%	16 22.5%	13 18.3%
船穂中学校区	63 100.0%	14 22.2%	0 0.0%	5 7.9%	5 7.9%	18 28.6%	14 22.2%
木刈中学校区	128 100.0%	32 25.0%	6 4.7%	18 14.1%	5 3.9%	28 21.9%	32 25.0%
小林中学校区	51 100.0%	15 29.4%	3 5.9%	6 11.8%	5 9.8%	11 21.6%	15 29.4%
原山中学校区	85 100.0%	17 20.0%	2 2.4%	11 12.9%	14 16.5%	23 27.1%	17 20.0%
西の原中学校区	96 100.0%	25 26.0%	1 1.0%	9 9.4%	10 10.4%	13 13.5%	25 26.0%
印旛中学校区	76 100.0%	13 17.1%	2 2.6%	12 15.8%	5 6.6%	16 21.1%	13 17.1%
本奎中学校区	26 100.0%	3 11.5%	0 0.0%	7 26.9%	2 7.7%	7 26.9%	3 11.5%
滝野中学校区	49 100.0%	10 20.4%	0 0.0%	4 8.2%	5 10.2%	9 18.4%	10 20.4%

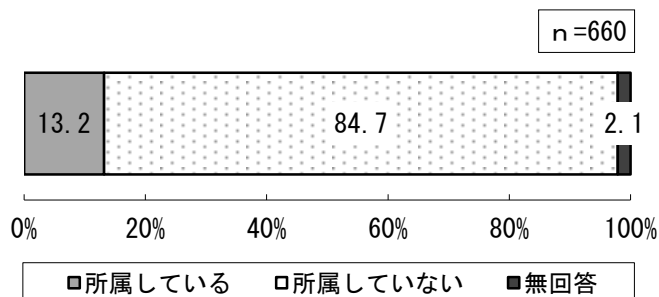
▶▶前回調査（平成19年）との比較

- 選択項目が異なるため、単純比較はできませんが、参考として全体結果を平成19年と平成28年で比較すると、平成19年の1位「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」の45.1%が、平成28年の該当2項目（1位+4位）の合計で52.6%となり、8ポイント増加しています。

	平成19年 n=1240	比率	平成28年 n=660	比率
1位	仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから	45.1%	仕事に忙しくて時間がない	32.9%
2位	する機会がなかったから	38.6%	費用がかかる	22.4%
3位	特に理由はない	15.5%	特にない	21.8%
4位	お金がかかるから 歳をとったから	14.9%	家事・育児などが忙しくて時間がない	19.7%
5位	体力に自信がないから		きかけがつかめない	13.0%

問22 あなたは現在、市内外を問わず、スポーツの団体・クラブ・同好会などに所属していますか。（ひとつだけ○）

- 市民のスポーツ団体・クラブ・同好会などの所属状況について、「所属していない」84.7%、「所属している」13.2%となっています。



▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「所属していない」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	所属している	所属していない
20歳代	54 100.0%	8 14.8%	46 85.2%
30歳代	130 100.0%	9 6.9%	120 92.3%
40歳代	109 100.0%	12 11.0%	97 89.0%
50歳代	116 100.0%	17 14.7%	96 82.8%
60~64歳	87 100.0%	10 11.5%	72 82.8%
65歳以上	163 100.0%	31 19.0%	127 77.9%

- 運動状況別にみると、運動を普段からしている人では「所属している」が29.8%であり、運動状況別では最も多くなっています。

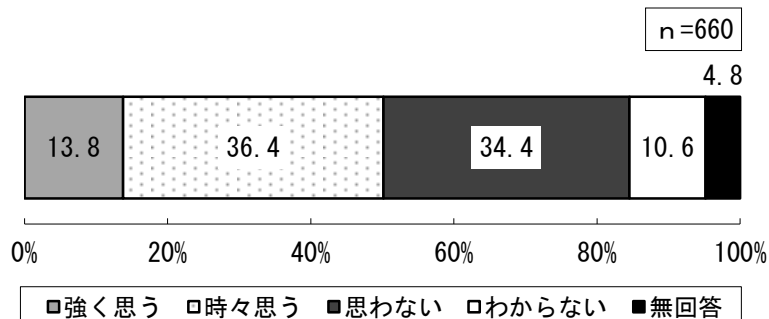
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	所属している	所属していない
運動を普段からしている	191 100.0%	57 29.8%	129 67.5%
時々している	251 100.0%	28 11.2%	218 86.9%
ほとんどしていない	132 100.0%	2 1.5%	127 96.2%
運動をまったくしていない	83 100.0%	0 0.0%	83 100.0%

- 地区別にみると、小林中学校区、滝野中学校区では「所属している」が20%台であり、地区別では多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	所属している	所属していない
印西中学校区	71 100.0%	6 8.5%	64 90.1%
船穂中学校区	63 100.0%	7 11.1%	52 82.5%
木刈中学校区	128 100.0%	18 14.1%	107 83.6%
小林中学校区	51 100.0%	12 23.5%	39 76.5%
原山中学校区	85 100.0%	7 8.2%	77 90.6%
西の原中学校区	96 100.0%	9 9.4%	86 89.6%
印旛中学校区	76 100.0%	14 18.4%	61 80.3%
本柰中学校区	26 100.0%	0 0.0%	24 92.3%
滝野中学校区	49 100.0%	13 26.5%	35 71.4%

問23 あなたは、もっとスポーツをしたい、もっと観たいと思いますか。
(ひとつだけ○)

○ 市民自身がスポーツをもっとしたい、もっと観たいと思うかについて、『思う』
50.2%（強く思う+時々思う）、「思わない」34.4%となっています。



<p>(強く思う) スポーツ名 (自由意見) (多い項目を要約掲載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • テニス • 野球 • 水泳、スイミング • ゴルフ • バドミントン • サッカー、フットサル • バasketボール • 卓球 • ランニング • ウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> • ラグビー • バレーボール • ピラティス • 自転車、サイクリング • 登山 • 相撲 • フリークライミング • ボルダリング • ロッククライミング など
<p>(時々思う) スポーツ名 (自由意見) (多い項目を要約掲載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • テニス • 水泳、スイミング • 野球 • サッカー • ゴルフ • ヨガ • バレーボール • バドミントン • 卓球 • バasketボール • 体操 • ボルダリング • バレエ • サイクリング 	<ul style="list-style-type: none"> • ジョギング • 弓道 • マラソン • 陸上 • トレッキング • ソフトバレーボール • 陸上競技 • スケート • グラウンドゴルフ • フラダンス • 健康体操 • エアロビクス • ボウリング など

▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、『思う』が20歳代～40歳代では60%前後と多く、50歳代でも50%台と多くなっています。
- 60歳以上では「思わない」が多くなっています。

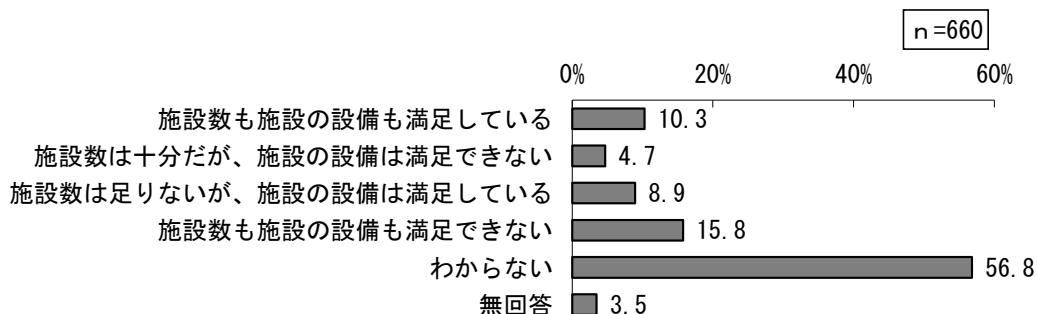
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	『思う』				
	合計	強く思う	時々思う	思わない	わからない
20歳代	54 100.0%	17 31.5%	15 27.8%	14 25.9%	7 13.0%
30歳代	130 100.0%	26 20.0%	55 42.3%	35 26.9%	10 7.7%
40歳代	109 100.0%	17 15.6%	50 45.9%	28 25.7%	13 11.9%
50歳代	116 100.0%	14 12.1%	45 38.8%	38 32.8%	14 12.1%
60～64歳	87 100.0%	7 8.0%	31 35.6%	36 41.4%	7 8.0%
65歳以上	163 100.0%	10 6.1%	43 26.4%	76 46.6%	19 11.7%

- 運動状況別にみると、時々している人では『思う』が60%台と多くなっています。
- 運動を普段からしている人、ほとんどしていない人では、『思う』と「思わない」が40%前後と、同程度となっています。
- 運動をまったくしていない人では、「思わない」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	『思う』				
	合計	強く思う	時々思う	思わない	わからない
運動を普段からしている	191 100.0%	26 13.6%	62 32.5%	74 38.7%	16 8.4%
時々している	251 100.0%	43 17.1%	113 45.0%	58 23.1%	26 10.4%
ほとんどしていない	132 100.0%	11 8.3%	49 37.1%	47 35.6%	20 15.2%
運動をまったくしていない	83 100.0%	11 13.3%	15 18.1%	47 56.6%	8 9.6%

問24 印西市内のスポーツ施設と設備について満足していますか。（ひとつだけ○）

- 市内のスポーツ施設と設備の市民満足度について、「わからない」56.8%が最も多く、次いで「施設数も施設の設備も満足できない」15.8%、「施設数も施設の設備も満足している」10.3%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「わからない」が最も多くなっています。
○ その中で、各年齢層でも意見が分かれています。

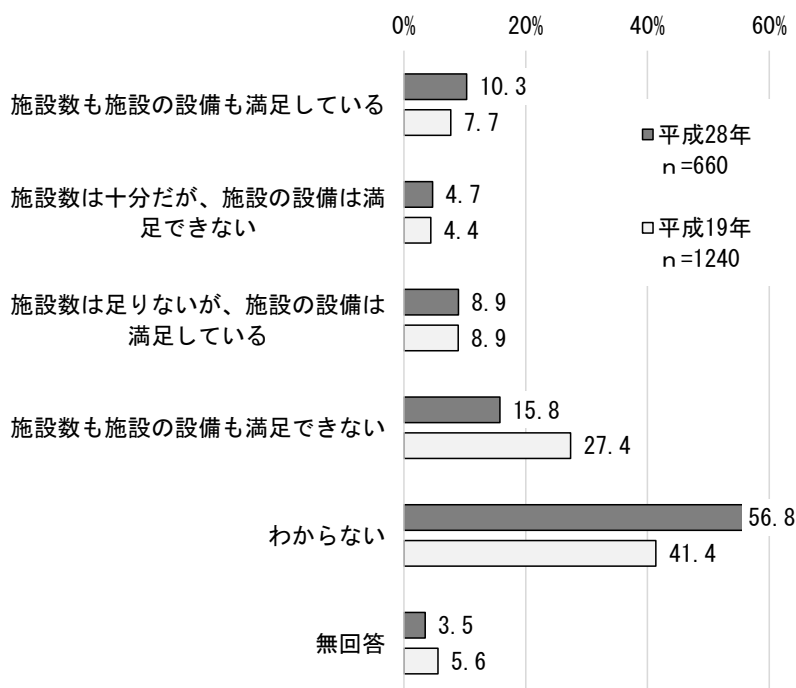
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	施設数も満足している設備も満足している	施設数は十分だが、施設の設備は満足できない	施設数は足りないが、施設の設備は満足している	施設数も満足できない設備も満足できない	わからない
20歳代	54 100.0%	4 7.4%	4 7.4%	7 13.0%	12 22.2%	27 50.0%
30歳代	130 100.0%	13 10.0%	7 5.4%	11 8.5%	22 16.9%	74 56.9%
40歳代	109 100.0%	16 14.7%	5 4.6%	9 8.3%	22 20.2%	56 51.4%
50歳代	116 100.0%	13 11.2%	5 4.3%	10 8.6%	22 19.0%	64 55.2%
60～64歳	87 100.0%	8 9.2%	5 5.7%	6 6.9%	11 12.6%	53 60.9%
65歳以上	163 100.0%	14 8.6%	5 3.1%	15 9.2%	15 9.2%	101 62.0%

- 運動状況別にみると、いずれも「わからない」が最も多くなっています。
- その中で、運動を普段からしている人の評価をみても、意見が分かれています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	施設数も施設の設備も満足している	施設数は十分だが、施設の設備は満足できない	施設数は足りないが、施設の設備は満足している	施設数も満足できない	わからない
運動を普段からしている	191 100.0%	27 14.1	17 8.9	20 10.5	31 16.2	89 46.6
時々している	251 100.0%	25 10.0	11 4.4	20 8.0	43 17.1	142 56.6
ほとんどしていない	132 100.0%	9 6.8	3 2.3	16 12.1	19 14.4	81 61.4
運動をまったくしていない	83 100.0%	7 8.4	0 0.0	3 3.6	11 13.3	61 73.5

▶▶前回調査（平成19年）との比較

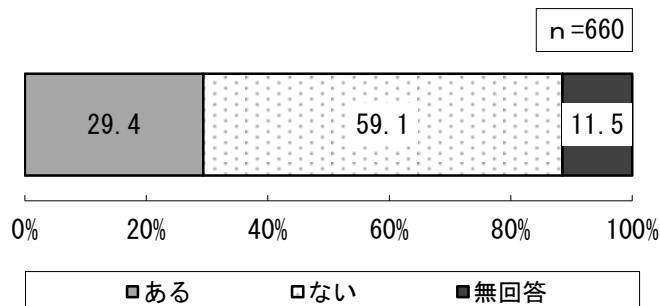
- 全体結果を平成19年と平成28年で比較すると、「施設数も施設の設備も満足できない」が平成19年の27.4%から12ポイント減少、「わからない」が同41.4%から15ポイント増加しています。



問25 今後、市内に整備してほしいスポーツ施設や設備はありますか。

(ひとつだけ○)

○ 市内に整備してほしいスポーツ施設や設備について、「ある」29.4%、「ない」59.1%となっています。



具体的な施設・設備 (自由意見) (多い項目を要約掲載)	<ul style="list-style-type: none"> • プール、温水プール • 公園 • テニスコート • 体育館 • フットサル • スポーツジム • ボルダリング 	<ul style="list-style-type: none"> • 野球場 • クライミング • スケートリンク • アスレチック • バドミントン • グラウンド など
------------------------------------	---	--

▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「ない」が最も多くなっています。
- その中で、20歳代の「ある」が40.7%であり、年齢層別では最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	ある	ない
20歳代	54 100.0%	22 40.7%	31 57.4%
30歳代	130 100.0%	45 34.6%	76 58.5%
40歳代	109 100.0%	36 33.0%	67 61.5%
50歳代	116 100.0%	32 27.6%	72 62.1%
60~64歳	87 100.0%	19 21.8%	50 57.5%
65歳以上	163 100.0%	40 24.5%	94 57.7%

- 運動状況別にみると、いずれも「ない」が最も多くなっています。
- その中で、時々している人では「ある」が37.1%であり、運動状況別では最も多くなっています。

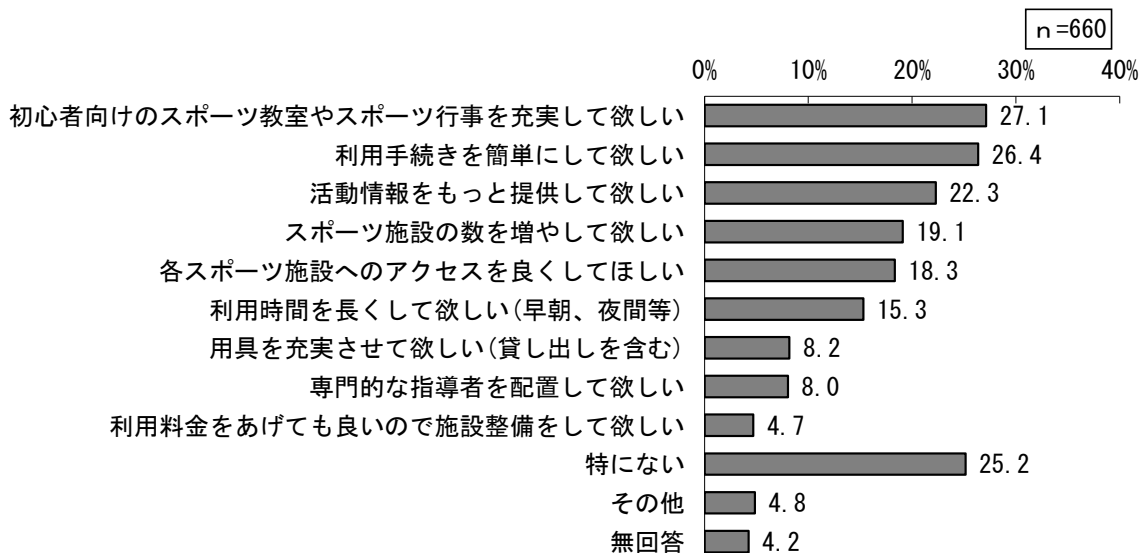
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	ある	ない
運動を普段からしている	191 100.0%	55 28.8%	107 56.0%
時々している	251 100.0%	93 37.1%	137 54.6%
ほとんどしていない	132 100.0%	33 25.0%	80 60.6%
運動をまったくしていない	83 100.0%	12 14.5%	65 78.3%

- 地区別にみると、すべての地区で「ない」が最も多くなっています。
- その中で、小林中学校区では「ある」が37.3%であり、地区別では最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	ある	ない
印西中学校区	71 100.0%	15 21.1%	45 63.4%
船穂中学校区	63 100.0%	18 28.6%	35 55.6%
木刈中学校区	128 100.0%	42 32.8%	67 52.3%
小林中学校区	51 100.0%	19 37.3%	24 47.1%
原山中学校区	85 100.0%	25 29.4%	52 61.2%
西の原中学校区	96 100.0%	31 32.3%	59 61.5%
印旛中学校区	76 100.0%	22 28.9%	51 67.1%
本柰中学校区	26 100.0%	4 15.4%	17 65.4%
滝野中学校区	49 100.0%	15 30.6%	30 61.2%

問26 あなたが市のスポーツ施設に望むことは何ですか。（主なもの3つまで○）

- 市民が市のスポーツ施設に望むことについて、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実して欲しい」27.1%が最も多く、次いで「利用手続きを簡単にして欲しい」26.4%、「特にない」25.2%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、20歳代～40歳代では「利用手続きを簡単にして欲しい」、50歳代～64歳では「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実して欲しい」、65歳以上では「特にない」がそれぞれ最も多くなっています。
- その他の項目では、20歳代～50歳代で「利用時間を長くして欲しい（早朝、夜間等）」、20歳代～40歳代で「スポーツ施設の数を増やして欲しい」が多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	て利用 し手 続 き を 簡 単 に し て 欲 し い	充 実 し て 欲 し い 初 心 者 向 け の ス ポ ー ツ 教 室 や ス ポ ー ツ 行 事 を ツ	活 動 情 報 を も っ と 提 供 し て 欲 し い	し い 利 用 時 間 を 長 く し て 欲 し い (早 朝 、 夜 間 等)	や ス ポ ー ツ 施 設 の 数 を 増 や し て 欲 し い	し て 欲 し い 専 門 的 な 指 導 者 を 配 置 し て 欲 し い	い 用 具 を 充 実 さ せ て 欲 し い (貸 し 出 し を 含 む)	欲 し い 利 用 料 金 を あ げ て も 良 い の で 施 設 整 備 を し て 良 い
20歳代	54 100.0%	24 44.4%	6 11.1%	12 22.2%	13 24.1%	14 25.9%	4 7.4%	9 16.7%	2 3.7%
30歳代	130 100.0%	44 33.8%	43 33.1%	34 26.2%	29 22.3%	33 25.4%	13 10.0%	18 13.8%	10 7.7%
40歳代	109 100.0%	32 29.4%	28 25.7%	30 27.5%	23 21.1%	32 29.4%	6 5.5%	13 11.9%	7 6.4%
50歳代	116 100.0%	23 19.8%	42 36.2%	29 25.0%	22 19.0%	18 15.5%	11 9.5%	2 1.7%	5 4.3%
60～64歳	87 100.0%	15 17.2%	25 28.7%	12 13.8%	6 6.9%	6 6.9%	7 8.0%	4 4.6%	2 2.3%
65歳以上	163 100.0%	35 21.5%	35 21.5%	30 18.4%	8 4.9%	23 14.1%	12 7.4%	7 4.3%	5 3.1%

	合計	各スポーツ施設へのアクセスを良くしてほしい	特にな	その他
20歳代	54 100.0%	14 25.9%	7 13.0%	3 5.6%
30歳代	130 100.0%	15 11.5%	19 14.6%	9 6.9%
40歳代	109 100.0%	22 20.2%	20 18.3%	6 5.5%
50歳代	116 100.0%	21 18.1%	30 25.9%	5 4.3%
60～64歳	87 100.0%	12 13.8%	25 28.7%	5 5.7%
65歳以上	163 100.0%	36 22.1%	65 39.9%	4 2.5%

- 運動状況別にみると、運動を普段からしている人では「利用手続きを簡単にして欲しい」、時々している人、ほとんどしていない人では「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実して欲しい」が最も多くなっています（「特にな」以外）。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	利用手続きを簡単にして欲しい	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実して欲しい	活動情報をもっと提供して欲しい	利用時間を長くして欲しい(早朝、夜間等)	スポーツ施設の数を増やして欲しい	専門的な指導者を配置して欲しい	用具を充実させて欲しい(貸し出しを含む)	利用料金をあげても良い施設整備をして欲しい
運動を普段からしている	191 100.0%	53 27.7%	41 21.5%	40 20.9%	23 12.0%	26 13.6%	21 11.0%	18 9.4%	8 4.2%
時々している	251 100.0%	76 30.3%	79 31.5%	59 23.5%	48 19.1%	65 25.9%	20 8.0%	27 10.8%	13 5.2%
ほとんどしていない	132 100.0%	33 25.0%	37 28.0%	33 25.0%	20 15.2%	23 17.4%	9 6.8%	7 5.3%	3 2.3%
運動をまったくしていない	83 100.0%	12 14.5%	21 25.3%	15 18.1%	10 12.0%	12 14.5%	2 2.4%	2 2.4%	7 8.4%
	合計	各スポーツ施設へのアクセスを良くしてほしい	特にな	その他					
運動を普段からしている	191 100.0%	44 23.0%	42 22.0%	15 7.9%					
時々している	251 100.0%	47 18.7%	47 18.7%	11 4.4%					
ほとんどしていない	132 100.0%	20 15.2%	37 28.0%	5 3.8%					
運動をまったくしていない	83 100.0%	10 12.0%	40 48.2%	1 1.2%					

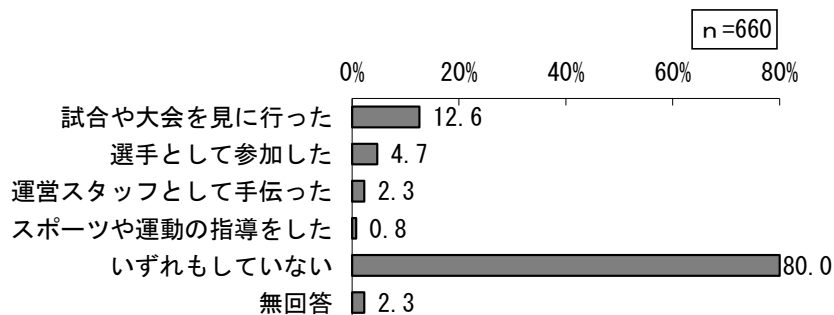
▶▶前回調査（平成19年）との比較

- 選択項目が異なるため、単純比較はできませんが、参考として全体結果を平成19年と平成28年で比較すると、平成19年で1位の「利用手続きを簡単にしたい」は45.6%から19ポイントと大きく減少しています。
- 平成19年で3位の「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実してほしい」は36.9%から10ポイント減少していますが、平成28年の順位は1位に上昇しています。

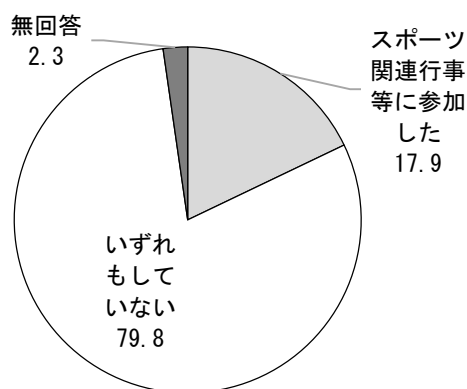
	平成19年 n=1240	比率	平成28年 n=660	比率
1位	利用手続きを簡単にしたい	45.6%	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実してほしい	27.1%
2位	個人や家族で利用できるようにしたい	39.6%	利用手続きを簡単にしたい	26.4%
3位	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実してほしい	36.9%	特になし	25.2%
4位	活動情報をもっと流してほしい	34.7%	活動情報をもっと提供してほしい	22.3%
5位	利用時間を長くしてほしい（早朝、夜間等）	28.1%	スポーツ施設の数を増やしてほしい	19.1%

問27 あなたは、この1年間に、市内外でスポーツに関する行事、試合、大会などに参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

○ この1年間の市民の市内外のスポーツに関する行事、試合、大会などへの参加状況について、「いずれもしていない」80.0%が最も多く、次いで「試合や大会を見に行った」12.6%、「選手として参加した」4.7%と続いています。



○ 上記の結果から、何らかの形で市内外のスポーツに関する行事、試合、大会などに参加した市民の比率（実人数で集計）は17.9%となっています。



▶クロス集計でみる特徴

○ 年齢層別にみると、すべての年齢層で「いずれもしていない」が最も多くなっています。その中で、40歳代の「試合や大会を見に行った」が20%台であり、年齢層別では最も多くなっています。

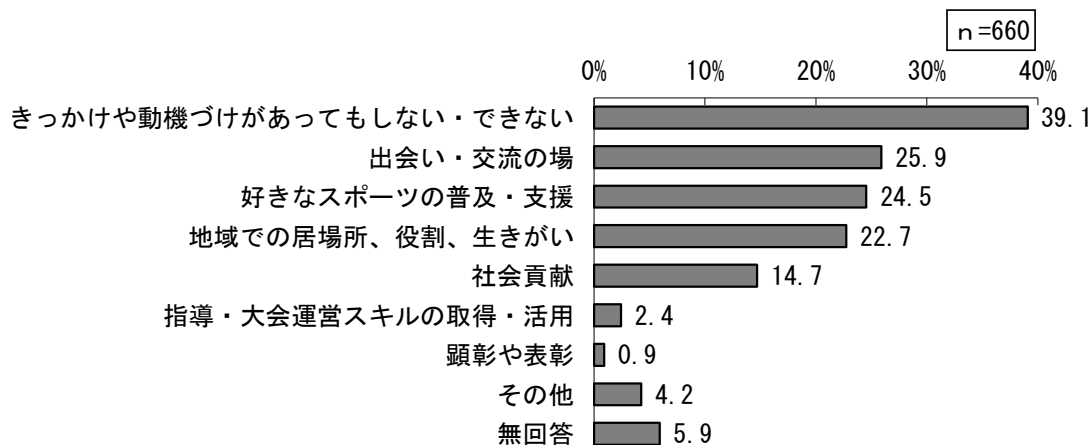
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	試合や大会を見に行った	選手として参加した	スポーツや運動の指導をした	運営スタッフとして手伝った	いずれもしていない
20歳代	54 100.0%	6 11.1%	7 13.0%	1 1.9%	2 3.7%	42 77.8%
30歳代	130 100.0%	16 12.3%	8 6.2%	1 0.8%	4 3.1%	104 80.0%
40歳代	109 100.0%	23 21.1%	2 1.8%	0 0.0%	2 1.8%	80 73.4%
50歳代	116 100.0%	9 7.8%	5 4.3%	2 1.7%	4 3.4%	96 82.8%
60~64歳	87 100.0%	6 6.9%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	76 87.4%
65歳以上	163 100.0%	23 14.1%	8 4.9%	0 0.0%	2 1.2%	129 79.1%

- 世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「いずれもしていない」が最も多くなっています。
- その中で、小学生の子どもと同居の「試合や大会を見に行った」が20%台であり、世帯別では最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	試合や大会を見に行った	選手として参加した	スポーツや運動の指導をした	運営スタッフとして手伝った	いずれもしていない
就学前の子どもと同居	105 100.0%	17 16.2%	5 4.8%	0 0.0%	2 1.9%	82 78.1%
小学生の子どもと同居	113 100.0%	24 21.2%	4 3.5%	0 0.0%	3 2.7%	80 70.8%
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	25 18.9%	9 6.8%	1 0.8%	4 3.0%	94 71.2%
親族などの介護をしている	44 100.0%	5 11.4%	2 4.5%	1 2.3%	2 4.5%	32 72.7%
いずれもあてはまらない	343 100.0%	33 9.6%	15 4.4%	3 0.9%	6 1.7%	288 84.0%

問28 あなたは、どんなきっかけや動機づけがあると、スポーツに関するボランティア活動を行いますか（続けますか）。（主なもの3つまで○）

- スポーツボランティア活動のきっかけや動機づけへの意見について、「きっかけや動機づけがあってもしない・できない」39.1%が最も多く、次いで「出会い・交流の場」25.9%、「好きなスポーツの普及・支援」24.5%、「地域での居場所、役割、生きがい」22.7%と続いています。



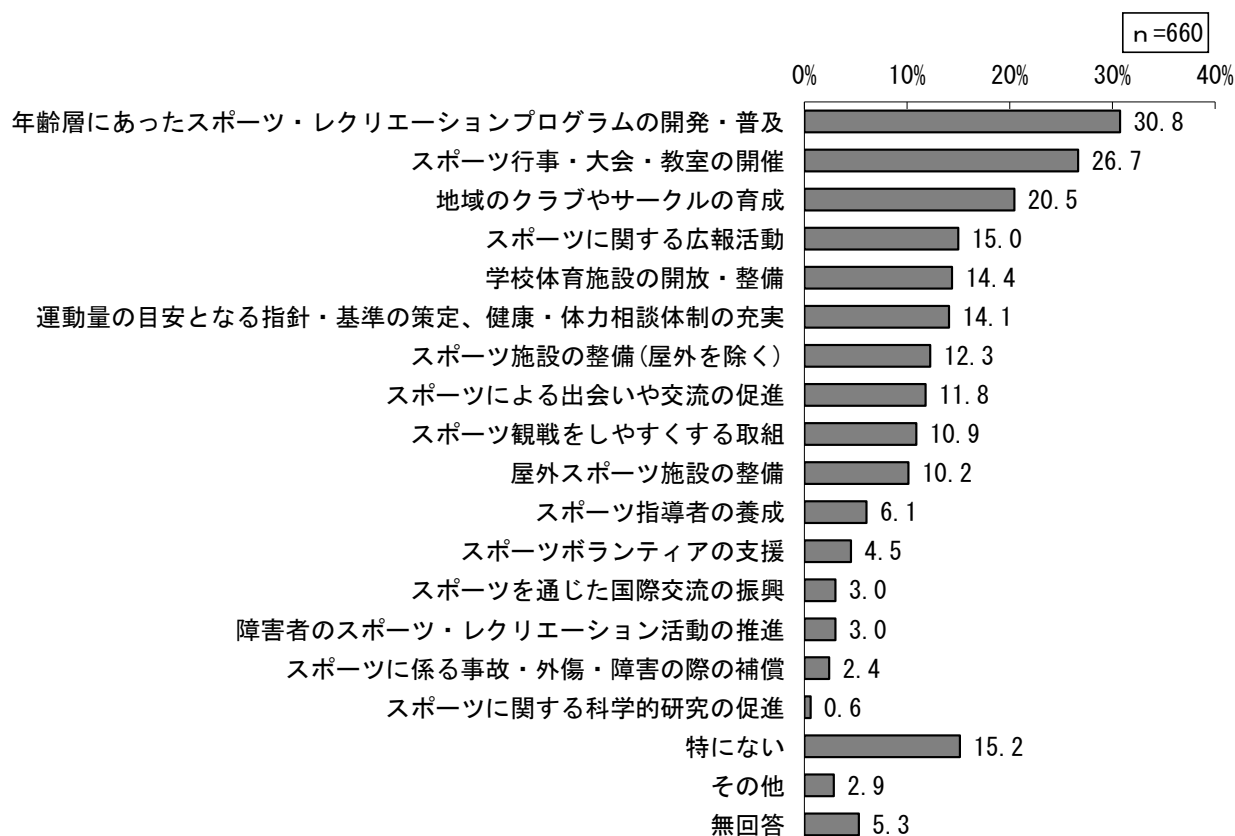
▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、20歳代～30歳代では「好きなスポーツの普及・支援」が最も多くなっています。
- 「地域での居場所、役割、生きがい」は、すべての年齢層で20%台となっています。
- 「社会貢献」では、40歳代以上で20%前後となっており、30歳代以下に比べて、多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	好きなスポーツの普及・支援	地域での居場所、役割、生きがい	出会い・交流の場	指導・大会運営スキルの取得・活用	社会貢献	顕彰や表彰	きっかけや動機づけがあってもしない・できない	その他
20歳代	54 100.0%	21 38.9%	11 20.4%	15 27.8%	2 3.7%	6 11.1%	1 1.9%	20 37.0%	3 5.6%
30歳代	130 100.0%	44 33.8%	33 25.4%	43 33.1%	7 5.4%	10 7.7%	1 0.8%	43 33.1%	6 4.6%
40歳代	109 100.0%	36 33.0%	23 21.1%	23 21.1%	2 1.8%	21 19.3%	3 2.8%	40 36.7%	6 5.5%
50歳代	116 100.0%	28 24.1%	30 25.9%	30 25.9%	2 1.7%	22 19.0%	0 0.0%	41 35.3%	5 4.3%
60～64歳	87 100.0%	13 14.9%	18 20.7%	16 18.4%	2 2.3%	19 21.8%	0 0.0%	36 41.4%	4 4.6%
65歳以上	163 100.0%	19 11.7%	35 21.5%	44 27.0%	1 0.6%	19 11.7%	1 0.6%	78 47.9%	4 2.5%

問29 市民の運動やスポーツをもっと振興させるために、市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 運動やスポーツの振興のために市が力を入れるべきことについて、「年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発・普及」30.8%が最も多く、次いで「スポーツ行事・大会・教室の開催」26.7%、「地域のクラブやサークルの育成」20.5%と続いています。



▶▶クロス集計でみる特徴

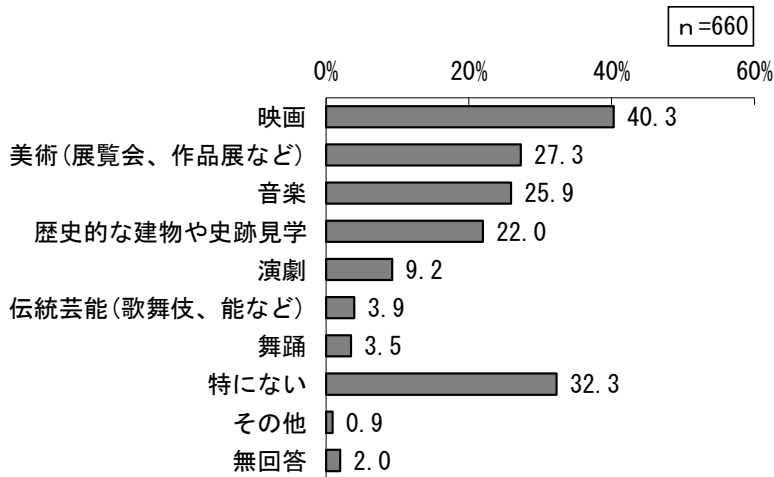
- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発・普及」「スポーツ行事・大会・教室の開催」「地域のクラブやサークルの育成」を上位に挙げています。
- その他の項目では、20歳代～40歳代は「学校体育施設の開放・整備」、50歳代～64歳は「運動量の目安となる指針・基準の策定、健康・体力相談体制の充実」が、他の年齢層に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	大会・教室の開催	地域のクラブやサークルの育成	スポーツによる出会いや交流の促進	スポーツ指導者の養成	スポーツに関する広報活動	学校体育施設の開放・整備	屋外スポーツ施設の整備	スポーツ施設の整備(屋外を除く)
20歳代	54 100.0%	13 24.1%	7 13.0%	10 18.5%	3 5.6%	8 14.8%	12 22.2%	11 20.4%	11 20.4%
30歳代	130 100.0%	48 36.9%	35 26.9%	23 17.7%	12 9.2%	22 16.9%	28 21.5%	17 13.1%	19 14.6%
40歳代	109 100.0%	37 33.9%	25 22.9%	6 5.5%	10 9.2%	16 14.7%	24 22.0%	14 12.8%	21 19.3%
50歳代	116 100.0%	34 29.3%	26 22.4%	14 12.1%	6 5.2%	24 20.7%	11 9.5%	10 8.6%	13 11.2%
60~64歳	87 100.0%	17 19.5%	19 21.8%	7 8.0%	6 6.9%	14 16.1%	5 5.7%	4 4.6%	7 8.0%
65歳以上	163 100.0%	27 16.6%	23 14.1%	18 11.0%	2 1.2%	14 8.6%	15 9.2%	11 6.7%	10 6.1%
	合計	交流の振興	的スポーツに関する科学的促進	のスポーツボランティアの支援	年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発・普及	障害者のスポーツ・レクリエーション活動の推進	運動量の目安となる指針・基準の策定、健康・体力相談体制の充実	外傷・障害に係る事故・補償	くスポーツ観戦をしやすくする取組
20歳代	54 100.0%	3 5.6%	1 1.9%	1 1.9%	13 24.1%	1 1.9%	9 16.7%	3 5.6%	3 5.6%
30歳代	130 100.0%	8 6.2%	0 0.0%	7 5.4%	18 13.8%	2 1.5%	8 6.2%	2 1.5%	23 17.7%
40歳代	109 100.0%	2 1.8%	1 0.9%	5 4.6%	25 22.9%	5 4.6%	11 10.1%	3 2.8%	14 12.8%
50歳代	116 100.0%	2 1.7%	0 0.0%	4 3.4%	51 44.0%	3 2.6%	28 24.1%	4 3.4%	16 13.8%
60~64歳	87 100.0%	2 2.3%	2 2.3%	7 8.0%	34 39.1%	3 3.4%	17 19.5%	1 1.1%	5 5.7%
65歳以上	163 100.0%	3 1.8%	0 0.0%	6 3.7%	62 38.0%	6 3.7%	20 12.3%	3 1.8%	11 6.7%
	合計	特 に な い	そ の 他						
20歳代	54 100.0%	7 13.0%	1 1.9%						
30歳代	130 100.0%	15 11.5%	2 1.5%						
40歳代	109 100.0%	9 8.3%	8 7.3%						
50歳代	116 100.0%	11 9.5%	3 2.6%						
60~64歳	87 100.0%	15 17.2%	3 3.4%						
65歳以上	163 100.0%	43 26.4%	2 1.2%						

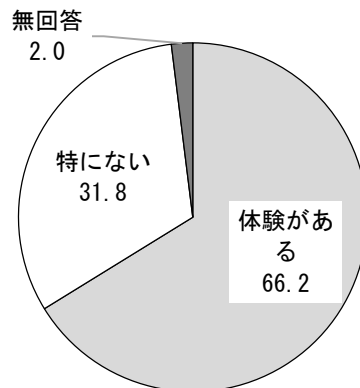
Ⅲ-5. 文化振興について

問30 この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などに出向いて、鑑賞した文化芸術体験はありますか。（主なもの3つまで○）

- この1年間に市民がホール・劇場、映画館、美術館・博物館などに出向いた文化芸術体験について、「映画」40.3%が最も多く、次いで「特にない」32.3%、「美術（展覧会、作品展など）」27.3%と続いています。



- 上記の結果から、この1年間に何らかの文化芸術体験をした市民の比率（実人数で集計）は66.2%となっています。



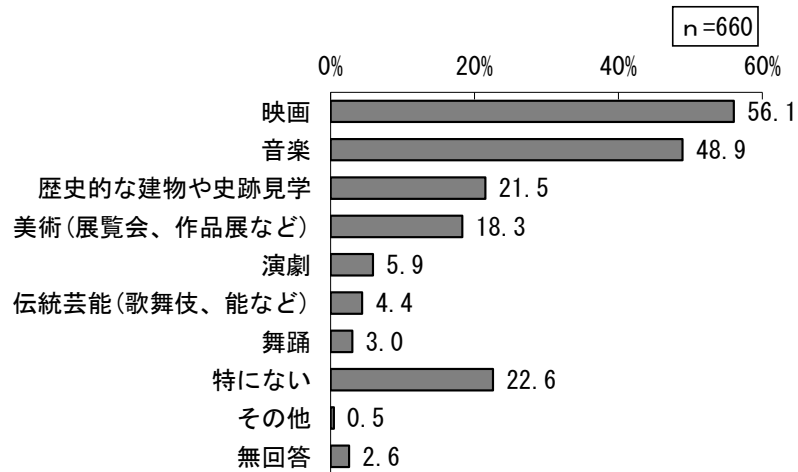
▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、文化芸術体験の中では「映画」「美術（展覧会、作品展など）」「音楽」「歴史的な建物や史跡見学」などが、年齢を問わず、多くなっています。

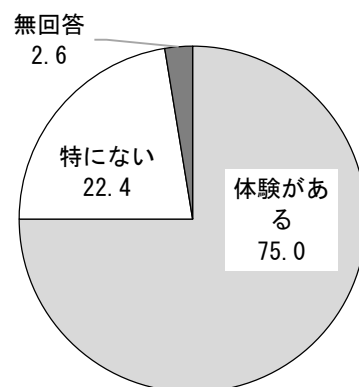
※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	音楽	美術 展など (展覧会、 作品)	演劇	舞踊	映画	伝統芸能 (歌舞伎、 能など)	見学 歴史的な 建物や史跡	特 に な い	そ の 他
20歳代	54 100.0%	14 25.9%	16 29.6%	7 13.0%	1 1.9%	32 59.3%	1 1.9%	15 27.8%	14 25.9%	0 0.0%
30歳代	130 100.0%	27 20.8%	23 17.7%	7 5.4%	2 1.5%	58 44.6%	1 0.8%	18 13.8%	47 36.2%	0 0.0%
40歳代	109 100.0%	24 22.0%	23 21.1%	9 8.3%	5 4.6%	49 45.0%	3 2.8%	25 22.9%	36 33.0%	0 0.0%
50歳代	116 100.0%	36 31.0%	43 37.1%	12 10.3%	3 2.6%	49 42.2%	7 6.0%	31 26.7%	36 31.0%	2 1.7%
60~64歳	87 100.0%	24 27.6%	26 29.9%	13 14.9%	3 3.4%	30 34.5%	5 5.7%	18 20.7%	28 32.2%	1 1.1%
65歳以上	163 100.0%	46 28.2%	49 30.1%	13 8.0%	9 5.5%	48 29.4%	9 5.5%	38 23.3%	51 31.3%	3 1.8%

問31 この1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどで鑑賞した文化芸術体験はありますか。（主なもの3つまで○）

- この1年間に市民がテレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどで鑑賞した文化芸術体験について、「映画」56.1%が最も多く、次いで「音楽」48.9%、「特にない」22.6%、「歴史的な建物や史跡見学」21.5%と続いています。



- 上記の結果から、この1年間にメディアを通じて文化芸術を鑑賞した市民の比率（実人数で集計）は75.0%となっています。



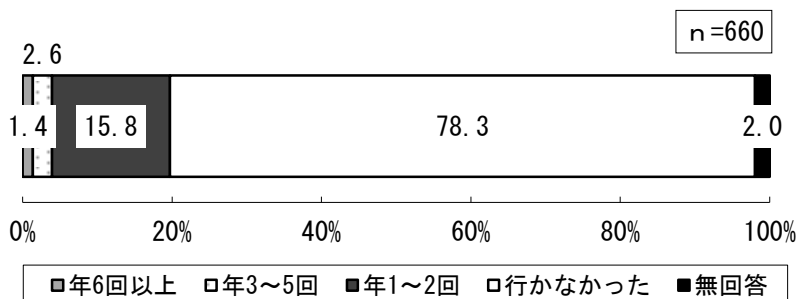
▶▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、文化芸術鑑賞の中ではすべての年齢層で「映画」「音楽」「歴史的な建物や史跡見学」を上位に挙げています。
- その中で、50歳代以上では「歴史的な建物や史跡見学」「美術（展覧会、作品展など）」が、他の年齢層に比べて多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	音楽	美術 など (展覧会、 作品展)	演劇	舞踊	映画	伝統芸能 など (歌舞伎、 能)	学歴 史的な 建物や 史跡見 学	特 に な い	そ の 他
20歳代	54 100.0%	36 66.7%	6 11.1%	6 11.1%	0 0.0%	41 75.9%	0 0.0%	8 14.8%	10 18.5%	0 0.0%
30歳代	130 100.0%	69 53.1%	12 9.2%	4 3.1%	4 3.1%	81 62.3%	4 3.1%	15 11.5%	29 22.3%	0 0.0%
40歳代	109 100.0%	60 55.0%	10 9.2%	6 5.5%	4 3.7%	69 63.3%	2 1.8%	18 16.5%	24 22.0%	1 0.9%
50歳代	116 100.0%	63 54.3%	35 30.2%	11 9.5%	3 2.6%	73 62.9%	6 5.2%	29 25.0%	18 15.5%	1 0.9%
60～64歳	87 100.0%	39 44.8%	26 29.9%	5 5.7%	2 2.3%	43 49.4%	5 5.7%	21 24.1%	20 23.0%	0 0.0%
65歳以上	163 100.0%	55 33.7%	32 19.6%	7 4.3%	7 4.3%	62 38.0%	12 7.4%	51 31.3%	48 29.4%	1 0.6%

問32 この1年間に、市の施設の文化ホール、印旛歴史民俗資料館、木下交流の杜歴史資料センターに合計で何回くらい行きましたか。（ひとつだけ○）

- この1年間に市民が市の文化ホール、印旛歴史民俗資料館、木下交流の杜歴史資料センターを訪問した頻度について、「行かなかった」78.3%が最も多く、次いで「年1～2回」15.8%、「年3～5回」2.6%と続いています。



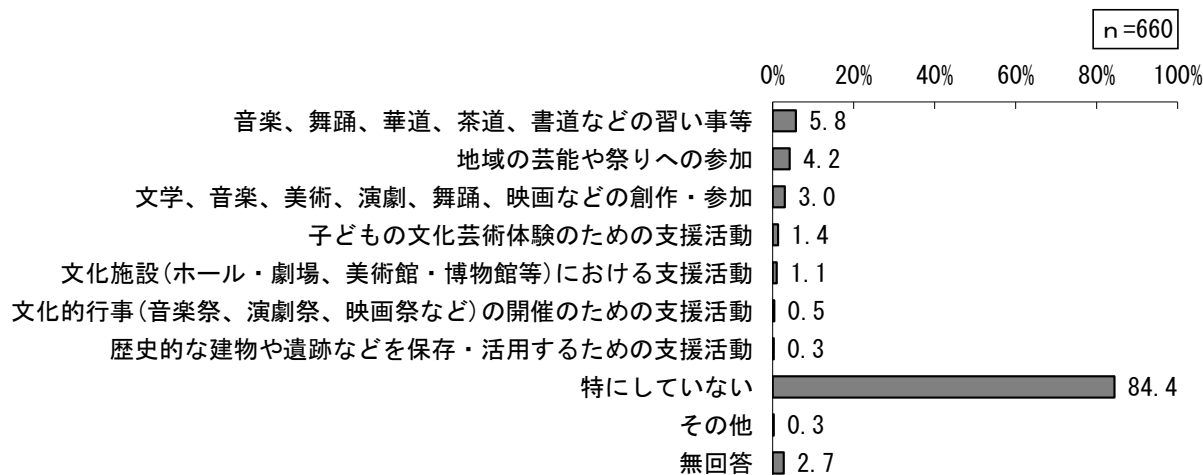
▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「行かなかった」が最も多く、次いで「年1～2回」と続いています
- その中で、40歳代と65歳以上は「年1～2回」が20%台と、他の年齢層に比べて多くなっています。

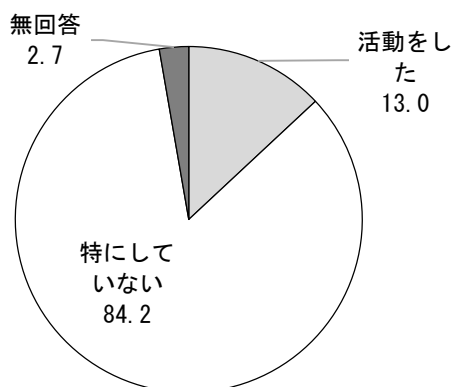
※注 第1位のみ網掛 上段=人数(n) 下段=構成比	合計	年6回以上	年3～5回	年1～2回	行かなかった
20歳代	54 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	3 5.6%	50 92.6%
30歳代	130 100.0%	2 1.5%	0 0.0%	16 12.3%	111 85.4%
40歳代	109 100.0%	0 0.0%	2 1.8%	23 21.1%	83 76.1%
50歳代	116 100.0%	0 0.0%	3 2.6%	9 7.8%	104 89.7%
60～64歳	87 100.0%	3 3.4%	4 4.6%	8 9.2%	71 81.6%
65歳以上	163 100.0%	3 1.8%	8 4.9%	45 27.6%	97 59.5%

問33 この1年間に、自分で文化芸術を創作・参加したり、文化芸術活動の支援・ボランティアなど、文化芸術に関わる活動をしましたか。（文化芸術鑑賞は除きます）（主なもの3つまで○）

- この1年間の市民自身の文化芸術活動の有無について、「特にしていない」84.4%が最も多く、次いで「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等」5.8%、「地域の芸能や祭りへの参加」4.2%と続いています。



- 上記の結果から、この1年間に何らかの文化芸術活動をした市民の比率（実人数で集計）は13.0%となっています。



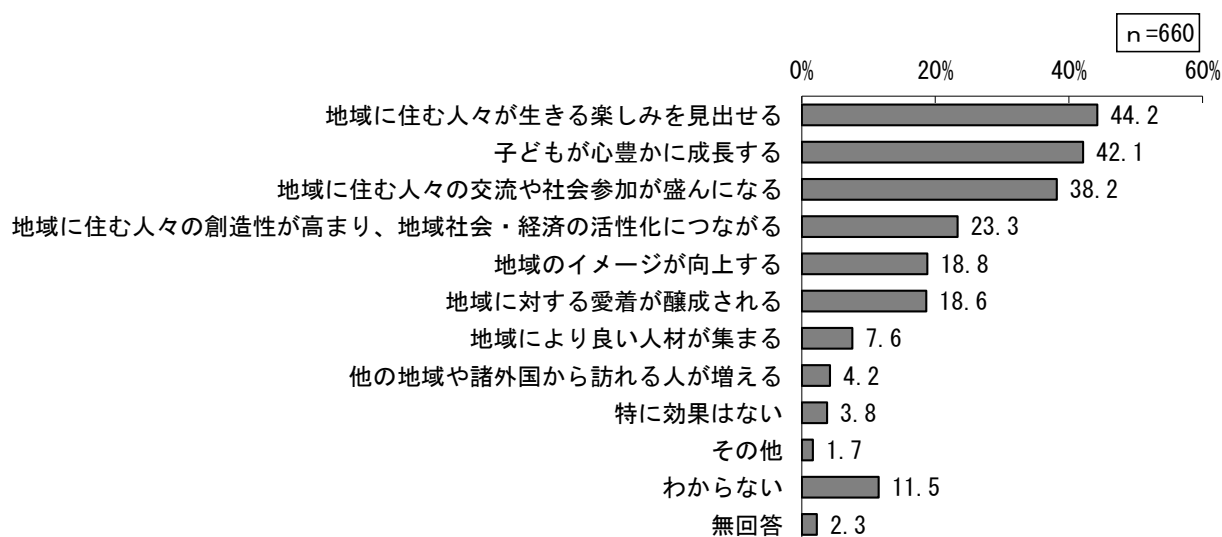
▶▶クロス集計でみる特徴

○ 年齢層別にみると、すべての年齢層で「特にしていない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの創作・参加	音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事等	地域の芸能や祭りへの参加	子どもの文化芸術体験のための支援活動	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）における支援活動	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	特にしていない	その他
20 歳代	54 100.0%	4 7.4%	3 5.6%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	45 83.3%	0 0.0%
30 歳代	130 100.0%	4 3.1%	6 4.6%	8 6.2%	3 2.3%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	110 84.6%	0 0.0%
40 歳代	109 100.0%	3 2.8%	6 5.5%	6 5.5%	4 3.7%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	91 83.5%	1 0.9%
50 歳代	116 100.0%	1 0.9%	9 7.8%	2 1.7%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	104 89.7%	1 0.9%
60～64 歳	87 100.0%	4 4.6%	5 5.7%	5 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	73 83.9%	0 0.0%
65 歳以上	163 100.0%	4 2.5%	9 5.5%	6 3.7%	1 0.6%	5 3.1%	2 1.2%	1 0.6%	133 81.6%	0 0.0%

問34 あなたは、優れた文化芸術を鑑賞する機会や、自ら文化芸術活動をする人が増えるなど、市の文化的環境の充実によって期待できる効果は何だと考えますか。
(主なもの3つまで○)

- 市民が考える文化的環境の充実によって期待できる主な効果について、「地域に住む人々が生きる楽しみを見出せる」44.2%が最も多く、次いで「子どもが心豊かに成長する」42.1%、「地域に住む人々の交流や社会参加が盛んになる」38.2%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「地域に住む人々が生きる楽しみを見出せる」「子どもが心豊かに成長する」「地域に住む人々の交流や社会参加が盛んになる」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	地域に住む人々が生きる楽しみを見出せる	地域に住む人々の交流や社会参加が盛んになる	地域に対する愛着が醸成される	地域により良い人材が集まる	地域の高まり、地域社会・経済性の活性化につながる	子どもが心豊かに成長する	地域のイメージが向上する	他の地域や諸外国から訪れる人が増える
20歳代	54 100.0%	23 42.6%	14 25.9%	13 24.1%	4 7.4%	13 24.1%	20 37.0%	11 20.4%	6 11.1%
30歳代	130 100.0%	47 36.2%	59 45.4%	18 13.8%	8 6.2%	23 17.7%	66 50.8%	32 24.6%	5 3.8%
40歳代	109 100.0%	37 33.9%	34 31.2%	30 27.5%	11 10.1%	27 24.8%	49 45.0%	21 19.3%	7 6.4%
50歳代	116 100.0%	59 50.9%	54 46.6%	16 13.8%	11 9.5%	31 26.7%	40 34.5%	16 13.8%	5 4.3%
60~64歳	87 100.0%	46 52.9%	34 39.1%	17 19.5%	7 8.0%	22 25.3%	38 43.7%	18 20.7%	3 3.4%
65歳以上	163 100.0%	79 48.5%	56 34.4%	29 17.8%	9 5.5%	38 23.3%	64 39.3%	26 16.0%	2 1.2%

	合計	は特 ない 効果	そ の 他	い わ か ら な
20 歳代	54 100.0%	2 3.7%	0 0.0%	7 13.0%
30 歳代	130 100.0%	4 3.1%	2 1.5%	19 14.6%
40 歳代	109 100.0%	5 4.6%	3 2.8%	10 9.2%
50 歳代	116 100.0%	5 4.3%	2 1.7%	11 9.5%
60～64 歳	87 100.0%	3 3.4%	1 1.1%	9 10.3%
65 歳以上	163 100.0%	6 3.7%	3 1.8%	20 12.3%

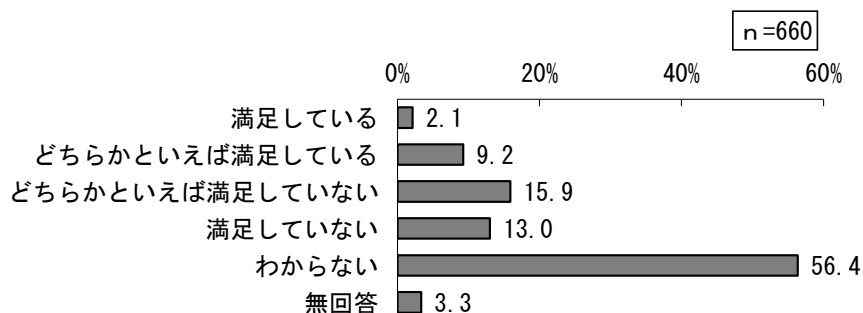
○ 世帯状況別にみると、いずれの世帯状況でも「地域に住む人々が生きる楽しみを見出せる」「子どもが心豊かに成長する」「地域に住む人々の交流や社会参加が盛んになる」を上位に挙げています。

○ その中で、就学前の子どもと同居、小学生の子どもと同居では「子どもが心豊かに成長する」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	楽地 し域 みに 住む 人々 が 生 き る	社 会 参 加 に 住 む 人 々 の 交 流 や	さ れ 地 域 に 対 す る 愛 着 が 醸 成	ま る 地 域 に よ り 良 い 人 材 が 集	の が 地 域 に 住 む 人 々 の 創 造 性 が 高 ま り 、 地 域 社 会 ・ 経 済 活 性 化 に つ な が る	る 子 ど も が 心 豊 か に 成 長 す	る 地 域 の イ メ ー ジ が 向 上 す	れ の 他 の 地 域 や 諸 外 国 か ら 訪 れる 人 が 増 え る
就学前の子どもと同居	105 100.0%	38 36.2%	41 39.0%	16 15.2%	13 12.4%	24 22.9%	63 60.0%	21 20.0%	3 2.9%
小学生の子どもと同居	113 100.0%	38 33.6%	37 32.7%	19 16.8%	11 9.7%	20 17.7%	61 54.0%	29 25.7%	6 5.3%
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	60 45.5%	51 38.6%	21 15.9%	10 7.6%	34 25.8%	58 43.9%	18 13.6%	7 5.3%
親族などの介護をしている	44 100.0%	18 40.9%	14 31.8%	11 25.0%	1 2.3%	9 20.5%	16 36.4%	12 27.3%	2 4.5%
いずれもあてはまらない	343 100.0%	164 47.8%	130 37.9%	69 20.1%	25 7.3%	84 24.5%	121 35.3%	63 18.4%	14 4.1%
	合計	は特 ない 効果	そ の 他	い わ か ら な					
就学前の子どもと同居	105 100.0%	2 1.9%	3 2.9%	10 9.5%					
小学生の子どもと同居	113 100.0%	4 3.5%	2 1.8%	11 9.7%					
中学生以上の子どもと同居	132 100.0%	4 3.0%	2 1.5%	17 12.9%					
親族などの介護をしている	44 100.0%	1 2.3%	1 2.3%	5 11.4%					
いずれもあてはまらない	343 100.0%	15 4.4%	7 2.0%	40 11.7%					

問35 あなたは、市の文化的環境に満足していますか。（鑑賞機会、創作・参加機会、文化財の保存など）（ひとつだけ○）

- 市の文化的環境に関する市民の満足度について、「わからない」56.4%が最も多く、『満足』11.3%（満足している+どちらかといえば満足している）、『不満』28.9%（満足していない+どちらかといえば満足していない）となっています。



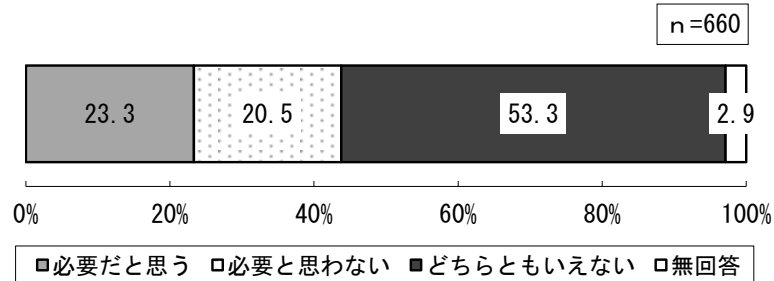
▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別、地区別にみると、すべての年齢層、すべての地区で「わからない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	『満足』		『不満』		わからない
		満足している	どちらかとい えば満足 している	どちらかとい えば満足 していない	満足してい ない	
20歳代	54 100.0%	0 0.0%	5 9.3%	7 13.0%	7 13.0%	35 64.8%
30歳代	130 100.0%	3 2.3%	5 3.8%	17 13.1%	17 13.1%	86 66.2%
40歳代	109 100.0%	5 4.6%	8 7.3%	18 16.5%	12 11.0%	64 58.7%
50歳代	116 100.0%	1 0.9%	9 7.8%	32 27.6%	17 14.7%	56 48.3%
60～64歳	87 100.0%	1 1.1%	10 11.5%	11 12.6%	11 12.6%	51 58.6%
65歳以上	163 100.0%	4 2.5%	24 14.7%	20 12.3%	22 13.5%	79 48.5%
印西中学校区	71 100.0%	2 2.8%	8 11.3%	6 8.5%	9 12.7%	41 57.7%
船穂中学校区	63 100.0%	2 3.2%	8 12.7%	10 15.9%	10 15.9%	30 47.6%
木刈中学校区	128 100.0%	2 1.6%	10 7.8%	21 16.4%	23 18.0%	70 54.7%
小林中学校区	51 100.0%	0 0.0%	6 11.8%	11 21.6%	5 9.8%	28 54.9%
原山中学校区	85 100.0%	1 1.2%	3 3.5%	19 22.4%	14 16.5%	47 55.3%
西の原中学校区	96 100.0%	2 2.1%	9 9.4%	16 16.7%	12 12.5%	54 56.3%
印旛中学校区	76 100.0%	3 3.9%	7 9.2%	12 15.8%	7 9.2%	43 56.6%
本柵中学校区	26 100.0%	1 3.8%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	21 80.8%
滝野中学校区	49 100.0%	1 2.0%	6 12.2%	8 16.3%	6 12.2%	26 53.1%

問36 あなたは、市内に美術館・博物館等が必要だと思いますか。（ひとつだけ○）

○ 美術館・博物館等の必要性について市民の考えは、「どちらともいえない」53.3%が最も多く、次いで「必要だと思う」23.3%、「必要と思わない」20.5%と続いています。



必要だと思う理由 （自由意見） （多い項目を要約掲載）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者、来街者が増える ・ 子どもの感性を豊かにする ・ 芸術に身近にふれる機会を増やす ・ 気軽に鑑賞できる機会を増やす ・ 地域の歴史を知る ・ 自然資源を活かした地域づくり など
必要と思わない理由 （自由意見） （多い項目を要約掲載）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内や都内にある ・ 施設の維持管理費用がかかる ・ 中途半端な施設になる ・ 税金の無駄遣いになる ・ 現在の施設、展示の充実 ・ 他に投資すべき分野がある など

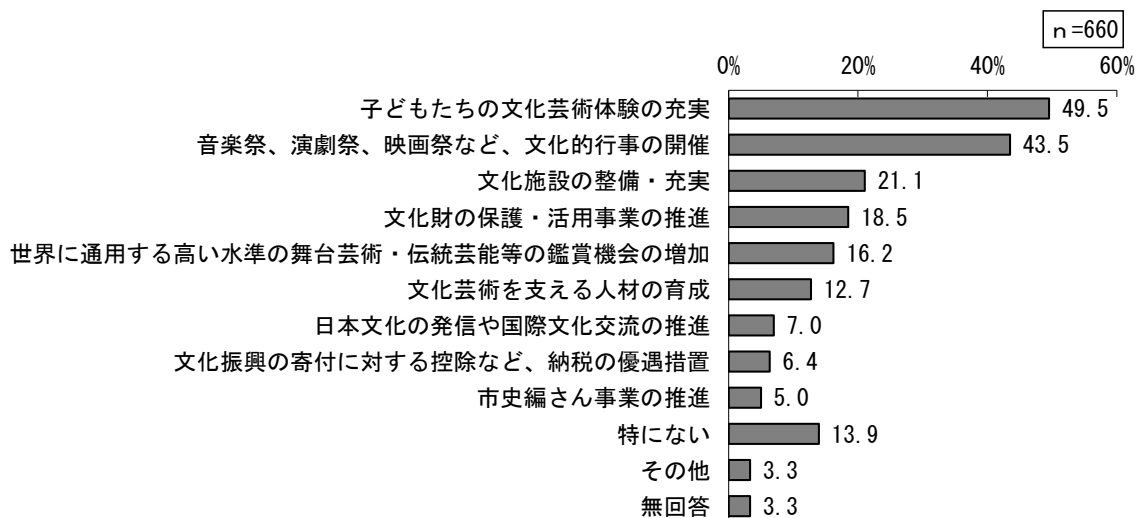
▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別、地区別にみると、すべての年齢層、すべての地区で「どちらともいえない」が最も多くなっています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	必要だと思う	必要と思わない	どちらともいえない
20歳代	54 100.0%	14 25.9%	11 20.4%	29 53.7%
30歳代	130 100.0%	35 26.9%	25 19.2%	69 53.1%
40歳代	109 100.0%	30 27.5%	22 20.2%	56 51.4%
50歳代	116 100.0%	23 19.8%	27 23.3%	64 55.2%
60～64歳	87 100.0%	13 14.9%	27 31.0%	44 50.6%
65歳以上	163 100.0%	39 23.9%	22 13.5%	90 55.2%
印西中学校区	71 100.0%	14 19.7%	10 14.1%	43 60.6%
船穂中学校区	63 100.0%	11 17.5%	16 25.4%	34 54.0%
木刈中学校区	128 100.0%	30 23.4%	40 31.3%	56 43.8%
小林中学校区	51 100.0%	12 23.5%	12 23.5%	25 49.0%
原山中学校区	85 100.0%	27 31.8%	14 16.5%	43 50.6%
西の原中学校区	96 100.0%	25 26.0%	16 16.7%	53 55.2%
印旛中学校区	76 100.0%	14 18.4%	15 19.7%	44 57.9%
本柰中学校区	26 100.0%	4 15.4%	3 11.5%	18 69.2%
滝野中学校区	49 100.0%	12 24.5%	6 12.2%	30 61.2%

問37 今後、印西市で文化芸術を振興していくために、市ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 市民が期待する市の文化芸術振興の重点施策について、「子どもたちの文化芸術体験の充実」49.5%が最も多く、次いで「音楽祭、演劇祭、映画祭など、文化的行事の開催」43.5%、「文化施設の整備・充実」21.1%と続いています。



▶クロス集計でみる特徴

- 年齢層別にみると、すべての年齢層で「子どもたちの文化芸術体験の充実」「音楽祭、演劇祭、映画祭など、文化的行事の開催」を上位に挙げています。

※注 第1位のみ網掛 上段=人数 (n) 下段=構成比	合計	の鑑賞機会 の増加	の世界に通用する 高い水準	の文化財の保護・活用事業	市史編さん事業の推進	音楽祭、演劇祭、映画祭など、文化的行事の開催	文化芸術を支える人材の育成	子どもたちの文化芸術体験の充実	文化施設の整備・充実	日本文化の発信や国際文化交流の推進
20歳代	54 100.0%	10 18.5%	12 22.2%	2 3.7%	20 37.0%	8 14.8%	24 44.4%	13 24.1%	4 7.4%	
30歳代	130 100.0%	21 16.2%	11 8.5%	3 2.3%	61 46.9%	13 10.0%	80 61.5%	26 20.0%	11 8.5%	
40歳代	109 100.0%	19 17.4%	22 20.2%	4 3.7%	53 48.6%	13 11.9%	64 58.7%	25 22.9%	6 5.5%	
50歳代	116 100.0%	25 21.6%	20 17.2%	6 5.2%	61 52.6%	13 11.2%	47 40.5%	25 21.6%	13 11.2%	
60~64歳	87 100.0%	12 13.8%	18 20.7%	7 8.0%	37 42.5%	12 13.8%	36 41.4%	12 13.8%	6 6.9%	
65歳以上	163 100.0%	20 12.3%	39 23.9%	11 6.7%	55 33.7%	25 15.3%	76 46.6%	38 23.3%	6 3.7%	

	合計	文化振興の寄付に 対する優遇措置 の適用	特 に ない	そ の 他
20 歳代	54 100.0%	3 5.6%	8 14.8%	2 3.7%
30 歳代	130 100.0%	9 6.9%	17 13.1%	3 2.3%
40 歳代	109 100.0%	10 9.2%	11 10.1%	3 2.8%
50 歳代	116 100.0%	5 4.3%	13 11.2%	6 5.2%
60～64 歳	87 100.0%	5 5.7%	10 11.5%	4 4.6%
65 歳以上	163 100.0%	10 6.1%	32 19.6%	4 2.5%